LoadMaster

リリースノート

製品概要

2018 年 6 月

目次

著作権

Copyright © 2002-2018 KEMP Technologies, Inc.

原文（英語）の著作権は KEMP Technologies Inc.が保有しています。日本語として翻訳したドキュメントの著作権は FXC 株式会社が保有しています。

KEMP Technologies および KEMP Technologies のロゴは、KEMP Technologies Inc.の登録商標です。

KEMP Technologies Inc.は、ソフトウェアおよび英語版のドキュメントを含む LoadMaster 製品と KEMP 360、ライセンスすべての所有権を保有します。

KEMP Technologies と FXC 株式会社は、本ドキュメントについて次の行為を禁止しま。

電子ファイルを複製する行為。

コンテンツを紙媒体に印刷する行為。

電子媒体、及び紙媒体に印刷したコンテンツを販売、頒布する行為。

インターネット媒体を使って展示陳列する行為。

※　なお、お客様自身の利用が目的で行う複製や印刷はこの限りではありません。

本製品は、正当な許可を得て、米国特許 6,473,802、6,374,300、8,392,563、8,103,770、7,831,712、7,606,912、7,346,695、7,287,084 および 6,970,933 を使用しています。

Copyright © 2002 – 2018　KEMP Technologies, Inc. All Rights Reserved.
Copyright © 2017 – 2018　FXC Inc. Rights for Japanese is reserved.

目次

1 ソフトウェアリリースノート概要 5
2 リリース 7.2.42 7
3 リリース 7.2.41.2 12
4 リリース 7.2.41.1 15
5 リリース 7.2.40.1 22
6 リリース 7.2.40 25
7 リリース 7.2.39.1 30
8 リリース 7.2.39 33
9 リリース 7.2.38 39
10 リリース 7.2.37.1 42
11 リリース 7.2.36.2 47
12 リリース 7.2.36.1 48
13 リリース 7.1.35.6（ロングターム サポート） 52
14 リリース 7.1.35.5 55
15 リリース 7.1.35.4 58
16 リリース 7.1.35.3 61
17 リリース 7.1.35.2 63
18 リリース 7.1.35 64
19 リリース 7.1.34.1 70
20 リリース 7.1-32a 74
21 リリース 7.1-30a 78
22 リリース 7.1-30 79
23 リリース 7.1-28b 82
24 リリース 7.1-28a 83
25 リリース 7.1-28 85
26 リリース 7.1-26c 88
27 リリース 7.1-26 89
28 リリース 7.1-24b 92
29 リリース 7.1-24a 93
30 リリース 7.1-22b 96
31 リリース 7.1-22 98

Copyright © 2002 – 2018 KEMP Technologies, Inc. All Rights Reserved.
Copyright © 2017 – 2018 FXC Inc. Rights for Japanese is reserved.

目次

32 リリース 7.1-20d 101
33 リリース 7.1-20a 102
34 リリース 7.1-18b 104
35 リリース 7.1-16b 107
36 リリース 7.1-16 108
37 リリース 7.0-14c 110
38 リリース 7.0-14a 111
39 リリース 7.0-14 112
40 リリース 7.0-12a 114
41 リリース 7.0-10i 116
42 リリース 7.0-10h 117
43 リリース 7.0-10g 118
44 リリース 7.0-10f 119
45 リリース 7.0-10e 120
46 リリース 7.0-10d 121
47 リリース 7.0-10 122
48 リリース 7.0-8e 124
49 リリース 7.0-8a 125
50 リリース 7.0-8 126
51 リリース 7.0-6 128
52 リリース 7.0-4 130
53 最終更新日付 132

Copyright © 2002 – 2018 KEMP Technologies, Inc. All Rights Reserved.
Copyright © 2017 – 2018 FXC Inc. Rights for Japanese is reserved.

1　ソフトウェアリリースノート概要

本ドキュメントでは、現在および過去にリリースされた LoadMaster の機能について説明します。

ソフトウェアをアップグレードする前に、LoadMaster の設定を全てバックアップすることを推奨します。
LoadMaster のバックアップ方法は、以下の url を参照して下さい。
http://kemptechnologies.com/documentation

本ソフトウェアのインストールと設定の再読み込みは、最大 5 分（場合によってはそれ以上）かかります。
LoadMaster のアップグレードの間はサービスが停止します。

1.1　前提条件

ソフトウェアをアップグレードする場合、以下のことを推奨します。

- ネットワーク管理者または同等の知識を持つ方がアップグレードしてください。
- バックアップした設定の復元に関して問題が発生した場合、または、LoadMaster の設定やその他メンテナンスに関する問題が発生した場合は、http://kemptechnologies.com/documentation にあるドキュメントを参照してください。

1.2　サポート

ソフトウェアをロードできない場合、KEMP のサポートスタッフにお問い合わせください。KEMP のサポートエンジニアが直ちに対応致します:http://kemptechnologies.com/load-balancing-support/kemp-support

Copyright © 2002 – 2018　KEMP Technologies, Inc. All Rights Reserved.
Copyright © 2017 – 2018　FXC Inc. Rights for Japanese is reserved.

1.3 互換製品

- LM-2000
- LM-2200
- LM-2400
- LM-2600
- LM-3600
- LM-5300
- LM-5305
- LM-5400
- LM-5000
- LM-5600
- LM-8000
- LM-8020（バージョン 7.1-30 以降）
- LM-R320
- VLM-100
- VLM-200
- VLM-Exchange
- LM-Exchange
- LM-3000
- LM-4000
- VLM-1000
- VLM-2000
- VLM-5000
- VLM-DR
- LM for UCS B シリーズ
- LM for UCS C シリーズ
- LM for Oracle Sun x86 サーバ
- LM for HP ProLiant サーバ
- LoadMaster for Fujitsu Primergy
- LoadMaster for Dell R シリーズ
- LoadMaster for AWS
- LoadMaster for Azure

Copyright © 2002 – 2018 KEMP Technologies, Inc. All Rights Reserved.
Copyright © 2017 – 2018 FXC Inc. Rights for Japanese is reserved.

2 リリース 7.2.42

ファームウェアバージョン 7.2.42 に関する詳細は、以下のセクションを参照してください。これは 2018 年 4 月 4 日にリリースしました。

2.1 新機能

以下の特徴は、リリース 7.2.42 に追加しています。

- 以前は、システム管理者が LoadMaster の基本プロセスとシステムリソース使用状況を表示する方法はありませんでした。現在、Linux の top コマンドは、「Debug Options」画面と AP（RESTful API と PowerShell の両方）で利用できます。 これによりシステム管理者は、LoadMaster のシステムリソースの消費状態を詳しく理解することができます。
- 以前は、LDAP のエンドポイント ユーザ（Active Directory ユーザなど）が LoadMaster で認証できるようにするには、ローカルユーザの作成で特定のアクセス許可を割当てる必要がありました。現在は、LDAP のエンドポイントユーザはローカルアカウントなしで LoadMaster で認証できます。LoadMaster は LDAP エンドポイントに照会し、ユーザが正当で LDAP ユーザ グループのメンバーが LoadMaster に構成している場合、そのユーザを認証し、そのグループにアクセスの許可を割り当てます。ネストされたグループの照会のサポートされ、最初の一致が有効なユーザグループとして返されます。
- 以前は、LoadMaster インスタンスは CenturyLink Cloud 環境では使用できませんでしたが、現在は、設定と構成が可能になりました。

2.2 機能拡張

- 以前は Azure の BYOL ライセンスは、オンライン ライセンス オプションだけのライセンス処理でした。現在は、オンラインとオフラインの両方のライセンスオプションをサポートしています。
- 以前は、LoadMaster は POST に設定した Content-Type を正しく理解できませんでした。今は POST の追加ヘッダに Content-Type があると、この設定を意図とおりに使用します。
- セッション管理に関連する LMOS に重大な脆弱性（CVE-2018-0901）は、認証されないリモートの攻撃者がセキュリティ保護をかい潜り、システム権限を得て、コマンドを実行し、証明書や秘密鍵などの機密データが晒してしまうことです。この脆弱性は 7.2.41.2 で部分的な対応をしました。現在のリリースは脆弱性の拡大範囲に当たる、クッキーに任意の実行可能コマンドを注入する行為に対処しています。
- 以前は、WAF のデバッグログ ファイルまたはイベントログ ファイルをリセットし、ダウンロードする方法がありませんでした。現在は、WUI の「System Log Files」画面で WAF デバッグログとイベントログのリセットとダウンロードができます。また、PowerShell と RESTful API にもオプションもあります。

Copyright © 2002 – 2018 KEMP Technologies, Inc. All Rights Reserved.
Copyright © 2017 – 2018 FXC Inc. Rights for Japanese is reserved.

- 以前は、LoadMaster WUI のバーチャルサービスに WAF が設定できない理由を示していませんでした。今は、バーチャルサービスの変更画面（WAF オプションセクション）で WAF が設定できないメッセージを表示します。
- 以前は、WAF ユーザ ログはローテートしませんでした。現在、ファイルサイズが 50MB を超える場合ローテートします。
- 以前は、LoadMaster WUI には WAF のデバッグ ログかイベントログを表示するオプションがありませんでした。現在 WUI の「System Log Files」画面には、ファイルが存在する場合に WAF デバッグログとイベントログを表示するオプションがあります。.

2.3 既知の問題

PD-9946	以前は、時折 LoadMaster が再起動する報告がありました。現在、システムの安定性を強化したことで再起動を防止しています。
PD-9780	以前は、LoadMaster のバーチャルサービスの統計が正しく表示していませんでした。今は、この問題を解決してスループットの正しい値です。
PD-9649	以前は、[RelayState] パラメータがある場合、Base64 デコード中に SAML レスポンスを処理できませんでした。[RelayState] パラメータは、OKTA ID プロバイダ（IDP）との統合時に存在しました。現在、SAML 応答に RelayState パラメータが含まれている場合、SAML レスポンスの base64 デコードに影響を与えないように無視されます。 パラメータは LoadMaster のサービスプロバイダでは使用しません。
PD-10977	以前は、7.2.40.1 では、デバッグが無効でもシステムログのメッセージとワーニングは、SAML 詳細ログを記録していました。今は、デバッグが無効であれば SAML の詳細ログはシステムログファイルに保存しません。
PD-10973	以前は、コネクションのクローズとデータのリリースが競合状態にあり、これによる LoadMaster の再起動がありました。現在は、競合状態が発生をチェックして LoadMaster が再起動しないようしました。
PD-10867	以前は、HTML でイメージセットのパーセント記号を正しく処理せず、テキストサイズが正しい表示になりませんでした。現在は、パーセント記号を正しく処理しており、ログアウト ページのテキスト サイズの原因はなくなりました。
PD-10860	以前は、特定の設定をしたテンプレートをエクスポートするとインポートできませんでした。今は、エクスポートしたテンプレートには問題の文字列が含まれなくなり、正常にインポートできます。
PD-10735	以前は、WAF ルールのインストール日付と時間の内容が不十分でした。現在は、最後のユーザに、特定の時間とタイムゾーンを含む WAF ルールのダウンロード情報を通知します。
PD-10702	以前は、クライアント認証の問題がなくても、syslog で「kcd_get_user_ticket : credentials expired」というメッセージを繰返し表示していました。現在、このメッセージは [ssomgr debugging] がオンの場合にのみ syslog に表示します。
PD-10636	以前は、OCSP サーバ用に構成したポートを使用してサーバから SSL レスポンスが誤って処理していました。今は、OCSP サーバ用に構成したポートは LoadMaster の構成ごとに正しく使用されます。SSL レスポンスも正しく処理しています。
PD-10616	以前は、WAF で[Process Responses]オプションが有効は場合、応答に問題が発生していましたが、現在はすべての応答が正常に処理されます。

Copyright © 2002 – 2018 KEMP Technologies, Inc. All Rights Reserved.
Copyright © 2017 – 2018 FXC Inc. Rights for Japanese is reserved.

リリース 7.2.42

PD-10590	以前は、 HA セカンドではアクティブな状態であっても、自動の WAF ルール ダウンロードが機能しませんでした。現在、自動 WAF ルールのダウンロードは、HA セカンドに設定している場合に機能しており、HA 構成での問題を修正しました。
PD-10584	以前は、UPN（ユーザ プリンシパル名）と SAM（Windows アカウント名）の両方の請求が SAML の応答に含まれる場合、それらは一貫性のない状態で使用された後に処理され選択されました。現在、UPN と SAM の両方の請求が存在する場合、SAM の請求はサーバ側認証（KCD）の選択とその後の使用に優先します。
PD-10131	以前は、メインのバーチャルサービスレベルで WAF のバーチャルサービスで[Process Responses]が有効、またはサーバ側認証で SubVS の KDC が有効なとき、ユーザは SharePoint サイトにドキュメントを追加できませんでした。 現在は、Chrome と Firefox では、同じ設定のサイトにドキュメントを追加できますが、認証が求められます。
PD-10149	以前は、代替ドメインの選択と操作は常に信頼できるものではありませんでした。代替ドメインを適切に選択した場合、バーチャルサービスの関連付けは必ずしも一致しませんでした。この結果、サーバ側の FBA（フォームベース認証）は期待どおりの契機になりませんでした。さらに、一部の文字は、サーバ側からリアルサーバにポストする FBA に含めることはできませんでした。現在、代替ドメインの選択と操作は信頼性の高い処理が期待できます。バーチャルサービスに関連付けた代替ドメインは信頼性が高く、サーバ側 FBA はバーチャルサービスを正常に起動できます。また、リアルサーバにポストする FBA にはカギ括弧（[]）などの特殊な文字もサポートしました。
PD-10259	以前は、負荷の掛かった状態で、WAF はすべてのレスポンスを処理できないためにリアルサーバからの応答に失敗しましたが、現在はリルサーバからの応答は正しく処理され、応答に失敗することはありません。
PD-10332	以前は、既存の VLAN の ID を持つ VLAN を追加すると、LoadMaster WUI にエラーテキストを表示していましたが、今はポップアップで正しいエラーメッセージを表示します。
PD-10381	以前は、2GB 以下のメモリでリモートログを有効にした LoadMaster は、[Application Generic] ルールの追加削除をバーチャルサービスに行うと WAF に設定の問題がが発生していました。 今は、有効なメモリを正しくアロケーションすることでルールセットの追加削除によるは発生しません。
PD-10445	以前は、バーチャルサービスで WAF と[Process Responses] の両方が有効になっているとリアルサーバは正しく応答しませんでしたが、現在は両方が有効でも期待どおりに応答します。
PD-10455	以前は、管理者証明書に SSL 証明書を使用すると、LoadMaster を再起動するまでは正しく機能しましたが、その後 WUI へのアクセスが失われてしまいました。今は、LoadMaster WUI へのアクセスは、再起動後も保持されます。
PD-10478	以前は、ESP SSO 設定をバックアップから復元すると SSO イメージセットが[SSO Image Set]のプルダウンリストに表示しませんでしたが、今はプルダウンリストに正しく表示します。
PD-10525	以前は、WAFD が終了しているにもかかわらず、誤って終了シーケンスが呼び出されるとコントロールチャネルからの読取りエラーが発生しましたが、今は正しい終了シーケンスになり、WAF 読取りエラーは発生しません。
PD-10545	以前は、 Azure クラウド上でバーチャル LoadMasters の WUI を NIC-1 に移動するとアクセスできなくなりました。現在 WUI は、ローカルでないネットワークインターフェースを除いてアクセス可能な NIC に設定でき、WUI ゲートウェイを[Allow Multi Interface Access]でローカルネットワークに設定している場合であっても問題はありません。

Copyright © 2002 – 2018 KEMP Technologies, Inc. All Rights Reserved.
Copyright © 2017 – 2018 FXC Inc. Rights for Japanese is reserved.

PD-10577	以前は、API でバーチャルサービスを作成するときに「edge error condition」が発生すると、[segfault] が起こることがありましたが、今はこのエラーを正しく処理しているので[segfault] は発生しなくなりました。
PD-10169	PowerShell API コマンドで[Set-LmAzureHAConfiguration] の [hapreferred] パラメータのスペルの誤りを修正しました。

2.4 既知の問題

PD-10466	LM-X15 は以下の SFP+ モジュールをサポートしません。 LM-SFP-SX（SFP+SX トランシーバ 1000Base-SX 850nm、MMF で 550m） LM-SFP-LX（SFP+LX トランシーバ 1000Base-LX 1310nm、SMF で 10Km 以上） LM-SFP-LR（SFP+LR トランシーバ 10GBASE-LR 1310nm、SMF で 10km 以上）
PD-10504	SNMP ツールで報告されたアクティブなコネクションの値が、すべての状況で LoadMaster のアクティブなコネクションの統計値と一致しません。
PD-11040	特定の状況下では、ESP（エッジセキュリティ パック）ログが、「/var/log/userlog」に割当てたパーティションを満たしてしまうと、ユニットが再起動する原因となることがあります。
PD-8697	一部のユーザで、ハードウェア セキュリティ モジュール（HSM）を使用したときにパーティション検出の問題が発生しています。
PD-9375	SAML 認証を使用している場合、SharePoint の Microsoft Office ファイルは Firefox と Chrome で動作しません。
PD-9507	定義済みのシナリオで、RESTful か WUI を使って SDN コントローラに追加できません。
PD-9821	メモリの利用率が高まる状態が表れます。
PD-9947	バーチャルサービスとリアルサーバは API コールに対して、SubVS がディセーブルであっても「Up」を戻します。
PD-10129	グローバルレベル コネクションのタイムアウトとバーチャルサービスレベルのタイムアウトの間で、検証の不一致があります。
PD-10136	LoadMaster クラスタリングでいくつかのマイナーな問題があります。
PD-10159	CPU とネットワーク利用率のグラフはファームウェアのアップグレイドで表示しなくなります。また、グラフデータのリセットができません。
PD-10188	Safari ブラウザでバーチャルサービスか SubVS にリアルサーバを追加すると、使用可能なリアルサーバのリストを使用できません。
PD-10193	Microsoft Exchange 2010 で WAF、EPS、KCD の設定はサポートしていません。
PD-10197	リアルサーバとバーチャルサービスのクラスタの状態が、[Home] 画面で正しく表示されません。
PD-10207	ESP の LDAP のログは「拡張」が必要です。
PD-10347	SSO のセッションタイムアウトはドメインのセッション管理からアップデイトできません。
PD-10421	API を使用して、異なるレベルのオプションで Syslog サーバ設定を複数回行うと、イベントが繰り返されてしまいます。
PD-10474	SNORT ルールは特定のシナリオで誤検知を発生します。
PD-10488	WAF の終了で「errno 24」のエラーが発生することがあります。
PD-10538	別個のキャプチャーグループを単一で割当る場合は、ボディルールを作れません。
PD-10572	拡張ログの表示機能で年を跨る期間を指定すると表示しません。

Copyright © 2002 – 2018 KEMP Technologies, Inc. All Rights Reserved.
Copyright © 2017 – 2018 FXC Inc. Rights for Japanese is reserved.

リリース 7.2.42

PD-10627	クラスタノードを置き換える際の問題があります。
PD-10801	RADIUS 認証を使用する場合、ユーザ名の正規化に関するいくつかの問題があります。
PD-10862	リアルサーバ権限を持つローカルユーザは、バーチャルサービスがオフロードまたは再暗号化しているときにリアルサーバに変更を加えることはできません。
PD-10961	Azure 環境の LoadMasters では、再起動の間に KEMP ライセンスサーバに接続していません。
PD-10970	テンプレートを古いバージョンの LoadMaster からエクスポートすると、不適切な文字列が含まれていることがあります。新しい LoadMaster ではインポートできません。
PD-10976	GEO を使用している場合、特定のシナリオで CPU 使用率が高い状態になったことが観察されています。
PD-11024	WUI は、ローカルサブネットでない環境から NIC-1 にアクセスできません。
PD-11031	LoadMaster が KEMP Licensing Server に設定情報を報告すると、KEMP 360 Vision が使用されていないと常に報告します。
PD-11044	以下の設定でファイルを Sharepoint にアップロードするとき、2 番目の認証プロンプトを用意しています。メインのバーチャルサービスで[Process Responses] が有効な WAF の設定で、サーバ側の認証用に KCD が SubVS レベルで有効になっている。
PD-9765	不明なソースからの DNS リクエストをサポートしません。
PD-8853	ロケーションベースのフェールオーバは予定した動きになりません。
PD-8725	IPv6 の送信元アドレスでは「Proximity」と「Location Based」のスケジューリングは機能しません。
PD-10586	GEO の FQDN で、[Selection Criteria] を[All Available]したとき、クラスターがディセーブルであっても、IP は戻されます。
PD-10155	GEO の一部が機能しないために設定に問題が発生します。
PD-7156	一部の API コマンド「VSIndex」のパラメータに問題があります。
PD-9476	インストールされたカスタムルールのデータファイルを get/list するための RESTful API コマンドはありません。
PD-9553	セキュアな NTP モードを無効にする API コマンドはありません。
PD-9816	API コマンドはルールセットの中の個々のルールをリストしますが、有効なルールセットをリストしません。
PD-10104	一部の不正な文字は、[dmidecode] API コマンドへの応答でエスケープされません。
PD-10490	RESTful API の[vsremovewafrule]コマンドは複数ルールを削除することはできません。
PD-10598	[IdP Certificate Match] オプションを修正する PowerShell API はありません。
PD-10802	[addrs] RESTful API コマンドを使用して [forward] パラメータの[route] を設定することはできません（[modrs] を使用して設定できます）。
PD-11109	ユーザが WAF を有効にできないとき、RESTful API は正しいメッセージで表示しません。
PD-10363	PowerShell API は[ServerFbaPath] と[ServerFBAPost] パラメータで問題を起こします。

Copyright © 2002 – 2018 KEMP Technologies, Inc. All Rights Reserved.
Copyright © 2017 – 2018 FXC Inc. Rights for Japanese is reserved.

3 リリース 7.2.41.2

ファームウェアバージョン 7.2.41.2 に関する詳細は、以下のセクションを参照してください。これは 2018 年 3 月 23 日にリリースされました。

3.1 新機能

以下の特徴は、リリース 7.2.41.2 に追加しています。

新ハードウェア アプライアンスである LM-X シリーズについてのサポートを追加しています。

3.2 解決した問題

PD-10980	LoadMaster オペレーティング システム（LMOS）のセッション管理における重大な脆弱性（CVE-2018-0901）により、権限を持たない遠隔地の攻撃者がセキュリティ保護を通過し、システムの実行権限を得て「ls」、「ps」、「cat」といったコマンドが実行できる可能性があります。この実行により、証明書の秘密鍵などの機密データが露出する危険性があります。現在この脆弱性はより厳しいチャックにより改善されました。詳細な情報は、Mitigation For Remote Access Execution Vulnerability を参照してください。

3.3 既知の問題

PD-10193	Microsoft Exchange 2010 で WAF、EPS、KCD の設定はサポートしていません。
PD-9765	不明なソースからの DNS リクエストをサポートしません。
PD-8697	一部のユーザで、ハードウェア セキュリティ モジュール（HSM）を使用したときにパーティション検出の問題が発生しています。
PD-9375	SAML 認証を使用している場合、SharePoint の Microsoft Office ファイルは Firefox と Chrome で動作しません。
PD-9649	一部のユーザで「Could not base64 decode the SAML Resp」というエラーが発生しています。
PD-9821	メモリの利用率が高まる状態が表れます。
PD-10129	グローバルレベル コネクションのタイムアウトとバーチャルサービスレベルのタイムアウトの間で、検証の不一致があります。
PD-10131	WAF と Kerberos 認証（KCD）のプロセスレスポンスが有効な場合、SharePoint でのファイル添付に問題があります。
PD-10149	[Alternative Domain] の選択と操作は常に信頼できるとは限りません。[Alternative Domain] を適切に選択していても、バーチャルサービスの関連付けは常に一貫しているとは限りません。この結果、サーバ側の FBA（Form Based Authentication）は予定したトリガーになりません。更に、一部の文字列がリアルサーバにポストするサーバ側 FBA に含めることができません。
PD-10159	CPU とネットワーク利用率のグラフはファームウェアのアップグレイドで表示しなくなります。また、グラフデータのリセットができません。

Copyright © 2002 – 2018 KEMP Technologies, Inc. All Rights Reserved.
Copyright © 2017 – 2018 FXC Inc. Rights for Japanese is reserved.

リリース 7.2.41.2

PD-10188	Safari ブラウザでバーチャルサービスか SubVS にリアルサーバを追加すると、使用可能なリアルサーバのリストを使用できません。
PD-10197	リアルサーバとバーチャルサービスのクラスタの状態が、[Home] 画面で正しく表示されません。
PD-10207	ESP の LDAP のログは「拡張」が必要です。
PD-10259	負荷状態にあるとき、WAF はすべてのリアルサーバのレスポンスを読取ることはなく、コネクションをクローズします。
PD-10332	WUI で VLAN ID と VXLAN ID の複製を追加しようとすると、「Duplicate VLAN id/VXLAN id Cache-Control: no-cache」というメッセージが表示されます。
PD-10381	[Application Generic]のルールセットをバーチャルサービスから外すと WAF が誤って設定されます。
PD-10445	[WAF Process Responses] オプションが有効のとき、いくつかの Web サイトは機能しません。
PD-10455	AWS を再起動すると admin 認証が使えなくなります。
PD-10474	SNORT ルールは特定のシナリオで誤検知を発生します。
PD-10478	ESP SSO 設定をバックアップからリストアすると、カスタム SSO のイメージは[SSO Image Set] のプルダウンに表示されません。
PD-10488	WAF の終了で「errno 24」のエラーが発生することがあります。
PD-10525	コネクションが閉じていると、一部のユーザーで WAF の読み取りエラーが発生しています。
PD-10538	別個のキャプチャーグループを単一で割当る場合は、ボディルールを作れません。
PD-10545	Azure クラウド上でバーチャル LoadMasters の WUI を NIC-1 に移動するとアクセスできなくなります。
PD-10572	拡張ログの表示機能で年を跨る期間を指定すると表示しません。
PD-10584	SAML UPN（ユーザ プリンシパル名）と SAM- Account-Name の相互作用に問題があります。
PD-10590	セカンド HA ノードがアクティブであるにも関わらず、WAF ルールの自動ダウンロードが動作しません。
PD-10616	WAF の[Process Responses] が有効のときに応答が切られます。
PD-10627	クラスタノードを置き換える際の問題があります。
PD-10702	期限切れとしてログされたメッセージに疑わしい KCD 資格情報があります。
PD-10586	GEO の FQDN で、[Selection Criteria] を[All Available]したとき、クラスターがディセーブルであっても、IP は戻されます。
PD-10155	GEO の一部が機能しないために設定に問題が発生します。
PD-8725	IPv6 の送信元アドレスでは「Proximity」と「Location Based」のスケジューリングは機能しません。
PD-8853	ロケーションベースのフェールオーバは予定した動きになりません。
PD-7156	一部の API コマンド「VSIndex」のパラメータに問題があります。
PD-9476	インストールされたカスタムルールのデータファイルを get/list するための RESTful API コマンドはありません。
PD-9507	定義済みのシナリオで、RESTful か WUI を使って SDN コントローラに追加できません。
PD-9553	セキュアな NTP モードを無効にする API コマンドはありません。
PD-9816	API コマンドはルールセットの中の個々のルールをリストしますが、有効なルールセットをリストしません。

Copyright © 2002 – 2018 KEMP Technologies, Inc. All Rights Reserved.
Copyright © 2017 – 2018 FXC Inc. Rights for Japanese is reserved.

リリース 7.2.41.2

PD-9947	バーチャルサービスとリアルサーバは API コールに対して、SubVS がディセーブルであっても「Up」を戻します。
PD-10363	PowerShell API は[ServerFbaPath] と[ServerFBAPost] パラメータで問題を起こします。
PD-10421	API を使用して、異なるレベルのオプションで Syslog サーバ設定を複数回行うと、イベントが繰り返されてしまいます。
PD-10490	RESTful API の[vsremovewafrule]コマンドは複数ルールを削除することはできません。
PD-10577	いくつかの API コールは NULL ポインターのために正常に終了しません。
PD-10598	[IdP Certificate Match] オプションを修正する PowerShell API はありません。

Copyright © 2002 – 2018 KEMP Technologies, Inc. All Rights Reserved.
Copyright © 2017 – 2018 FXC Inc. Rights for Japanese is reserved.

4 リリース 7.2.41.1

ファームウェアバージョン 7.2.41.1 に関する詳細は、以下のセクションを参照してください。これは 2018 年 2 月 21 日にリリースされました。

4.1 機能拡張

- 以前は、障害発生で SubVS の詳細な情報をログに記載していませんでした。現在は、バーチャルサービス名と SubVS 名を記載します。
- 以前は、VLM（バーチャル LoadMaster）のクラウドインスタンスは、eth0 上のポート 8444 だけがリッスン状態でしたが、現在はすべてのインターフェイスでリッスン設定できるオプションを追加しました。
- LMOS（LoadMaster オペレーティングシステム）の Linux カーネルを 4.4.32 から 4.9.58 にアップデイトしました。これにより、今までのバージョンに見られたパフォーマンスとレイテンシーが改善しました。
- 以前は、text/XML と application/JSON のコンテンツタイプは[Inspect HTML POST Request Content]によってサポートしていましたが、今は [Enable Other Content Types] オプションにより、選択したすべてのコンテンツタイプと定義したコンテンツタイプの選択ができるようになりました。
- 以前は、ユーザ エージェント文字列はログファイルに存在しませんでしたが、「L7 Configuration」画面の [nclude User Agent Header in User Logs] オプションを追加してユーザ エージェントの文字列をログに出力できるようになりました。
- 以前は、SSO マネージャのログは、LoadMaster WUI の[Extended Log Files] セクションの [ssomgr logs] オプションで収集していましたが、今は SSO マネージャのログ（デバッグログの使用時）の収集とシステムログファイルの管理ができ、ログ管理の集中化ができるようになりました。
- 以前は、SSO ドメイン構成、LDAP WUI 認証、および Real Server ヘルスチェックから LDAP エンドポイントを見つける場所が示されていませんでした。これで、LDAP 構成変更ボタンは、SSO 構成の管理、WUI 認証 LDAP 設定、およびバーチャルサービス実サーバーの正常性検査にあります。
- 以前は、SSO のドメイン構成、LDAP WUI 認証、リアルサーバ ヘルスチェックからは LDAP エンドポイントの所在を示していませんでしたが、LDAP コンフィギュレーションの変更ボタンが、それぞれの機能の中にあります。
- 以前は、L7 ヘッダーフィールドのデフォルト値は[X-ClientSide] でしたが、現在は[X-Forwarded-For] になっています。
- 以前は、[100-Continue-Handling] フィールドのデフォルト値は RFC-2616 に準拠していましたが、現在は RFC-7231 に準拠しています。
- 以前は、[L7 Connection Drain Time (secs)] フィールドは、[Drop at Drain Time End] の横にあって有効になりませんでしたが、今は[Drop at Drain Time End]の下にあります。

Copyright © 2002 – 2018 KEMP Technologies, Inc. All Rights Reserved.
Copyright © 2017 – 2018 FXC Inc. Rights for Japanese is reserved.

- 以前は、[Enable Non-Local Real Servers] はデフォルトでは無効でしたが、今はグローバルがデフォルトになりました。
- 以前は、VLM で「ttyS0 : ioctl : Input/output error」メッセージが syslog に表れましたが、現在は syslog に respawn か ttys0 に関連したメッセージはありません。
- 以前は、GMT オフセットの設定は[Set Timezone] プルダウンリストの上にありましたが、今はプルダウンリストの一番下に表示しています。
- 以前は、AWS や Azure のようなクラウドプラットフォームで WUI と RESTful API のボンディングオプションは利用できましたが、サポートの対象ではありませんでした、現在、ボンディングオプションは無効になっており、WUI と RESTful API から削除しています。
- 以前は、ユーザーがバーチャルサービスや SubVS を追加できなかった場合、WUI のエラーメッセージは不明確でしたが、今は LoadMaster のリソースが不足しているという表示に改善しています。
- 以前は、デフォルト ゲートウェイを別のインターフェイスに移すと接続が切れましたが、今は接続に影響を与えることはありません。
- 以前は、別のインターフェイスに設定済みの IP アドレスを設定しようとしたときに、不適切な警告メッセージを表示していました。今は、IP アドレスが別のインターフェイスに設定されていることを意味するメッセージを表示しています。
- 「システムログファイル」画面は、ログパーティションと関連した使用/未使用の割合を表示するようにしました。
- 以前は、ファームウェア アップデートライセンスのエラーメッセージは詳細な説明がありませんでしたが、今は障害が発生した理由を明確で簡潔に表示し、ヘルプセンターのドキュメントにリンクするようにしました。
- 以前は、プラットフォーム固有の API コマンドがありました。例えば、Azure は getazurehaparams コマンド、AWS は getawshaparams コマンドがありました。現在、すべてのクラウドプラットフォームで共通な API コマンド[getCloudHaParams] で HA パラメータを照会できます。

4.2 解決した問題

PD-9764	以前は、LoadMaster のバージョン 7.2.38.2 以降で IPsec での Azure 接続の問題がありました。現在は、IPsec で正常に接続します。
PD-9944	以前は、WUI はコンテンツルールの作成および変更時の際、[Header Field]、 [Match String]、[Modified URL]、[Value of Header Field]への追加とで 208 文字まで入力できました。現在、WUI と RESTful API では制限は 255 文字まで広がりました。
PD-9975	以前は、LDAP AAA テストユーザの認証失敗ではログがありませんでした。現在は、テストユーザの失敗でもログを行います。
PD-10039	以前は、 Internet Explorer 以外のブラウザで、HTTP/2 スタックにショッピングカートなどの機能に問題がありました。現在、HTTP/2 は Chrome、Firefox、Internet Explorer で動作します。
PD-10040	以前は、WAF（Web アプリケーションファイアウォール）の有効な状態でチャンクデータを受信すると「icb_alloc」のログが表れます。現在は表示しません。

Copyright © 2002 – 2018 KEMP Technologies, Inc. All Rights Reserved.
Copyright © 2017 – 2018 FXC Inc. Rights for Japanese is reserved.

リリース 7.2.41.1

PD-10042	以前は、WAF の統計情報はバーチャルサービスを削除してもクリア/リセットしませんでした。現在は、バーチャルサービスを削除すると 0 になります。
PD-10051	以前は、LoadMaster に複数回のライセンス発行を行うとアクティベーションに失敗していました。今は、再ライセンスのたびに再起動する必要があります。
PD-10071	以前は、libxml2 GNOME XML ライブラリをインストールしています。現在のライブラリは libxml2-2.9.5 にアップデートしています。
PD-10083	以前は、LoadMaster は、MIB ブラウザか smtpwalk コマンドを使用して照会すると、バーチャルサービスとリアルサーバの完全なリストを返しませんでした。現在の LoadMaster は、バーチャルサービスとリアルサーバの完全なリストを返します。
PD-10086	以前は、別のインターフェースに設定している IP アドレスを設定しようとすると、WUI は不適切なワーニングを表示していました。現在、WUI のワーニング メッセージは正しい内容に更新しています。
PD-10141	以前は、チェック間隔がコンフィギュレーション ファイルに正しく格納されず、不要な LoadMaster の FIN ACK トラフィックが発生しました。
PD-10142	以前は、マスタの LoadMaster は毎秒ごとに uCAP パケットを送信しませんでした。パケットがランダムに欠落していました。現在、このバグは収束しており、WUI と設定の両方で、不要なトラフィックなしに同様のチェック間隔を表示します。
PD-10204	以前は、LoadMaster の WUI ワークフローでの証明書の置換えで、軽微なエラーによりユーザの証明書置換えを許可しませんでした。現在は、証明書の交換ワークフローを改善し、WUI で証明書を置換えることができます。
PD-10205	以前は、WUI フォームの[Authentication Path] フィールドにアンダースコア、ダッシュ、カギ括弧は使用できませんでした。現在は使用できるようになりました。
PD-10235	以前は、SDN のアドオンが無い LoadMasters では adaptive.log ファイルのログローテーションは機能しませんでした。現在は、SDN のアドオンがなくてもログローテーションは機能します。
PD-10239	以前は、プレシェアード鍵（PSK）がバックアップファイルで暗号化していませんでした。現在は、PSK を暗号化しています。 注：LoadMaster ファームウェアを 7.2.41.1 にアップグレードする場合は、PSK を再入力して暗号化を確認してください。 VPN は引き続き動作しますが、PSK を再保存するまで、新しいセキュリティ対策が有効になりません。
PD-10245	以前は、コネクション、セキュリティログ、ユーザー拡張ログファイルにアクセスしようとしたとき、前日のログはグレーアウトして見ることができませんでした。現在は、「Extended Log Files」画面に、日付、ファイル、フォルダの順に選択するオプションがあります。 また、ESP（エッジセキュリティ パック）のログを表示しているときに、次の日付を選択すると前の日付のログも含まれます。
PD-10255	以前は、[Strict Transport Security Header] フィールドのデフォルト値は、サブドメインを含む「Strict Transport Security Header」を追加したものでした。現在は、[Strict Transport Security Header] フィールドの既定値は追加しません。
PD-10345	以前は、LACP（リンクアグリゲーション コントロール プロトコル）のボンディング インターフェイス接続は、一部のスイッチで機能しませんでした。現在、LACP ボンディングインターフェイスは素早くアクティブになり接続は正しく機能します。
PD-10353	以前は、FIPS モードを使用する場合、FIPS ボックスの警告ログに「FIPS selftest completed successfully」のメッセージが複数表れました。現在は、このメッセージは繰り返しません。また、ダウンロードと解析のログが短くなりました。

Copyright © 2002 – 2018 KEMP Technologies, Inc. All Rights Reserved.
Copyright © 2017 – 2018 FXC Inc. Rights for Japanese is reserved.

リリース 7.2.41.1

PD-10354	以前は、ベアメタルの ISO インストールで、無効なシリアル番号を取得することがありました。現在は正しいシリアル番号を取得しています。
PD-10355	以前は、SAML クライアント認証を使用して 2 番目のタブを開くと、ユーザは[Access Denied] エラーメッセージを受信していました。現在は、ユーザはフェデレーションサーバのログイン ページ（AD FS のログイン ページなど）にリダイレクトします。ユーザは、ログインのために開いた最新のタブを継続して使用することを推奨します。そうしないと、一時的な Cookie の使用と SAML 応答 ID の照合で認証が混乱して失敗するの恐れがります。
PD-10361	以前は、LM-4000 モデルで LoadMaster のファームウェアバージョン 7.2.36.1 を使用すると、一定のトラフィックでの安定性の問題がありました。現在は、改善したバージョンを実装しています。
PD-10368	以前は、RADIUS サーバのパスワードを API で設定できませんでした。現在、API でパスワードを設定できます。
PD-10374	以前は、クライアント証明書の認証モードを使用すると、LDAP（LDAPS と StartTLS）を介した SSO ドメインヘルスチェックのユーザ認証はプレーンテキストでプロトコルもパケットキャプチャでトレースできました。現在、SSO ドメインのヘルスチェックは StartTLS を使用しており、ユーザの資格情報はパケットキャプチャでは表示しません。
PD-10393	以前は、信頼できる証明書と中間証明書の署名の照合が機能しませんでした。応答での証明書は、SAML SSO ドメインで割当てた証明書と一致する必要があります。現在[IDP Certificate Match] オプションにより、7.2.40 以前と 7.2.40 以後の両方の動作で証明書の厳密に一致させることが可能になりました。
PD-10433	以前は、ケーブルがアクティブなインターフェイスからプラグアウトしたとき、アクティブ/バックアップ ボンディングが機能しませんでした。現在、アクティブ/バックアップ ボンディングが正しく機能し、プラグアウトしてもバックアップ インターフェイスに移ります。
PD-10448	以前は、ローテーションファイル名が存在した場合、ログローテーションが機能しませんでした。現在は、ログのローテーションは正しく機能しています。
PD-10461	OpenSSL バージョンを 1.02k-fips から 1.0.2n にアップしました。
PD-10477	以前は、32 個以上の特殊文字を含むクライアントを SSO イメージセットに追加すると、L7d がクラッシュしました。現在、このバグは修正されており、クライアントの SSO イメージセット入力ファイルには約 256 個の特殊文字を使用できます。
PD-10486	以前は、[Enable Other Content Types] オプションに[multiple content-types] を設定すると、WAF はすべての POST による攻撃をブロックしませんでした。現在、オプションを有効にしても WAF はすべての POST 攻撃をブロックします。
PD-10514	著作権日付を 2017 年から 2018 年に変更しました。
PD-10530	以前は、デフォルトゲートウェイにルーティングすると、不正なエラーメッセージを表示しました。現在はエラーメッセージは表示されません。
PD-10637	以前は、OCSP サーバに設定したポートの使用とサーバからの SSL 応答を誤って処理しました。現在、OCSP サーバに設定したポートは、LoadMaster の設定ごとに正しく使用されます。SSL 応答も正しく処理されます。
PD-10096	以前は、偽りの「Zone may fail to transfer to slaves」ログメッセージが表示されると GEO のゾーンシリアルがリフレッシュしないことがあります。現在、メッセージのログレベルを ERROR から INFO に変更しました。これらのメッセージは機能に影響しません。
PD-10115	以前は、ワイルドカードで指定した FQDN と同じドメインに属する別の FQDN を設定している場合、GEO は正しい FQDN の代わりにワイルドカード FQDN を取得しました。現在、GEO は正しい FQDN を取得します。

Copyright © 2002 – 2018 KEMP Technologies, Inc. All Rights Reserved.
Copyright © 2017 – 2018 FXC Inc. Rights for Japanese is reserved.

PD-10473	以前は、[Selection Criteria] に[All Available] を指定すると、GEO はダウンしているサイトを返してしまいます。現在は、ステータスが「up」のサイトだけを返します。
PD-9525	以前は、showfqdn API コマンドは[Failtime] の値に分を指定しても秒単位で表示しました。現在は、showfqdn API コマンドは分単位でも表示します。
PD-9785	以前は、自己署名証明書を使用して LoadMaster PowerShell コマンドを実行した後に、Azure の PowerShell コマンドを実行するとエラーが返されました。現在は、Azure PowerShell コマンドは期待どおりの動作をします。
PD-10043	以前は、WAF のログフォーマットとリモートログの詳細を取得するための RESTful API コマンドはありませんでした。現在は、getwafsettings RESTful API コマンドで取得できます。
PD-10076	以前は、Get-LicenseType PowerShell コマンドで認証情報は必須でした。現在は、認証情報はオプションパラメータです。
PD-9539	以前は、同じ名前と IP アドレスの GEO クラスタを追加しようとすると、New-GeoCluster コマンドが無効なエラーを返しました。現在は、同じシナリオで適切なエラーメッセージ「 Cluster already defined. Name/IP must be unique.」を返します。
PD-9570	以前は、removecountry API コマンドのエラーメッセージに誤植がありました（countries のスペルが counries でした。）現在、removecountry API コマンドエラーメッセージの誤植を修正しました。
PD-9572	以前は、showcluster と showfqdn の API コマンドの位置パラメータの値は度（℃）でしたが、showip API コマンドでは秒で表示されていました。現在、showfqdn、listfqdns、showip、listops、showcluster、listclusters の各 API コマンドでは、値が秒単位で表示されます。

4.3 既知の問題

PD-10980	LoadMaster オペレーティング システム（LMOS）のセッション管理における重大な脆弱性（CVE-2018-0901）により、権限を持たない遠隔地の攻撃者がセキュリティ保護を通過し、システムの実行権限を得て「ls」、「ps」、「cat」といったコマンドが実行できる可能性があります。この実行により、証明書の秘密鍵などの機密データが露出する危険性があります。現在この脆弱性はより厳しいチャックにより改善されました。詳細な情報は、Mitigation For Remote Access Execution Vulnerability を参照してください。
PD-10193	Microsoft Exchange 2010 で WAF、EPS、KCD の設定はサポートしていません。
PD-9765	不明なソースからの DNS リクエストをサポートしません。
PD-8697	一部のユーザで、ハードウェア セキュリティ モジュール（HSM）を使用したときにパーティション検出の問題が発生しています。
PD-9375	SAML 認証を使用している場合、SharePoint の Microsoft Office ファイルは Firefox と Chrome で動作しません。
PD-9649	一部のユーザで「Could not base64 decode the SAML Resp」というエラーが発生しています。
PD-9821	メモリの利用率が高まる状態が表れます。
PD-10129	グローバルレベル コネクションのタイムアウトとバーチャルサービスレベルのタイムアウトの間で、検証の不一致があります。

Copyright © 2002 – 2018 KEMP Technologies, Inc. All Rights Reserved.
Copyright © 2017 – 2018 FXC Inc. Rights for Japanese is reserved.

リリース 7.2.41.1

PD-10131	WAF と Kerberos 認証（KCD）のプロセスレスポンスが有効な場合、SharePoint でのファイル添付に問題があります。
PD-10149	[Alternative Domain] の選択と操作は常に信頼できるとは限りません。[Alternative Domain] を適切に選択していても、バーチャルサービスの関連付けは常に一貫しているとは限りません。この結果、サーバ側の FBA（Form Based Authentication）は予定したトリガーになりません。更に、一部の文字列がリアルサーバにポストするサーバ側 FBA に含めることができません。
PD-10159	CPU とネットワーク利用率のグラフはファームウェアのアップグレイドで表示しなくなります。また、グラフデータのリセットができません。
PD-10188	Safari ブラウザでバーチャルサービスか SubVS にリアルサーバを追加すると、使用可能なリアルサーバのリストを使用できません。
PD-10197	リアルサーバとバーチャルサービスのクラスタの状態が、[Home] 画面で正しく表示されません。
PD-10207	ESP の LDAP のログは「拡張」が必要です。
PD-10259	負荷状態にあるとき、WAF はすべてのリアルサーバのレスポンスを読取ることはなく、コネクションをクローズします。
PD-10332	WUI で VLAN ID と VXLAN ID の複製を追加しようとすると、「Duplicate VLAN id/VXLAN id Cache-Control: no-cache」というメッセージが表示されます。
PD-10381	[Application Generic]のルールセットをバーチャルサービスから外すと WAF が誤って設定されます。
PD-10445	[WAF Process Responses] オプションが有効のとき、いくつかの Web サイトは機能しません。
PD-10455	AWS を再起動すると admin 認証が使えなくなります。
PD-10474	SNORT ルールは特定のシナリオで誤検知を発生します。
PD-10478	ESP SSO 設定をバックアップからリストアすると、カスタム SSO のイメージは[SSO Image Set] のプルダウンに表示されません。
PD-10488	WAF の終了で「errno 24」のエラーが発生することがあります。
PD-10525	コネクションが閉じていると、一部のユーザーで WAF の読み取りエラーが発生しています。
PD-10538	別個のキャプチャーグループを単一で割当る場合は、ボディルールを作れません。
PD-10545	Azure クラウド上でバーチャル LoadMasters の WUI を NIC-1 に移動するとアクセスできなくなります。
PD-10572	拡張ログの表示機能で年を跨る期間を指定すると表示しません。
PD-10584	SAML UPN（ユーザ プリンシパル名）と SAM- Account-Name の相互作用に問題があります。
PD-10590	セカンド HA ノードがアクティブであるにも関わらず、WAF ルールの自動ダウンロードが動作しません。
PD-10616	WAF の[Process Responses] が有効のときに応答が切られます。
PD-10627	クラスタノードを置き換える際の問題があります。
PD-10702	期限切れとしてログされたメッセージに疑わしい KCD 資格情報があります。
PD-10586	GEO の FQDN で、[Selection Criteria] を[All Available]したとき、クラスターがディセーブルであっても、IP は戻されます。
PD-10155	GEO の一部が機能しないために設定に問題が発生します。
PD-8725	IPv6 の送信元アドレスでは「Proximity」と「Location Based」のスケジューリングは機能しません。
PD-8853	ロケーションベースのフェールオーバは予定した動きになりません。

Copyright © 2002 – 2018 KEMP Technologies, Inc. All Rights Reserved.
Copyright © 2017 – 2018 FXC Inc. Rights for Japanese is reserved.

リリース 7.2.41.1

PD-7156	一部の API コマンド「VSIndex」のパラメータに問題があります。
PD-9476	インストールされたカスタムルールのデータファイルを get/list するための RESTful API コマンドはありません。
PD-9507	定義済みのシナリオで、RESTful か WUI を使って SDN コントローラに追加できません。
PD-9553	セキュアな NTP モードを無効にする API コマンドはありません。
PD-9816	API コマンドはルールセットの中の個々のルールをリストしますが、有効なルールセットをリストしません。
PD-9947	バーチャルサービスとリアルサーバは API コールに対して、SubVS がディセーブルであっても「Up」を戻します。
PD-10363	PowerShell API は[ServerFbaPath] と[ServerFBAPost] パラメータで問題を起こします。
PD-10421	API を使用して、異なるレベルのオプションで Syslog サーバ設定を複数回行うと、イベントが繰り返されてしまいます。
PD-10490	RESTful API の[vsremovewafrule]コマンドは複数ルールを削除することはできません。
PD-10577	いくつかの API コールは NULL ポインターのために正常に終了しません。
PD-10598	[IdP Certificate Match] オプションを修正する PowerShell API はありません。

Copyright © 2002 – 2018 KEMP Technologies, Inc. All Rights Reserved.
Copyright © 2017 – 2018 FXC Inc. Rights for Japanese is reserved.

5 リリース 7.2.40.1

このホットフィックスリリースで以下の問題が解決しています。このバージョンの LoadMaster が必要な場合は KEMP カスタマセンター（https://support.kemptechnologies.com/hc/en-us/requests/new）にご連絡ください。詳細はこのセクションの以下の内容を参照してください。

5.1 解決した問題

PD-10392	バージョン 7.2.39 から 7.2.40.1 にアップグレイドすることで、LoadMaster は動作の安定性を改善できます。
PD-10367	以前は、コネクション クローズ（ローカル）とリセット（ピア）の競合でシステムが不安定になる可能性がありました。 今や、エラーハンドリングを保護することで動作を緩和しています。
PD-10258	以前は、HSTS（HTTP ストリクト トランスポート セキュリティ）ヘッダは、レスポンス処理中に一部の SSL サービスでないリクエストによりデフォルト値を追加したことで問題が発生していました。今は、バーチャルサービスの SSL プロパティで動作を定義できます。
PD-10249	以前は、nonXML/JSON のペイロードは WAF エンジンの検査を通過しないため、悪意のあるコンテンツの検出が回避されていました。現在、 WAF の設定オプションにしたがってすべてのコンテンツタイプのペイロードを検査しています。
PD-10191	以前は、 暗号化手法の交換により IPsec のコネクション確立が失敗していました。現在は、LoadMaster の暗号化手法の交換を更新してコネクション確立は問題ありません。
PD-10177	以前、Web アプリケーションの HTTP/2 スタックが cookies の誤った処理のため、ブラウザでおかしな動きが発生していました。現在は、すべてのブラウザで cookies の動きは正しくなりました。
PD-10114	以前は、エッジセキュリティ パック（ESP）のユーザログにユーザエージェント情報は含みませんでした。今は、「L7 Configuration」画面の[Include User Agent Header in User Logs]のチェックボックスを有効にすると、ユーザエージェント情報を含むことができます。

5.2 既知の問題

PD-10980	LoadMaster オペレーティング システム（LMOS）のセッション管理における重大な脆弱性（CVE-2018-0901）により、権限を持たない遠隔地の攻撃者がセキュリティ保護を通過し、システムの実行権限を得て「ls」、「ps」、「cat」といったコマンドが実行できる可能性があります。この実行により、証明書の秘密鍵などの機密データが露出する危険性があります。現在この脆弱性はより厳しいチャックにより改善されました。詳細な情報は、Mitigation For Remote Access Execution Vulnerability を参照してください。
PD-8725	IPv6 の送信元アドレスでは「Proximity」と「Location Based」のスケジューリングは機能しません。
PD-9765	不明なソースからの DNS リクエストをサポートしません。
PD-10155	GEO の一部が機能しないために設定に問題が発生します。
PD-10374	ユーザの資格情報が、LDAP のエンドポイントヘルスチェックで Wireshark のキャプチャーに表示されてしまいます。
PD-10355	認証前に 2 番目のタブを開くとき、SAML でいくつかの認証の問題があります。

Copyright © 2002 – 2018 KEMP Technologies, Inc. All Rights Reserved.
Copyright © 2017 – 2018 FXC Inc. Rights for Japanese is reserved.

リリース 7.2.40.1

PD-10245	拡張ログは日付でしか選択できません。
PD-10239	IPsec シェアードキー（PSK）が平文でバックアップされます。
PD-10235	[ADN Adaptive add-on] が有効でないときに、アダプティブ エージェントログファイルが原因でディスクがフルになることがあります。
PD-10207	ESP の LDAP のログは「拡張」が必要です。
PD-10205	ESP の認証フォームは「_」（アンダースコア）、「-」（ハイフン）をサポートしません。
PD-10197	リアルサーバとバーチャルサービスのクラスタの状態が、[Home] 画面で正しく表示されません。
PD-9944	ヘッダー修正のルールで不適切な文字列の制限があります。
PD-10409	「content-type」ヘッダーのない POST リクエストでは、WAF はリクエストをブロックできません。
PD-10141	サービスのチェックインターバルの原因でコネクションが切れることがあります。
PD-10193	Microsoft Exchange 2010 で WAF、EPS、KCD の設定はサポートしていません。
PD-10126	コネクションが原因のキャッシュの問題があります。
PD-10086	新しいインターフェイスで[Use Default Gateway]オプションを選択すると、LoadMaster WUI へのアクセスが失われます。ただし、ローカル IP アドレスを使用している LoadMaster ではアクセスできます。
PD-10083	SNMP を使用すると、異常な数のバーチャルサービス、SubVS が表示されるという問題があります。
PD-10080	デフォルトゲートウェイを使って設定したボンディングインターフェイスでフェールオーバーが発生します。
PD-10042	WAF の統計情報はバーチャルサービスを削除したときにリセットされません。
PD-10040	WAF は、POST ボディにエンコードしたチャンク転送をサポートしません。
PD-10039	HTTP/2 機能は、Internet Explorer（IE）ブラウザでのみサポートします。
PD-9975	「WUI Authentication and Authorization」ページの「Test AAA for User」を使用して LDAP ベースのユーザをテストすると、ログは生成されず syslog にも表示されません。
PD-9764	LoadMaster は Azure クラシック/Azure Resource Manager（ARM）のエンドポイントに IPsec トンネルを設定できません。
PD-8697	一部のユーザで、ハードウェア セキュリティ モジュール（HSM）を使用したときにパーティション検出の問題が発生しています。
PD-10188	Safari ブラウザでバーチャルサービスか SubVS にリアルサーバを追加すると、使用可能なリアルサーバのリストを使用できません。
PD-10131	WAF と Kerberos 認証（KCD）のプロセスレスポンスが有効な場合、SharePoint でのファイル添付に問題があります。
PD-10159	CPU とネットワーク利用率のグラフはファームウェアのアップグレイドで表示しなくなります。また、グラフデータのリセットができません。
PD-10143	KCD が有効で、WAF の「Process Responses」オプションと「creditcard_track_pan」ルールが有効な場合、アクセスできません。
PD-9375	SAML 認証を使用している場合、SharePoint の Microsoft Office ファイルは Firefox と Chrome で動作しません。
PD-10095	L7 デバッグを有効にすると、一定の状況で VLM（Virtual LoadMasters）が再起動することがあります。
PD-7156	一部の API コマンド「VSIndex」のパラメータに問題があります。

Copyright © 2002 – 2018 KEMP Technologies, Inc. All Rights Reserved.
Copyright © 2017 – 2018 FXC Inc. Rights for Japanese is reserved.

リリース 7.2.40.1

PD-9476	インストールされたカスタムルールのデータファイルを get/list するための RESTful API コマンドはありません。
PD-9525	API コマンド「failtime」のパラメータは、分単位の設定にも関わらず秒単位で値を返します。
PD-9539	特定のシナリオで、PowerShell コマンド「New-GeoCluster」に問題があります。
PD-9553	セキュアな NTP モードを無効にする API コマンドはありません。
PD-9570	API コマンド「removecountry」の応答エラーメッセージに誤植があります。
PD-9572	RESTful API コマンド「Location Latitude」と「Location Longitude」で一部の値に表示の食い違いがあります。

Copyright © 2002 – 2018 KEMP Technologies, Inc. All Rights Reserved.
Copyright © 2017 – 2018 FXC Inc. Rights for Japanese is reserved.

6 リリース 7.2.40

ファームウェアバージョン 7.2.40 に関する詳細は、以下のセクションを参照してください。これは 2017 年 11 月 1 日にリリースされました。

6.1 新機能

7.2.40 で以下の機能を追加しました：

- アクティベーション サーバ ローカル（ASL）の LoadMaster に Web アプリケーション ファイアウォール（WAF）コマーシャルルールと GEO IP ブラックリスト ルールのダウンロード機能を追加
- KEMP による外部のナレッジ サービスを LoadMaster Web ユーザ インターフェイス（WUI）のヘルプメニューオプションとして提供

6.2 機能拡張

- コールホーム機能は、LoadMaster の初期のアクティベーションでオプトアウト方式により実行します。
- 次の OWASP セキュア HTTP 応答ヘッダを LoadMaster に追加しました。：「X-Frame-Options」、「X-XSS-Protection」、「X-Content-Type-Options」、「HSTS Strict-Transport-Security」
- バーチャルサービスとその配下のすべての SubVS を簡単に削除する機能を追加しました。
- リアルサーバの機能拡張：
  - バーチャルサービスと SubVS を構成するときに、利用可能なリアルサーバのリストから選択する機能を追加しました。
  - 「Real Servers」画面では、列ラベルをクリックしてリアルサーバのアドレスやステータスの列をソートできます。
  - SubVS にリアルサーバを追加すると、チェックボックスが表示され、メインのバーチャルサービスの他のすべての SubVS にそのリアルサーバを割り当てることが可能になりました。
- オンライン証明書ステータスプロトコル（OCSP）サーバに DNS 名を使える機能を追加しました。
- SAML 認証で、レイヤ 7 を保持することで、元の要求の URL が提供されます。この URL は SAML レスポンスのリンク先 URL よりも優先されます。
- FQDN でリアルサーバを指定するように改善しました。これに伴い DNS 更新間隔の設定が可能になりました。また、FQDN がリアルサーバの IP アドレスに関連付けられている状態でヘルスチェックがエラーになると、ときに、「Reload DNS Entries for Real Server Errors」機能で DNS エントリの再ロードできるようにしました。
- OCSP サーバの接続が失敗すると、エラーログを出力するようになりました。

Copyright © 2002 – 2018 KEMP Technologies, Inc. All Rights Reserved.
Copyright © 2017 – 2018 FXC Inc. Rights for Japanese is reserved.

6.3 解決した問題

PD-9886	Azure 版の VLM（バーチャル LoadMaster）のログで、初期のブート パスワードのセキュリティ問題を修正しました。
PD-9838	すべてのセッション ID が印刷されてしまうというセキュリティの問題が修正されました。今は、セッション ID の一部を印刷します。
PD-9837	「Password or Client certificate」（パスワードかクライアント証明書での認証）モードでの WUI 管理者ログインの問題を修正しました。
PD-9768	「Logon Transcode」オプションと ESP が有効になっているときのセキュリティの問題を修正しました。
PD-9892	SNORT ルールが適用されない問題を修正しました。
PD-9889	リアルサーバ接続に HTTP/2 接続が存在する場合、透過性は削除されます。
PD-9972	エッジセキュリティ パック（ESP）のグループ共通名とドメイン名は最大 127 文字です。
PD-9898	一部の GEO 機能が機能しなくなる設定破損の問題を修正しました。
PD-9865	GEO の IP ブラックリスト ルールの自動更新を妨げる問題を修正しました。
PD-9861	ログアウトせずに終了したセッションを再度オープンすると、ESP はユーザに再認証を強制します。
PD-9795	SAML 応答のデコードがエラーとなる原因を修正しました。
PD-9770	ESP ログにいくつかの情報を追加しました。
PD-9761	より多くの接続をサポートするように機能を拡張しました。
PD-9743	デフォルト ルールでコンテンツ スイッチが有効なバーチャルサービスのテンプレートをエクスポートするときの問題を修正しました。
PD-9666	Apache 2.4 では扱わない HTTP ヘッダ名のアンダースコアの問題を修正しました。
PD-9633	HTTP/1.1 を使用して「Checkhost」でポート番号を使用可能にする問題を修正しました。
PD-9517	認証許可を設定したグループは、正常なユーザ名を適応します。
PD-9508	ESP と SAML では、SAML 応答の証明書は SAML の SSO ドメインに割り当てられた証明書と一致しなければなりません。これにより、信頼できる証明書の解決を制限します。
PD-9470	LDAP のリアルサーバ ヘルスチェックの問題を修正しました。
PD-9453	Azure でデフォルトゲートウェイとネームサーバの ping は動作をサポートしていないため削除しました。
PD-9359	一部のユーザで ESP を使用した認証できないことがあります。ESP で一部のユーザの認証ができない問題を修正しました。
PD-9159	Web アプリケーション ファイアウォール（WAF）が有効な時に、特定のシナリオでバックエンドのトラフィックをブロックする問題を修正しました。
PD-10107	一定のシナリオで、最初のライセンス処理で WAF を無効になる問題を修正しました。
PD-10089	一定の状況で WAF「Process Responses」が無効になる問題を修正しました。
PD-10062	OCSP 設定で誤った FQDN がある場合のエラー処理が改善されました。
PD-9995	SharePoint か OWA にユーザがアクセスできないクライアント証明書の問題を修正しました。
PD-9908	ESP「steering groups」の問題を修正しました。
PD-9903	Azure VLM とプライベート IP アドレスで複数の Network インターフェースカード（NIC）に関する問題を修正しました。

Copyright © 2002 – 2018 KEMP Technologies, Inc. All Rights Reserved.
Copyright © 2017 – 2018 FXC Inc. Rights for Japanese is reserved.

リリース 7.2.40.1

PD-9869	「replacement text」フィールドに「空白」があるとルールが削除される問題を修正しました。
PD-9867	グローバル接続のタイムアウトがバーチャルサービスで発生しない問題を修正しました。
PD-9857	「RS drop on fail」を使用すると HTTP/2 がクラッシュするという問題を修正しました。
PD-9845	ローカル証明書の生成で、アラビア文字の互換性を改善しました。
PD-9783	ハイアベイラビリティ（HA）ステータス アイコンのテキストに誤った IP アドレスが表示される問題を修正しました。
PD-9758	一部のユーザで SharePoint から Office ファイルを編集またはアクセスできない問題を修正しました。
PD-9747	HA で、証明書認証と KEMP 360 の操作ができない問題を修正しました。
PD-9604	コンテンツルールが SubVS に正しく適用されないというインポートの問題を修正しました。
PD-9590	サブスクリプションの有効期限をより正確に表示するように改善しました。
PD-9657	LoadMaster は、特殊文字を含む Cipher 名称を正しく扱うようにしました。
PD-9643	Azure で、IP の一致が見つからない場合でも、IP アドレスのマッピングを許可し、IP アドレスを変更する機能を追加する修正をしました。
PD-9560	HA モードで、シェアード IP アドレスをクリックしたときのエラー処理を改善しました。
PD-9383	KEMP 360 の動作でパスワードの特殊文字に対するエラー処理を改善しました。
PD-8227	GEO の IP ブラックリストにネットワーク/アドレスを追加できない問題を修正しました。
PD-7157	WAF と Kerberos 認証（KCD）の両方で、OWA と SharePoint を使用しているときにファイルが添付できないという問題を修正しました。
PD-8413	テンプレートにワイルドカードポートがある場合、エラーが発生する問題を修正しました。
PD-9489	CPU とネットワークの使用状況をリセットする API コマンドの問題を修正しました。
PD-9963	KEMP 360 でアクティベーションサーバーローカル（ASL）機能と相互に作用する PowerShell API ラッパーに加えた修正をしました。
PD-9883	API を使用して特定のポートを持つバーチャルサービスを作成するときのエラー処理を改善しました。
PD-9836	パスワードにポーランド語の文字セットを使用するときの RESTful API の互換性を改善しました。
PD-9781	PowerShell API の「New-AdcContentRule」と「Set-AdcContentRule」コマンドで、欠落していたパラメータを追加しました。
PD-9779	WUI と RESTful API の「Client Authentication Mode」の ESP パラメータが一致しました。
PD-9771	RESTful API が、disabled/down 状態のバーチャルサービスで間違ったステータスを報告する問題を修正しました。
PD-9596	RESTful API コマンド「showiface」が、間違ったインターフェイス値を表示する問題を修正しました。
PD-9360	RESTful API を使用して、「Type」に「All」、「Base」、「Base + VS」、「Base + Geo」でバックアップを復元するとクラッシュする問題を修正しました。
PD-9349	PowerShell API ラッパーコマンド「Get-AslLicenseType」を新しい ASL の動作に関連して問題を修正しました。
PD-7978	PowerShell API コマンド「New-TlsHSMClientCert」で、「LoadBalancer」と「Credential/SubjectCN」パラメータを使用するとエラーが発生する問題を修正しました。
PD-9129	API のバックアップコマンドでレスポンスフォーマットに関する問題を修正しました。

Copyright © 2002 – 2018 KEMP Technologies, Inc. All Rights Reserved.
Copyright © 2017 – 2018 FXC Inc. Rights for Japanese is reserved.

6.4 既知の問題

PD-10980	LoadMaster オペレーティング システム（LMOS）のセッション管理における重大な脆弱性（CVE-2018-0901）により、権限を持たない遠隔地の攻撃者がセキュリティ保護を通過し、システムの実行権限を得て「ls」、「ps」、「cat」といったコマンドが実行できる可能性があります。この実行により、証明書の秘密鍵などの機密データが露出する危険性があります。現在この脆弱性はより厳しいチャックにより改善されました。詳細な情報は、Mitigation For Remote Access Execution Vulnerability を参照してください。
PD-8725	IPv6 の送信元アドレスでは「Proximity」と「Location Based」のスケジューリングは機能しません。
PD-9765	不明なソースからの DNS リクエストをサポートしません。
PD-10155	GEO の一部が機能しないために設定に問題が発生します。
PD-10392	ファームウェアを 7.2.39、7.2.39.1、7.2.40 にアップグレイドした後、マスターユニットで再起動がランダムに派生します。
PD-10080	デフォルトゲートウェイを使って設定したボンディングインターフェイスでフェールオーバーが発生します。
PD-10042	WAF の統計情報はバーチャルサービスを削除したときにリセットされません。
PD-10040	WAF は、POST ボディにエンコードしたチャンク転送をサポートしません。
PD-10039	HTTP/2 機能は、Internet Explorer（IE）ブラウザでのみサポートします。
PD-9975	「WUI Authentication and Authorization」ページの「Test AAA for User」を使用して LDAP ベースのユーザをテストすると、ログは生成されず syslog にも表示されません。
PD-9764	LoadMaster は Azure クラシック/Azure Resource Manager（ARM）のエンドポイントに IPsec トンネルを設定できません。
PD-8697	一部のユーザで、ハードウェア セキュリティ モジュール（HSM）を使用したときにパーティション検出の問題が発生しています。
PD-10188	Safari ブラウザでバーチャルサービスか SubVS にリアルサーバを追加すると、使用可能なリアルサーバのリストを使用できません。
PD-10131	WAF と Kerberos 認証（KCD）のプロセスレスポンスが有効な場合、SharePoint でのファイル添付に問題があります。
PD-10159	CPU とネットワーク利用率のグラフはファームウェアのアップグレイドで表示しなくなります。また、グラフデータのリセットができません。
PD-10143	KCD が有効で、WAF の「Process Responses」オプションと「creditcard_track_pan」ルールが有効な場合、アクセスできません。
PD-9375	SAML 認証を使用している場合、SharePoint の Microsoft Office ファイルは Firefox と Chrome で動作しません。
PD-10095	L7 デバッグを有効にすると、一定の状況で VLM（Virtual LoadMasters）が再起動することがあります。
PD-7156	一部の API コマンド「VSIndex」のパラメータに問題があります。
PD-9476	インストールされたカスタムルールのデータファイルを get/list するための RESTful API コマンドはありません。
PD-9525	API コマンド「failtime」のパラメータは、分単位の設定にも関わらず秒単位で値を返します。

Copyright © 2002 – 2018 KEMP Technologies, Inc. All Rights Reserved.
Copyright © 2017 – 2018 FXC Inc. Rights for Japanese is reserved.

リリース 7.2.40.1

PD-9539	特定のシナリオで、PowerShell コマンド「New-GeoCluster」に問題があります。
PD-9553	セキュアな NTP モードを無効にする API コマンドはありません。
PD-9570	API コマンド「removecountry」の応答エラーメッセージに誤植があります。
PD-9572	RESTful API コマンド「Location Latitude」と「Location Longitude」で一部の値に表示の食い違いがあります。

Copyright © 2002 – 2018 KEMP Technologies, Inc. All Rights Reserved.
Copyright © 2017 – 2018 FXC Inc. Rights for Japanese is reserved.

7 リリース 7.2.39.1

ファームウェアバージョン 7.2.39.1 に関する詳細は、以下のセクションを参照してください。これは 2017 年 9 月 6 日にリリースされました。

7.1 機能拡張

- LoasMaster for AWS（Amazon Web サービス）に LoadMaster Service Provider License Agreements（SPLA）のサポートしました。
- エッジセキュリティ パック（ESP）の接続ログの機能を拡張しました。

7.2 解決した問題

PD-9872	ルールが有効になっているときに Web アプリケーション ファイアウォール（WAF）が特定のリクエストをブロックしないという問題を修正しました。
PD-9879	UDP 接続で遅延が発生する問題を修正しました。
PD-9844	LoadMaster が再起動する問題を修正しました。

7.3 既知の問題

PD-10980	LoadMaster オペレーティング システム（LMOS）のセッション管理における重大な脆弱性（CVE-2018-0901）により、権限を持たない遠隔地の攻撃者がセキュリティ保護を通過し、システムの実行権限を得て「ls」、「ps」、「cat」といったコマンドが実行できる可能性があります。この実行により、証明書の秘密鍵などの機密データが露出する危険性があります。現在この脆弱性はより厳しいチャックにより改善されました。詳細な情報は、Mitigation For Remote Access Execution Vulnerability を参照してください。
PD-8725	IPv6 の送信元アドレスでは「Proximity」と「Location Based」のスケジューリングは機能しません。
PD-9765	不明なソースからの DNS リクエストをサポートしません。
PD-10392	ファームウェアを 7.2.39、7.2.39.1 にアップグレイドした後、マスターユニットで再起動がランダムに派生します。
PD-9908	ESP「steering groups」が期待どおりの振舞いをしません。
PD-9903	Azure VLM にプライベート IP アドレスを追加すると、複数のネットワークインターフェイスカード（NIC）がある場合にのみ動作します。
PD-9898	GEO IP 範囲選択クエリは、一定のシナリオでは拒否します。
PD-9869	「replacement text」フィールドに「空白」を追加すると、ルールが削除される問題があります。
PD-9867	グローバル接続でデフォルトのタイムアウト値の一部で問題があります。
PD-9865	GEO の IP ブラックリストの自動更新の一部に問題があります。

Copyright © 2002 – 2018 KEMP Technologies, Inc. All Rights Reserved.
Copyright © 2017 – 2018 FXC Inc. Rights for Japanese is reserved.

リリース 7.2.39.1

PD-9861	ESP の使用で、Outlook Web Access（OWA）にいくつかのセキュリティ問題があります。
PD-9857	「RS drop on fail」を使用すると HTTP/2 コネクションがカーネル パニックの原因になっています。
PD-9837	「Password or Client certificate」（パスワードかクライアント証明書での認証）モードでの WUI 管理者ログインが機能しません（bal ユーザを除く）
PD-9795	セキュリティアサーション マークアップ ランゲージ（SAML）認証を使用すると、いくつかの Base64 証明書のデコードが失敗します。
PD-9770	ESP のログで、いくつかの情報が記録されないことがあります。
PD-9768	ログオンのコード変換オプションに関連した SSO デバッグログでセキュリティの問題があります。
PD-9761	より多くの接続を行うと一部に問題が発生します。
PD-9758	SAML か KCD の認証を使用している場合、一部のユーザで SharePoint から Office ファイルを編集またはアクセスできないことがあります。
PD-9747	HA ペアで証明書認証を行うといくつかの問題が発生します。
PD-9743	デフォルト ルールを割当てたテンプレートファイルのインポートに問題があります。
PD-9666	Apache 2.4 ではアンダースコアのあるヘッダを受け付けません。
PD-9643	LoadMaster Azure でバーチャル サービスの IP アドレスを変更できません。
PD-9633	WUI を接続するポートで「check host」を設定できません（API か CLI で動作します）。
PD-9604	一部のカスタムテンプレートをインポートで問題が発生します。
PD-9517	パスワードが期限切れで、許可されたグループが使用されている時、一部のユーザを認証できません。
PD-9508	ESP は、ルート証明書の使用時のみ SAML assertions を検証します。
PD-9504	マルチテナントの LoadMaster で HA フェールオーバーの問題を抱えるユーザがいます。
PD-10159	CPU とネットワーク利用率のグラフはファームウェアのアップグレイドで表示しなくなります。また、グラフデータのリセットができません。
PD-9453	一部の Azure ユーザでライセンスの問題が発生しています。原因はデフォルト ゲートウェイとの通信上の問題によるものです。
PD-9383	ローカル LoadMaster のユーザ認証で特殊なスペース文字に関する問題が発生します。
PD-9359	一部のユーザで ESP を使用した認証できないことがあります。
PD-9159	WAF が有効な時に、特定のシナリオでバックエンドにトラフィックが無いことがあります。
PD-8697	一部のユーザで、ハードウェア セキュリティ モジュール（HSM）を使用したときにパーティション検出の問題が発生しています。
PD-7157	WAF と KCD を使用すると、SharePoint のすべてのファイル添付で問題が発生します。
PD-9470	LDAP のリアルサーバ ヘルスチェックが最適に動作しません。
PD-9883	API コマンド「addvs」は、LoadMaster Web ユーザーインターフェイス（WUI）と同じ IP アドレスとポート番号上にバーチャルサービスを誤って作成します。
PD-9864	「WUI Session Management」の「Require Basic Authentication 」が有効な時に、マルチテナント LoadMaster の API が機能しません。
PD-9779	WUI と RESTful API の「Client Authentication Mode」のパラメータが一致していません。
PD-9596	RESTful API コマンド「showiface」が、設定の無いインターフェイスの出力に間違ったインターフェイス値を表示します。

Copyright © 2002 – 2018 KEMP Technologies, Inc. All Rights Reserved.
Copyright © 2017 – 2018 FXC Inc. Rights for Japanese is reserved.

リリース 7.2.39.1

PD-9572	RESTful API コマンド「Location Latitude」と「Location Longitude」で一部の値に表示の食い違いがあります。
PD-9570	API コマンド「removecountry」の応答エラーメッセージに誤植があります。
PD-9553	セキュアな NTP モードを無効にする API コマンドはありません。
PD-9539	特定のシナリオで、PowerShell コマンド「New-GeoCluster」に問題があります。
PD-9525	API コマンド「failtime」のパラメータは、分単位の設定にも関わらず秒単位で値を返します。
PD-9523	特定のシナリオでは、RESTful API は存在しない GEO の FQDN を取得した時に成功メッセージを返します。
PD-9476	インストールされたカスタムルールのデータファイルを get/list するための RESTful API コマンドはありません。
PD-9129	バックアップを行う API コマンドに、PowerShell ラッパー接続を切断する問題があります。
PD-7156	一部の API コマンド「VSIndex」のパラメータに問題があります。
PD-10160	CPU とネットワークグラフをリセットする API コマンドが機能しません。

Copyright © 2002 – 2018 KEMP Technologies, Inc. All Rights Reserved.
Copyright © 2017 – 2018 FXC Inc. Rights for Japanese is reserved.

8 リリース 7.2.39

ファームウェアバージョン 7.2.39 に関する詳細は、以下のセクションを参照してください。これは 2017 年 8 月 2 日にリリースされました。

8.1 新機能

7.2.39 で以下の機能を追加しました：

- レスポンス ボディの変更ルールを追加
- HTTP/2 のサポート
- Azure Marketplace シンジケーションによる Azure Stack TP3 のサポート
- 以下のアプリケーションで、バーチャル サービスを設定、登録するためのテンプレートを提供：
  - Aequitas
  - Cerner Health
  - eClinicalWorks
  - Horizon Flex
  - Seclore
  - NextCloud
- クラウド環境下の HA 機能を拡張

8.2 機能拡張

- OpenSSH のバージョンを 7.5.p1.にアップデイトしました。
- エッジ セキュリティ パック（ESP）のコネクションログ機能を拡張しました。
- マイクロソフト Exchange 2010 について、フォームによる認証を追加しました。
- 選択可能な ESP のシングル サイン オン（SSO）設定オプションを追加しました。
- PowerShell モジュールをマイクロソフト標準に準拠しました。

PowerShell モジュールは、KEMPTechnologies が供給する前世代の PowerShell モジュールとの互換性はありません。

- Web アプリケーション ファイアウォール（WAF）のストレージへのログングを最適化しました。

8.3 解決した問題

PD-9627	Web ユーザ インターフェイス（WUI）内での cookie 値の表示を中止しました。
PD-9588	VLAN インターフェイスで、シェアード IP のアドレス変更が可能になりました。

Copyright © 2002 – 2018 KEMP Technologies, Inc. All Rights Reserved.
Copyright © 2017 – 2018 FXC Inc. Rights for Japanese is reserved.

リリース 7.2.39

PD-9556	GEO のカスタム ローケーションの問題を修正しました。
PD-9551	GEO で、アンダースコアを含む FQDN 名の設定が可能になりました。
PD-9549	WAF の利用時に、一部のユーザが一部のバーチャルサービスにアクセスできない問題を修正しました。
PD-9522	SSL の再暗号化が有効なときにコンテンツルールが消失する問題を修正しました。
PD-9492	LM-5600 モジュールで、リブート後に構成情報が消失する問題を修正しました。
PD-9457	完了パケットの送受信でエラーが発生する問題を修正しました。.
PD-9456	アンダースコア付きのユーザ名を使用できるように SCP の自動バックアップ処理を修正しました。
PD-9450	OCSP が特定のシナリオで有効なユーザを許可しない問題を修正しました。
PD-9402	RSA 認証を使用して異なるブラウザで異なるアプリケーションにログインすると、ユーザ コネクションが切断される問題を修正しました。
PD-9401	「Drop Connections on RS failure」で RAM の使用率が高くなる問題を修正しました。
PD-9393	SSO マネージャのメモリの問題を修正しました。
PD-9389	SNORT ルールの稼働中に L7 の初期化を妨げる問題を修正しました。
PD-9362	バーチャルサービスで有効であるにも関わらず、リアル サーバが強制的に無効状態なってしまう問題を修正しました。
PD-9335	サーバ側の SSO ドメインで消失を防ぐ問題を修正しました。
PD-9290	SSO マネージャのログで推奨されないオプションを削除しました。
PD-9258	ファームウェア アップグレード後に一部のユーザが LoadMaster にアクセスできなくなる問題を修正しました。
PD-9253	パッシブユニット内の WAF に関連する不要なログを削除しました。
PD-9239	バーチャルサービスの UDP syslog パーシステンスが変更されたときに LoadMaster が再起動するとう問題を解決しました。
PD-9236	MELA（メータド エンタープライズ ライセンス アグリーメント）版 LoadMasters の HA 構成で 5 分ごとにネットワーク障害が発生する問題を修正しました。
PD-9229	ファームウェア アップグレードすると、ユニットの再起動後に応答が無い状態になる問題を修正しました。
PD-9218	LDAP の資格情報を使用して WUI にサインインができないという問題を修正しました。
PD-9206	フォームの認証によるサーバ パスワードで特殊文字を扱えるように改善しました。
PD-9183	特定状況でのセグメンテーション違反の問題を解決しました。
PD-9160	WAF が 1MB を超えるファイルのアップロードをブロックする問題を修正しました。
PD-9158	「Send SNMP traps from the shared address」オプションが有効であるのに、shared IP からではなく個別 IP から SNMP トラップが発生する問題を修正しました。
PD-9154	Exchange 2010 の OWA 有効期限切れパスワード機能の問題を修正しました。
PD-9136	クラスタ モードでの再暗号化でサブネット オリジネーティングの問題を修正しました。
PD-9133	一部のライセンスの応答情報をログレベルで修正しました。
PD-9123	ルール選択でデフォルト コンテンツルールが選択できない問題を修正しました。
PD-9121	クライアント証明書の認証に関する問題を修正しました。
PD-9114	アンダースコア含むホスト名があると電子メールのアラートが機能しない問題を修正しました。
PD-9112	WAF のリアルタイム統計に SubVS の IP アドレスを表示しない問題を修正しました。

Copyright © 2002 – 2018 KEMP Technologies, Inc. All Rights Reserved.
Copyright © 2017 – 2018 FXC Inc. Rights for Japanese is reserved.

リリース 7.2.39

PD-9107	LDAP を使った認証の問題を修正しました。
PD-9074	宛先 IP アドレスと ESP セッション管理に関連するエラーメッセージを改善しました。
PD-9062	ヘルスチェックの失敗が同時発生する問題を修正しました。
PD-9059	GEO のエラーハンドリングを改善しました。
PD-9045	メールのロギングで MAIL FROM もしくはカレント ホスト名を使用しない問題を修正しました。
PD-9041	特定の Web 機能が原因となる WAF の問題を修正しました。
PD-9039	HA ペアのフェールオーバーが 2 回発生したときに WAF がバーチャル サービスを切断する問題を修正しました。
PD-8986	特定の状況下でダウンロード速度が遅くなる問題を修正しました。
PD-8915	Hyper-V のライブ マイグレーションに関する問題を修正しました。
PD-8896	SAML 認証を使用中に、一部の利用者が SharePoint から Office ファイルを編集またはアクセスできないという問題を修正しました。
PD-8558	テンプレートを使用したセットアップで、バーチャルサービスを介した Outlook クライアントの接続が遅くなるという問題を修正しました。
PD-8320	HP の SDN コントローラから SDN に接続できない問題を修正しました。
PD-9384	「Enable Session Management」チェックボックスのホバーテキスト内の文字誤りを修正しました。
PD-9356	Syslog エントリはもう複製されません。
PD-9181	SCP 自動バックアップキーの一部が露出していた問題を修正しました。
PD-9174	コンソールでの FTP を使用したバックアップできない問題を修正しました。
PD-8953	「Allow Administrative WUI Access」チェックボックスラベルでスペル誤りを修正しました。
PD-7265	シェアード IP アドレスを変更したときに、IP アドレスにリダイレクトするようになりました。
PD-9285	無効な LDAP EP で wuildapep パラメータを設定したときのレスポンス コードを修正しました。
PD-9153	mlogc（ModSecurity Log Collector）で受け付けることで、SubV 生成の WAF イベントが止まる問題を修正しました。
PD-9151	「Reset Statistic Counters」オプションで、WAF の統計をリセットできるようになりました。
PD-9060	WAF のリモートログを無効にすると、一部の mlogc（ModSecurity Log Collector）インスタンスの CPU 使用率が 100%になる問題を修正しました。
PD-8969	初期設定で、WAF の自動インストールが動作しない問題を修正しました。
PD-8968	KVM ベースの LoadMaster で、HA シェアード IP アドレスを変更すると、リブートせずに変更できるようにしました。
PD-8750	マルチインターフェースアクセスを変更すると発生する、WUI のアクセス問題を修正しました。
PD-9624	CVE-2017-8890 の脆弱性の対策を施しました。
PD-9355	特定のシナリオでクライアント証明書を使用した認証の問題を修正しました。
PD-9096	毎日、圧縮した ESP の拡張ログファイルを自動で生成するようになりました。
PD-8958	OWA にログインするクライアント SAML の SSO ユーザのセッションが表示できるようになりました。
PD-8413	テンプレートにワイルドカードポートがある場合、エラーが発生する問題を修正しました。
PD-8196	RESTful API コマンド「enablewafremotelogging」によるエラー ハンドリングを改善しました。
PD-8118	API を使用して GEO 更新インターフェイスを取得するパラメータを追加しました。

Copyright © 2002 – 2018 KEMP Technologies, Inc. All Rights Reserved.
Copyright © 2017 – 2018 FXC Inc. Rights for Japanese is reserved.

リリース 7.2.39

PD-8107	API を使って強制的に NTP を更新するオプションを追加しました。
PD-7613	より多くのパラメータを表示する API コマンド「showiface」を改善しました。
PD-9176	Azure の EULA API の出力を改善しました。
PD-9099	「delintermediate」API コマンドの問題を修正しました。
PD-8727	It is possible to delete the IP range using the API (even if it includes IPv6). API（IPv6 を含む）を使用して IP 範囲を削除できるようにしました。
PD-9593	RESTful API を使った HA のシェアード IP アドレスの設定に於いて、ベース IP アドレスへの接続の問題を修正しました。
PD-9581	PowerShell の「Set-GeoMiscParameter」コマンドの出力に関する問題を修正しました。
PD-9439	「Set-LmHAMode」コマンドの出力に関する問題を修正しました。
PD-9378	RESTful API を使用して、未知のバーチャル サービスにホワイト/ブラックのリストアドレスを追加する際のエラーを改善しました。
PD-9132	API を使用した設定のリストアを機能します。
PD-9346	PowerShell コマンドの「Uninstall-LmPatch」を修正しました。
PD-9343	RESTful API を使用して存在しない LoadMaster アドオンを削除する際のエラーが改善しました。
PD-9260	RESTful API を使用してローカルユーザーのパスワードを変更できるようにしました。
PD-9255	RESTful API コマンドの「uploadsamlidpmd」で、エラー処理を改善しました。
PD-9148	RESTful API を使用して電子メールサーバ ポートと Syslog サーバ ポートの設定を解除できるようになりました。
PD-9108	RESTful API を使って存在しないルートを削除する際のエラー処理を改善しました。

8.4 既知の問題

PD-10980	LoadMaster オペレーティング システム（LMOS）のセッション管理における重大な脆弱性（CVE-2018-0901）により、権限を持たない遠隔地の攻撃者がセキュリティ保護を通過し、システムの実行権限を得て「ls」、「ps」、「cat」といったコマンドが実行できる可能性があります。この実行により、証明書の秘密鍵などの機密データが露出する危険性があります。現在この脆弱性はより厳しいチャックにより改善されました。詳細な情報は、Mitigation For Remote Access Execution Vulnerability を参照してください。
PD-8725	IPv6 の送信元アドレスでは「Proximity」と「Location Based」のスケジューリングは機能しません。
PD-9765	不明なソースからの DNS リクエストをサポートしません。
PD-10392	ファームウェアを 7.2.39 にアップグレイドした後、マスターユニットで再起動がランダムに派生します。
PD-9821	メモリの利用率が高まる状態が表れます。.
PD-9892	SNORT ルールのアプリケーションが動作しません。
PD-10155	GEO の一部が機能しないために設定に問題が発生します。
PD-9844	LoadMaster が再起動する問題があります。
PD-9877	UDP のバーチャルサービスで若干のディレイがありまあす。

Copyright © 2002 – 2018 KEMP Technologies, Inc. All Rights Reserved.
Copyright © 2017 – 2018 FXC Inc. Rights for Japanese is reserved.

リリース 7.2.39

PD-9793	バーチャルサービスで適切なルールが割り当てられていても、WAF は攻撃をブロックしません。この解決には、[Inspect HTML POST Request Content] チェックボックスをオンにします。
PD-9758	SAML か KCD の認証を使用している場合、一部のユーザで SharePoint から Office ファイルを編集またはアクセスできないことがあります。
PD-9770	ESP のログで、いくつかの情報が記録されないことがあります。
PD-9159	WAF が有効な時に、特定のシナリオでバックエンドにトラフィックが無いことがあります。
PD-9666	Apache 2.4 ではアンダースコアのあるヘッダを受け付けません。
PD-9633	WUI を接続するポートで「check host」を設定できません（API か CLI で動作します）。
PD-9517	パスワードが期限切れで、許可されたグループが使用されている時、一部のユーザを認証できません。
PD-9508	ESP は、ルート証明書の使用時のみ SAML assertions を検証します。
PD-9504	マルチテナントの LoadMaster で HA フェールオーバーの問題を抱えるユーザがいます。
PD-9489	ファームウェアのアップグレード後に CPU とネットワークの使用状況がグラフ表示されません。
PD-9470	LDAP のリアルサーバ ヘルスチェックが最適に動作しません。
PD-9453	一部の Azure ユーザでライセンスの問題が発生しています。原因はデフォルト ゲートウェイとの通信上の問題によるものです。
PD-9359	一部のユーザで ESP を使用した認証できないことがあります。
PD-8697	一部のユーザで、ハードウェア セキュリティ モジュール（HSM）を使用したときにパーティション検出の問題が発生しています。
PD-9768	ログオンのコード変換オプションに関連した SSO デバッグログでセキュリティの問題があります。
PD-9657	名称に - または + を使用した Cipher セットでいくつかの問題が発生しています。
PD-9643	LoadMaster Azure でバーチャル サービスの IP アドレスを変更できません。
PD-9604	一部のカスタムテンプレートをインポートで問題が発生します。
PD-9747	HA ペアで証明書認証を行うといくつかの問題が発生します。
PD-9383	ローカル LoadMaster のユーザ認証で特殊なスペース文字に関する問題が発生します。
PD-7157	WAF と KCD を使用すると、SharePoint のすべてのファイル添付で問題が発生します。
PD-7156	一部の API コマンド「VSIndex」のパラメータに問題があります。
PD-9575	一部の API コマンド「aclcontrol」に問題があります。
PD-9129	バックアップを行う API コマンドに、PowerShell ラッパー接続を切断する問題があります。
PD-9596	RESTful API コマンド「showiface」が、設定の無いインターフェイスの出力に間違ったインターフェイス値を表示します。
PD-9572	RESTful API コマンド「Location Latitude」と「Location Longitude」で一部の値に表示の食い違いがあります。
PD-9570	API コマンド「removecountry」の応答エラーメッセージに誤植があります。
PD-9553	セキュアな NTP モードを無効にする API コマンドはありません。
PD-9539	特定のシナリオで、PowerShell コマンド「New-GeoCluster」に問題があります。
PD-9525	API コマンド「failtime」のパラメータは、分単位の設定にも関わらず秒単位で値を返します。
PD-9523	特定のシナリオでは、RESTful API は存在しない GEO の FQDN を取得した時に成功メッセージを返します。

Copyright © 2002 – 2018 KEMP Technologies, Inc. All Rights Reserved.
Copyright © 2017 – 2018 FXC Inc. Rights for Japanese is reserved.

リリース 7.2.39

PD-9476	インストールされたカスタムルールのデータファイルを get/list するための RESTful API コマンドはありません。
PD-7978	「TlsHSMClientCert」コマンドは、「LoadBalancer」と「Credential/SubjectCN」パラメータを使用するとエラーを返します。
PD-10160	CPU とネットワークのグラフをリセットする API コマンドが動作しません。

Copyright © 2002 – 2018 KEMP Technologies, Inc. All Rights Reserved.
Copyright © 2017 – 2018 FXC Inc. Rights for Japanese is reserved.

9 リリース 7.2.38

ファームウェアバージョン 7.2.38 に関する詳細は、以下のセクションを参照してください。これは 2017 年 4 月 3 日にリリースされました。

9.1 新機能

7.2.38 で以下の機能を追加しました：

- 階層型サブスクリプション ライセンス モデルの導入
- 以下のアプリケーションで、バーチャル サービスを登録するためのテンプレートを提供：
  - Zimbra
  - Deepnet DualShield
  - Luminis (Banner)

9.2 機能拡張

- エッジ セキュリティ パック（ESP）のコネクションログ機能を拡張しました。
- マイクロソフト Exchange 2010 について、フォームによる認証を追加しました。
- 選択可能な ESP のシングル サイン オン（SSO）設定オプションを追加しました。
- PowerShell モジュールをマイクロソフト標準に準拠しました。
- OpenSSH のバージョンを 7.4p1 にアップデイトしました。
- 以下の脆弱性に対応するために OpenSSL のバージョンを 1.0.2k にアップデイトしました。
  - CVE-2017-3731
  - CVE-2017-3730
  - CVE-2017-3732
  - CVE-2016-7055
- LoadMaster はより多くの構成情報を KEMP に戻すようにしました。
- OWASP CRS 3.0 のルールをサポートしました。
- HA ステータス インジケータのホバーテキストを改善しました。
- 自動バックアップで SCP と FTP を使用できるようになりました。
- デバグ用 API コマンドで XML を出力するように改善しました。

9.3 解決した問題

PD-8602	リアル サーバ名に FQDN を使用すると、ログにはリアルサーバの FQDN と IP アドレスの両方を表示します。
PD-8477	固定の重み付けの設定で、デフォルトのリアル サーバを表示するアイコンを改善しました。
PD-8985	カスタム Cipher セット作成時の問題を修正しました。

Copyright © 2002 – 2018 KEMP Technologies, Inc. All Rights Reserved.
Copyright © 2017 – 2018 FXC Inc. Rights for Japanese is reserved.

リリース 7.2.38

PD-8983	ActiveSync の動作が停止する問題を修正しました。
PD-8966	リモート syslog ポートの問題を修正しました。
PD-8947	圧縮が HTTP バーチャル サービスで動作しない問題を修正しました。
PD-8890	エッジセキュリティパック（ESP）ユーザ名フィールドの問題を修正しました。
PD-8846	GEO で、パブリック クライアントにプライベート情報を応答する問題を修正しました。
PD-8771	ログオフでは「IdP Logoff URL」になるべきだが、「IdP SSO URL」を提示していた SAML の問題を修正しました。
PD-8760	LoadMaster は、Web アプリケーション ファイアウォール（WAF）のルールセットが期限切れであるという誤ったメッセージを表示しないようにしました。
PD-8730	一部のケースで、ESP を使用したクライアント認証ができない問題を修正しました。
PD-8657	PowerSchool の利用で一部のファイルがダウンロードできない問題を修正しました。
PD-8642	自動バックアップが成功したときに、誤ったエラーログが生成される問題を修正しました。
PD-8636	グローバルが無効であっても、FQDN が有効であれば表示する問題を修正しました。
PD-8581	ESP ログがフィルタリングされて表示されない問題を修正しました。
PD-8568	ログファイルを表示するときに不要なエラーメッセージが表示しないようにしました。
PD-8953	Web ユーザーインターフェイス（WUI）のリモートアクセス画面の誤植を修正しました。
PD-8869	別のバーチャル サービスと競合するエクストラ ポートを追加すると、エラーメッセージを表示するようにしました。
PD-9031	LoadMaster コンソール画面に不要なエラーが表示しないようにしました。
PD-8972	RADIUS サーバ、または RADIUS のシェアード シークレットの値を表示していない問題を修正しました。
PD-8772	LoadMaster コンソールのシリアル番号フィールドを遮断してた問題を修正しました。
PD-8965	ライセンスに Multiple Connect を設定していなくても、TCP Multiple Connect の有効/無効が行えるようにしました。
PD-8014	リモート GEO LoadMasters では、バーチャル サービス アドレスがなくてもマークされます。
PD-8766	「Everywhere」は GEO のローケーション選択で 1 回だけ表示されます。
PD-8713	一部のコンテンツルールの特定のマッチ シナリオで問題を修正しました。
PD-8882	API で Real Server の宛先ポートが設定できない問題を修正しました。
PD-8654	API を使用して HTTP / 1.1 を設定できない問題を修正しました。
PD-8716	API コマンド「showdomainlockedusers」の出力を改善しました。
PD-8545	PowerShell API コマンド「Initialize-LoadBalancer」の問題を修正しました。
PD-8848	PowerShell API コマンド [Request-KEMPLicenseOffline] と [Update-KEMPLicenseOffline] のエラー処理が改善されました。
PD-8988	一部のシナリオでカーネルパニックを引き起こしていた問題を修正しました。
PD-8649	/tmp が部分的にいっぱい（～17%）になったときに、ファームウェアパッチが適用されない問題を修正しました。
PD-8746	ファクトリ リセット後の WAF ルールのダウンロード/インストールで発生する問題を修正しました。
PD-8378	API コマンド[istvs] によるエラー処理を改善しました。
PD-8561	API コマンド[createbond] と[unbond] の応答を改善しました。

Copyright © 2002 – 2018 KEMP Technologies, Inc. All Rights Reserved.
Copyright © 2017 – 2018 FXC Inc. Rights for Japanese is reserved.

PD-8357	API で新しいクラスタを追加するときのエラー処理の問題を修正しました。
PD-8992	メールのロギングを改善しました。
PD-8656	API コマンド「aslactivate」の問題を修正しました。
PD-8731	GEO のブラックリスト機能の問題を修正しました。
PD-8857	PowerShell API コマンド[Get-LicenseType] の出力を改善しました。
PD-8411	PowerShell モジュールファイルのインポート問題を修正しました。

9.4 既知の問題

PD-10980	LoadMaster オペレーティング システム（LMOS）のセッション管理における重大な脆弱性（CVE-2018-0901）により、権限を持たない遠隔地の攻撃者がセキュリティ保護を通過し、システムの実行権限を得て「ls」、「ps」、「cat」といったコマンドが実行できる可能性があります。この実行により、証明書の秘密鍵などの機密データが露出する危険性があります。現在この脆弱性はより厳しいチャックにより改善されました。詳細な情報は、Mitigation For Remote Access Execution Vulnerability を参照してください。
PD-9892	SNORT ルールのアプリケーションが動作しません。
PD-10155	GEO の一部が機能しないために設定に問題が発生します。
PD-7265	HA ペアでシェアード IP アドレスを変更すると、新しいシェアード IP アドレスにリダイレクトしません。
PD-8413	テンプレートからバーチャルサービスを作成すると、ワイルドカードのポートを指定できません。
PD-8725	IPv6 の送信元アドレスでは「Proximity」と「Location Based」のスケジューリングは機能しません。
PD-8561	API コマンド「createbond/unbond」の実行で、その結果が成功でも、応答しないことがあります。
PD-8196	API コマンド「enablewafremotelogging」を使用するとき、リモート URI が無効なフォーマットで設定されることがあります。
PD-8118	API を使用して GEO 更新インターフェイスを設定することはできません。
PD-8107	API を使用して強制的な NTP 更新を行うことはできません。
PD-7613	API コマンド「showiface」と「modiface」では、「Cluster Checks」と「Cluster Updates」オプションは表示されません。
PD-7156	一部の API コマンド「VSIndex」のパラメータに問題があります。
PD-9070	API を使用したとき、インターバル チェックで正しい値が表示されません。
PD-9059	GEO のエラーメッセージに問題があります。
PD-8881	Powershell コマンド「Get-Virtualservice」は有効な PS のオブジェクトを戻しません。
PD-7265	HA ペアでシェアード IP アドレスを変更すると、新しいシェアード IP アドレスにリダイレクトしません。
PD-10160	CPU とネットワークのグラフをリセットする API コマンドが動作しません。

Copyright © 2002 – 2018 KEMP Technologies, Inc. All Rights Reserved.
Copyright © 2017 – 2018 FXC Inc. Rights for Japanese is reserved.

10 リリース 7.2.37.1

ファームウェアバージョン 7.2.37.1 に関する詳細は、以下のセクションを参照してください。これは 2017 年 2 月 7 日にリリースされました。

10.1 新機能

7.2.37.1 で以下の機能を追加しました。

- セキュリティ アサーション マークアップ ランゲージ（SAML）をサポート
- エッジ セキュリティ パック（ESP）のフォームベース認証
- ハードウェアの状態監視
- ドメインネーム システム セキュリティ エクステンション（DNSSEC）をサポート
- バックアップの改善
- 以下のバーチャルサービス アプリケーション用テンプレートを公開：
  - DNS
  - Ellucian Luminis Portal
  - NGINX server
  - Aspera Server
  - TFTP
  - Microsoft Print Server
  - Graylog server

10.2 機能拡張

- リアルサーバへの SSL アクセスで TLS バージョンの選択が可能になりました。
- 自己署名証明書や信頼されないリアルサーバの証明書でも明示的に信頼するようにしました。
- CVE-2016-5195 の脆弱性を改善するためにカーネルを更新しました。
- PowerShell/API を拡張しました：
  - SSO セッション監視
  - HA ステータス
  - GEO パートナー ステータス
  - 証明書の管理
  - ライセンス処理
- LDAP 認証で、スコープの検索と DN のバインドをサポートしました。
- NTLM で、グループメンバーシップの LDAP クエリに対応しました。
- リモート syslog サーバの設定で、宛先ポートの設定ができるようになりました。
- TLS1.1 と TLS1.2 をデフォルトの暗号化プロトコルにしました。

Copyright © 2002 – 2018 KEMP Technologies, Inc. All Rights Reserved.
Copyright © 2017 – 2018 FXC Inc. Rights for Japanese is reserved.

- 証明書ベースのクライアント認証のための OCSP をサポートしました。
- パスワード有効期限切れの検出とリンク変更の表示を ESP で対応しました。
- ESP を使用した認証で、視認性とセッションの制御性を向上しました。
- ESP の許可されたグループについて、正規名の代わりにセキュリティ識別子（SID）が使用できるようになりました。
- Azure と Amazon Web Services（AWS）環境ですべての LoadMasters は固有シリアル番号を付与できるようになりました。
- 以下の脆弱性に対応するために OpenSSL のバージョンを 1.0.2k にアップデイトしました：
  - CVE-2017-3731
  - CVE-2017-3730
  - CVE-2017-3732
  - CVE-2016-7055
  - CVE-2016-9131
  - CVE-2016-9147
  - CVE-2016-9444
  - CVE-2016-9778

10.3 解決した問題

PD-8417	X-Forwarded-For ヘッダから括弧を削除しました。
PD-7676	PCRE の上限を 1500 から 3000 にしました。
PD-8010	バーチャルサービスで Web アプリケーションファイアウォール（WAF）を作成したときと、WAF のバーチャルサービスでの制限に達しているときに表示するエラーメッセージを改善しました。
PD-8339	WAF を有効にするテンプレートの機能を拡張しました。
PD-8596	FTP の自動バックアップが成功したときに、エラーを発生しないようにしました。
PD-8559	ログファイルを表示するときのポップアップ メッセージを削除しました。
PD-8531	有効でないパスワード形式でも、カスタムイメージの設定で機能するようにしました。
PD-8453	FTP のバックアップの問題を修正しました。
PD-8451	特定のシナリオで発生するセグメンテーション違反の問題を修正しました。
PD-8439	VLM-1000 のファームウェア バージョンをアップグレードした後にログのエラーが発生する問題を修正しました。
PD-8407	ESP クライアントでロックしたたユーザーの認証ができない問題を修正しました。
PD-8371	SubVS の ESP 接続ログにはリアルサーバを表示します。
PD-8341	インターフェイスのボンディングで、MTU サイズを 1500 にリセットすることはありません。
PD-8298	IPv6 ルーティングに関連するいくつかの問題を修正しました。
PD-8285	いくつかの JavaScript で表示する LoadMaster の警告ログは、ブラウザによって実行されます。
PD-8281	Azure のマルチアーム デプロイで、IP アドレス割り当ての問題を解決しました。
PD-8205	同じ接続で複数リクエストにマッチするコンテンツルールの問題を修正しました。
PD-8200	HA ペアの個々の IP アドレスに対して管理者用証明書の管理は可能です。

Copyright © 2002 – 2018 KEMP Technologies, Inc. All Rights Reserved.
Copyright © 2017 – 2018 FXC Inc. Rights for Japanese is reserved.

リリース 7.2.37.1

PD-8101	SAML の応答の問題を修正しました。
PD-8097	Firefox と LoadMaster の組合せで WebSocket へアクセスしたときの問題を修正しました。
PD-8085	VLAN インターフェイスを変更するときに Web ユーザーインターフェイス（WUI）の管理者用証明書を設定解除する問題を修正しました。
PD-8025	SDN アドオンが有効なときにはグラフで情報を表示します。
PD-8006	ロケーションベースの選択基準において「everywhere」オプションの問題を修正しました。
PD-7789	特定な状況で Web アプリケーションファイアウォール（WAF）を使用すると CPU 使用率が高くなる問題を修正しました。
PD-7778	接続数が少ない状況にもかかわらず、特定の事象おいて SSL のオープンの接続制限に達してしまう問題を修正しました。
PD-8597	特定の状況でセグメンテーション違反の原因となった問題を修正しました。
PD-8463	SubVS のヘルスチェックで「Critical」オプションを設定できない問題を修正しました。
PD-8399	L7 接続のドレイン時間（秒）で API コマンドのコードエラーを修正しました。
PD-8320	SDN アドオンから HP の SDN コントローラにユーザ名とパスワードが渡っていない問題を修正しました。
PD-8072	エクスポートされたテンプレートをインポートできない問題を修正しました。
PD-8430	複数のサーバ環境で LDAP エンドポイント動作を修正しました。
PD-8372	SSO ドメインの LDAP ヘルスチェックを無効にする問題を修正しました。
PD-8282	システムがディスクエラーを常に報告していた問題を修正しました。
PD-8114	ESP と LDAP の組合せで、StartTLS ヘルスチェックが失敗するとバーチャルサービスのステータスが正しくないと報告される問題を修正しました。
PD-8030	SNMP が無効になっているにも関わらず、SNMP の詳細を返信する問題を修正しました。
PD-8225	LoadMaster のライセンス処理で、不正確な資格情報が使われると正しいエラーメッセージを表示します。
PD-8552	バーチャルサービスの IP アドレスとポート番号の変更で、バーチャルサービスのアクセス許可を持つユーザがアクセスできない問題を修正しました。
PD-8086	AWS のバーチャル LoadMaster（VLM）でセッション管理が有効になりました。
PD-7998	WUI の管理者パラメータの扱いを改善しました。
PD-8112	Sorry Servers で SSL の再暗号化が正常に機能しない問題を修正しました。
PD-8397	ヘルスチェック強化で、バーチャルサービスをチェックする GEO クラスタは、ダウン ステータスを正しく報告できます。
PD-8296	vRealize の Operations/Orchestrator Manager に対して、カスタム管理ポートでの構成を可能にしました。
PD-8549	UI によるテンプレートの追加/削除の許可が修正されました。
PD-8083	クラスタ HA モードの取得/設定のために、新しい PowerShell API コマンドを追加しました。
PD-8005	Microsoft Service Management Automation（SMA）でエラー原因となった PowerShell API の問題を修正しました。
PD-8192	API コマンド「Get-NetworkDNSConfiguration」から不要な出力を削除しました。
PD-7559	API を使用すると、アクセスコントロール リスト（ACL）のブロックとホワイトリストのエントリにコメントを追加できます。

Copyright © 2002 – 2018 KEMP Technologies, Inc. All Rights Reserved.
Copyright © 2017 – 2018 FXC Inc. Rights for Japanese is reserved.

リリース 7.2.37.1

PD-8555	バーチャルサービスのステータスは、API コマンド「stats」でリストします。
PD-8525	PowerShell API コマンド「Set-LmParameter」で、いくつかのパラメータ値を null に設定できるようになりました。
PD-8307	API コマンド「licenseinfo」で TPS とスループット限界を報告するように改善しました。
PD-8305	API コマンド「aslactivate」のエラーメッセージを修正しました。
PD-8168	API を使ってハイアベイラビリティ（HA）モードを設定するときの問題を修正しました。
PD-8164	PowerShell の「cmdlets URL」の URL から、資格情報と LoadMaster ポートのパラメータを削除しました。
PD-8080	PowerShell API コマンド「Get-HAOption」から不要な出力を削除しました。
PD-8043	PowerShell API コマンドの結果として、ファイルを保存するときのエラーを改善しました。
PD-8031	LoadMaster HTTP ポートのパラメータを欠落したコマンドに追加しました。
PD-7909	PowerShell API コマンド「Set-GeoFQDN」のエラー処理を改善しました。
PD-8515	特定の PowerShell API コマンドで負荷分散パラメータに FQDN を使用するとエラーが発生する問題を修正しました。
PD-8233	PowerShell API を使用して新しいバーチャルサービスを作成するとき、persistence mode を [none]に設定することは可能です。
PD-8365	存在しないドメイン名が指定しているにも関わらず、RESTful API コマンド「show domain」でドメインの一覧を表示してしまう問題を修正しました。
PD-8363	HA 設定がないとき、API コマンド「getall」が詳細を返さないという問題を修正しました。
PD-8358	PowerShell API コマンド「Add/Remove Cache/Compression」の成功応答を追加しました。
PD-8346	LoadMaster がコネクションを閉じないようにするため、一部の PowerShell API コマンドの遅延を追加しました。
PD-8236	API コマンド「License」の誤植を修正しました。
PD-8009	API コマンド「listcluster」はステータスを戻します。
PD-7990	API コマンド「Set-SecAdminAccess」の応答を改善しました。
PD-7958	PowerShell API コマンド「New-NetworkRoute」のエラー処理を改善しました。
PD-7957	PowerShell API コマンド「Set-NetworkInterface」の問題を修正しました。
PD-7956	PowerShell API コマンド「setnetworking」の問題を修正しました。.
PD-7863	HTML ポスト リクエスト コンテンツの検査が有効なときに、RESTful API がディセーブルになった JSON Parser と XML Parser オプションを表示しないという問題を修正しました。
PD-7856	RESTful API で、特定のシナリオで NAT 機能が動作しない問題を修正しました。
PD-7742	WUI と API で DNS クエリの最大フィールド長の同じ値（最大 126 文字）にしました。
PD-7487	API コマンド「addlocaluser」と「usersetperms」のリターンメッセージを改善しました。
PD-7338	API コマンド「listclusters」は、ヘルスチェックポートの値を正しく返します。
PD-6817	Azure VLM 用の新しいバーチャルサービスを作成するとき、WUI と API で同一の動作をするようにしました。
PD-8038	API コマンド「showcluster」は、ステータス値を正しく返します。
PD-8290	ワーニング ログから JavaScript を実行するブラウザの問題を修正しました。

Copyright © 2002 – 2018 KEMP Technologies, Inc. All Rights Reserved.
Copyright © 2017 – 2018 FXC Inc. Rights for Japanese is reserved.

10.4 既知の問題

PD-10980	LoadMaster オペレーティング システム（LMOS）のセッション管理における重大な脆弱性（CVE-2018-0901）により、権限を持たない遠隔地の攻撃者がセキュリティ保護を通過し、システムの実行権限を得て「ls」、「ps」、「cat」といったコマンドが実行できる可能性があります。この実行により、証明書の秘密鍵などの機密データが露出する危険性があります。現在この脆弱性はより厳しいチャックにより改善されました。詳細な情報は、Mitigation For Remote Access Execution Vulnerability を参照してください。
PD-9892	SNORT ルールのアプリケーションが動作しません。
PD-10155	GEO の一部が機能しないために設定に問題が発生します。
PD-8771	SAML を使用すると、ログオフのときに「IdP Logoff URL」ではなく「IdP SSO URL」をユーザに提供してしまいます。
PD-8760	LoadMaster は、Web アプリケーション ファイアウォール（WAF）のルールセットが期限切れであるという誤ったメッセージを表示します。
PD-8730	In some cases, clients are unable to authenticate using ESP.
PD-8746	WAF ルールをライセンスされた LoadMaster で、ルールのダウンロード/インストールを行い、その後工場出荷状態にリセットした場合、WAF ルールをダウンロード/インストールすることができなくなります。
PD-8413	テンプレートからバーチャルサービスを作成すると、ワイルドカードのポートを指定できません。
PD-8766	“Everywhere” shows up twice in location selection.
PD-8725	IPv6 の送信元アドレスでは「Proximity」と「Location Based」のスケジューリングは機能しません。
PD-8014	リモート LoadMaster のクラスタは、バーチャルサービスの設定がないと応答しません。
PD-8357	API で新しいクラスタを追加するとき、エラー処理で軽微な問題があります。
PD-8196	API コマンド「enablewafremotelogging」を使用するとき、リモート URI が無効なフォーマットで設定されることがあります。
PD-8118	API を使用して GEO 更新インターフェイスを設定することはできません。
PD-7613	API コマンド「showiface」と「modiface」では、「Cluster Checks」と「Cluster Updates」オプションは表示されません。
PD-7156	一部の API コマンド「VSIndex」のパラメータに問題があります。
PD-8378	不正なデータを与えると API コマンド「istvs」は誤った処理をします。
PD-8716	API コマンド「showdomainlockedusers」の実行時に、ロックユーザの表示フォーマットが難読な状態になります。
PD-8561	API コマンド「createbond/unbond」の実行で、その結果が成功でも、応答しないことがあります。
PD-8649	/tmp が部分的にいっぱい（～17%）になったときに、API でのファームウェアパッチが適用されない問題があります。
PD-10160	CPU とネットワークのグラフをリセットする API コマンドが動作しません。

Copyright © 2002 – 2018 KEMP Technologies, Inc. All Rights Reserved.
Copyright © 2017 – 2018 FXC Inc. Rights for Japanese is reserved.

11 リリース 7.2.36.2

ファームウェアバージョン 7.2.36.2 に関する詳細は、以下のセクションを参照してください。これは 2016 年 12 月 14 日にリリースされました。

11.1 解決した問題

PD-8479	バーチャルサービス（VS）が誤って LoadMaster から削除される問題を解決しました。
PD-8480	Web アプリケーションファイアウォール（WAF）の CPU 使用率が高い問題を修正しました。

11.2 既知の問題

PD-10980	LoadMaster オペレーティング システム（LMOS）のセッション管理における重大な脆弱性（CVE-2018-0901）により、権限を持たない遠隔地の攻撃者がセキュリティ保護を通過し、システムの実行権限を得て「ls」、「ps」、「cat」といったコマンドが実行できる可能性があります。この実行により、証明書の秘密鍵などの機密データが露出する危険性があります。現在この脆弱性はより厳しいチャックにより改善されました。詳細な情報は、Mitigation For Remote Access Execution Vulnerability を参照してください。
PD-8725	IPv6 の送信元アドレスでは「Proximity」と「Location Based」のスケジューリングは機能しません。
PD-9950	LoadMaster VNF HA は、Ver 7.1.35n と Ver 7.1.36n で動作しません。Ver 7.2.37 以降のバージョンが必要です。
PD-9892	SNORT ルールのアプリケーションが動作しません。
PD-10155	GEO の一部が機能しないために設定に問題が発生します。
PD-10160	CPU とネットワークのグラフをリセットする API コマンドが動作しません。

Copyright © 2002 – 2018 KEMP Technologies, Inc. All Rights Reserved.
Copyright © 2017 – 2018 FXC Inc. Rights for Japanese is reserved.

12 リリース 7.2.36.1

ファームウェアバージョン 7.2.36.1 に関する詳細は、以下のセクションを参照してください。これは 2016 年 11 月 17 日にリリースされました。

12.1 新機能

7.2.36.1 で以下の機能を追加しました。

- 統合機能認定製品リスト（Unified Capabilities Approved Product List、UC APL）を更新
- 以下のバーチャルサービス アプリケーション用テンプレートを公開：
  - IBM Domino
  - RabbitMQ
  - Epic Medical Systems
  - Pearson PowerSchool
  - vSphere Platform Service Controllers (PSC)
  - Apache Tomcat
  - Apache HTTP
  - Horizon View 7.0
  - Microsoft IIS
- LoadMaster カーネルをアップデイト
- Dell サポートの追加
- セキュリティ アサーション マークアップ ランゲージ（SAML）- ベースの認証コンセプト証明（PoC）
- ライセンスタイプの選択
- PowerShell アプリケーション プログラム インターフェイス（API）モジュールのデジタル署名
- PowerShell API モジュールに証明書ベースの認証が追加

12.2 機能拡張

- エッジセキュリティ パック（ESP）ログインのフォームベースで特殊文字ハンドリングを強化しました。
- アクティブなファイル転送プロトコル（FTP）トラフィックは、予想される IP アドレスに NAT（Network Address Translated）します。
- OpenSSL のバージョンを 1.0.2j にアップデイトしました。
- CVE-2015-5722 と CVE-2015-5986 の脆弱性を改善するために、LoadMaster の BIND バージョンを 9.10.4-P3 にアップデイトしました。
- Dell Broadwell ハードウェアをサポートしました。
- ライセンス処理を失敗した場合に実行するデバッグチェックの強化。

Copyright © 2002 – 2018 KEMP Technologies, Inc. All Rights Reserved.
Copyright © 2017 – 2018 FXC Inc. Rights for Japanese is reserved.

- 新しく作成されたバーチャルサービスのデフォルト設定は、「transparency」を無効、「Subnet Originating Requests」を有効になります。
- ハイアベイラビリティ（HA）バーチャル ID の重複を排除するための改善をしました。
- Amazon Web サービス（AWS）では、LoadMaster をデプロイしてから 3 日後にサポート サブスクリプションを有効にするための KEMP ID とパスワードの入力を促します。
- LDAP のヘルスチェックを追加しました。
- ヘッダ値をカスタムヘッダにコピーすることができます。
- ModSecurity のログ形式（JSON）をサポートしました。
- Web ユーザーインターフェイス（WUI）で DNS ヘルスチェックのチェックポートを設定できます。
- SSL 証明書、SSO 設定と関連する設定が、クラウドベースの HA ペアで同期できるようになりました。
- 過去のファームウェア バージョンを確認するための API コマンドを追加しました。
- API コマンド「showiface」は、インターフェイスを定義しないと、すべてのインターフェイスを表示します。
- PowerShell API モジュールにいくつかの診断コマンドを追加しました。

12.3 解決した問題

PD-7975	キーボード用に最新 USB ドライバをサポートしました。
PD-7807	特定のシナリオで LoadMaster がクラッシュする問題を修正しました。
PD-7770	GEO の近接 IP 抽出基準に関するいくつかの問題を修正しました。
PD-7376	LoadMaster が Sorry Server を使用している場合、「Subnet Originating Requests」が重要な要素になりました。
PD-7939	リアルサーバの誤った統計情報が表示する問題を修正しました。
PD-7845	API を使って複数の Web アプリケーション ファイアウォール（WAF）のルールをバーチャルサービスに割り当てることが可能になりました。
PD-8004	リアルサーバのアイコンの問題を修正しました。
PD-7946	Intel Skylake プロセッサ環境の Hyper-V で、リブートのループが発生する問題を修正しました。
PD-7937	GEO クラスタが制限に達すると通知を表示します。
PD-7915	ヒストリカル グラフの問題を修正しました。
PD-7787	クラウド HA の同期に関する問題を修正しました。
PD-7747	GEO のパートナー更新が失敗する原因となった問題を修正しました。
PD-7738	怪しいログメッセージの表示を排除しました。
PD-7729	LinOTP 2 要素認証 PIN の裁断問題を修正しました。
PD-7726	Detect Malicious Requests が有効になっているときにエクスポートしたテンプレートが機能しない問題を修正しました。
PD-7713	ヘルスチェックプローブが正常に機能しているのに、Azure HA ユニットのヘルスチェックステータスがチェックされていない問題を修正しました。

Copyright © 2002 – 2018 KEMP Technologies, Inc. All Rights Reserved.
Copyright © 2017 – 2018 FXC Inc. Rights for Japanese is reserved.

PD-7678	HA とセッション管理を使用しているときに、一部の LoadMaster ユーザを排除する問題を修正しました。
PD-7578	ワイルドカード UDP のバーチャルサービスで、リターントラフィックが期待通りの NAT 処理できない問題を修正しました。
PD-7757	マイクロソフト Edge と IE のブラウザで Cipher が選択されない問題を修正しました。
PD-7643	LoadMaster を 5 分間以上の間隔を置かずに 3 回リブートした後に LoadMaster がパッシブモードになる問題を修正しました。
PD-7617	ブート ログの内容を読みやすくしました。
PD-7752	RADIUS の OTP のチャレンジを改善しました。
PD-7696	API で Checked Port の設定ができます。
PD-7556	PowerShell API で、パーシステンス モードを none に設定することができます。
PD-7753	SecAPIAccess の Enable と Disable で、ポート指定の必要がある問題を修正しました。
PD-7658	PowerShell API で netsonsole パラメータを設定できない問題を修正しました。
PD-7656	PowerShell API コマンド「Set-SecRemoteAccess」を使用して、特定の値を設定解除できない問題を修正しました。
PD-7650	WAF コマーシャル ルール更新とインストールのための API コマンドを修正しました。
PD-7648	RESTful API で、カスタムルール データ ファイルをアップロードできない問題を修正しました。
PD-7608	API コマンドで、SNI のホスト名フラグの要求を有効にしました。
PD-7540	RESTful API コマンドのスペル ミスを修正しました。
PD-7522	GEO のマップ処理に関連する API コマンドのエラー処理を改善しました。
PD-7516	API で、GEO のローケーション情報を「everywhere」に設定できるようになりました。
PD-7565	チェッカーアドレスは、API を使用して設定できます。

12.4 既知の問題

PD-10980	LoadMaster オペレーティング システム（LMOS）のセッション管理における重大な脆弱性（CVE-2018-0901）により、権限を持たない遠隔地の攻撃者がセキュリティ保護を通過し、システムの実行権限を得て「ls」、「ps」、「cat」といったコマンドが実行できる可能性があります。この実行により、証明書の秘密鍵などの機密データが露出する危険性があります。現在この脆弱性はより厳しいチャックにより改善されました。詳細な情報は、Mitigation For Remote Access Execution Vulnerability を参照してください。
PD-8725	IPv6 の送信元アドレスでは「Proximity」と「Location Based」のスケジューリングは機能しません。
PD-9892	SNORT ルールのアプリケーションが動作しません。
PD-9950	LoadMaster VNF HA は、Ver 7.1.35n と Ver 7.1.36n で動作しません。Ver 7.2.37 以降のバージョンが必要です。
PD-10155	GEO の一部が機能しないために設定に問題が発生します。
PD-8371	ESP SubVS 接続ログにリアル サーバの表示がありません。
PD-8341	ボンディング インターフェイスのとき、MTU サイズを 1500 にリセットします。
PD-8298	IPv6 ルーティングに関して一部で問題があります。

Copyright © 2002 – 2018 KEMP Technologies, Inc. All Rights Reserved.
Copyright © 2017 – 2018 FXC Inc. Rights for Japanese is reserved.

リリース 7.2.36.1

PD-8285	LoadMaster のワーニング ログに表れる一部の JavaScript はブラウザによって実行されたものです。
PD-8205	同じ接続で複数リクエストにマッチするコンテンツルールは、一部に問題があります。
PD-8200	HA ペアの個々の IP アドレスに対して管理者用証明書を管理することができません。
PD-8297	API が無効な状態では、vRealize Operations Manager のアダプター セットアップは失敗します。
PD-8296	vRealize Operations Manager を使用する場合は、管理ポートが 443 以外では正常に動作しません。
PD-8399	L7 接続のドレイン時間（秒）で API コマンドのコードエラーを修正しました。WUI のヘルプ テキストでは、L7 接続のドレイン時間を 0 に設定できるとなっていますが、これは誤りです。正しい値は 60～86400 の範囲です。
PD-8192	API コマンド「Get-NetworkDNSConfiguration」に不要な出力があります。
PD-9089	いくつかのケースで、LoadMaster ファームウェア バージョンを 7.1.35 から新しいファームウェアにアップグレードに後、「historical graphs」（履歴グラフ）が表示されないことがあります。この問題を解決するには、統計カウンタをリセットします（System Configuration > Extended Log Files > System Log Files > Debug Options > Reset Statistics）。
PD-10160	CPU とネットワークのグラフをリセットする API コマンドが動作しません。

Copyright © 2002 – 2018 KEMP Technologies, Inc. All Rights Reserved.
Copyright © 2017 – 2018 FXC Inc. Rights for Japanese is reserved.

13 リリース 7.1.35.6（ロングターム サポート）

ファームウェアバージョン 7.1.35.6 に関する詳細は、以下のセクションを参照してください。

13.1 機能拡張

LoadMaster オペレーティング システム（LMOS）のセッション管理における重大な脆弱性（CVE-2018-0901）により、権限を持たない遠隔地の攻撃者がセキュリティ保護を通過し、システムの実行権限を得てコマンドが実行できる可能性があります。この実行により、証明書の秘密鍵などの機密データが露出する危険性があります。この脆弱性は、7.1.35.5 で対処されました。ここで記述する機能拡張の範囲は、実行可能コマンドをクッキーに注入するという攻撃の脆弱性を対象としています。

13.2 既知の問題

PD-10241	API を使って新しいバージョンの LoadMaster のパッチをアップグレイドできません。
PD-10138	「text/XML」と「application/JSON」のコンテンツタイプのみが[Inspect HTML POST Request Content] 機能をサポートします。
PD-10192	Azure クラッシク、Azure リソースマネージャで IPsec トンネリングを設定できません。
PD-10187	バーチャルサービスを削除すると、WAF の統計情報をリセットできません。
PD-10184	WAF の使用中に、一部のユーザが一部のバーチャルサービスにアクセスできない問題があります。
PD-10183	バーチャルサービスで[Process Responses]オプションが有効なときに、WAF はレスポンスをブロックしません。
PD-10182	バーチャルサービスで、ルールを定義しない WAF を有効にすると、特定の Web 機能でエラーが発生します。
PD-10181	HTTP/1.1 の 500「内部サーバーエラー」で、位置情報を含んでいる HTTP の応答では、クライアントへの応答を破棄し、クライアントには何も表示されません。
PD-10180	特定の WAF を使用状態で、CPU 使用率が高くなります。
PD-9976	SNORT ルールの処理中に初期化からの L7 を防御する問題が起こります。
PD-9953	Azure バーチャル LoadMaster のログにイニシャルの Boot パスワードが記録されるという問題があります。
PD-9777	LoadMaster のタイムゾーンを GMT-X に設定する際に、ライセンス API を使用したときに問題が発生します。
PD-9950	LoadMaster VNF HA は、Ver 7.1.35n と Ver 7.1.36n で動作しません。Ver 7.2.37 以降のバージョンが必要です。
PD-10155	GEO の一部が機能しないために設定に問題が発生します。
PD-9901	マルチテナント LoadMaster LTS VNF 7.1.35.4 で HA が動作しません。
PD-9770	ESP のログで、いくつかの情報が記録されないことがあります。
PD-9743	デフォルト ルールを割当てたテンプレートファイルのインポートに問題があります。
PD-9666	Apache 2.4 ではアンダースコアのあるヘッダを受け付けません。
PD-9660	LoadMaster は、一部のシナリオで RADIUS パスワードを変更します。

Copyright © 2002 – 2018 KEMP Technologies, Inc. All Rights Reserved.
Copyright © 2017 – 2018 FXC Inc. Rights for Japanese is reserved.

リリース 7.1.35.4

PD-9633	WUI を接続するポートで「check host」を設定できません（API か CLI で動作します）。
PD-9517	パスワードが期限切れで、許可されたグループが使用されている時、一部のユーザを認証できません。
PD-9508	ESP は、ルート証明書の使用時のみ SAML assertions を検証します。
PD-9504	マルチテナントの LoadMaster で HA フェールオーバーの問題を抱えるユーザがいます。
PD-10159	CPU とネットワーク利用率のグラフはファームウェアのアップグレイドで表示しなくなります。また、グラフデータのリセットができません。
PD-9470	LDAP のリアルサーバ ヘルスチェックが最適に動作しません。
PD-9453	一部の Azure ユーザでライセンスの問題が発生しています。原因はデフォルト ゲートウェイとの通信上の問題によるものです。
PD-9359	一部のユーザで ESP を使用した認証できないことがあります。
PD-9159	WAF が有効な時に、特定のシナリオでバックエンドにトラフィックが無いことがあります。
PD-8697	一部のユーザで、ハードウェア セキュリティ モジュール（HSM）を使用したときにパーティション検出の問題が発生しています。
PD-9768	ログオンのコード変換オプションに関連した SSO デバッグログでセキュリティの問題があります。
PD-9657	名称に - または + を使用した Cipher セットでいくつかの問題が発生しています。
PD-9643	LoadMaster Azure でバーチャル サービスの IP アドレスを変更できません。
PD-9604	一部のカスタムテンプレートをインポートで問題が発生します。
PD-9783	スレーブユニット上の「HA status tool tip」に不正な IP アドレスを表示します。
PD-9758	SAML か KCD の認証を使用している場合、一部のユーザで SharePoint から Office ファイルを編集またはアクセスできないことがあります。
PD-7157	WAF と KCD を使用すると、SharePoint のすべてのファイル添付で問題が発生します。
PD-7265	HA ペアでシェアード IP アドレスを変更すると、新しいシェアード IP アドレスにリダイレクトしません。
PD-8746	WAF ルールをライセンスされた LoadMaster で、ルールのダウンロード/インストールを行い、その後工場出荷状態にリセットした場合、WAF ルールをダウンロード/インストールすることができなくなります。
PD-8413	テンプレートからバーチャルサービスを作成すると、ワイルドカードのポートを指定できません。
PD-9129	バックアップを行う API コマンドに、PowerShell ラッパー接続を切断する問題があります。
PD-9779	WUI と RESTful API の「Client Authentication Mode」のパラメータが一致していません。
PD-9596	RESTful API コマンド「showiface」が、設定の無いインターフェイスの出力に間違ったインターフェイス値を表示します。
PD-9572	RESTful API コマンド「Location Latitude」と「Location Longitude」で一部の値に表示の食い違いがあります。
PD-9570	API コマンド「removecountry」の応答エラーメッセージに誤植があります。
PD-9553	セキュアな NTP モードを無効にする API コマンドはありません。
PD-9539	特定のシナリオで、PowerShell コマンド「New-GeoCluster」に問題があります。
PD-9525	API コマンド「failtime」のパラメータは、分単位の設定にも関わらず秒単位で値を返します。
PD-9523	特定のシナリオでは、RESTful API は存在しない GEO の FQDN を取得した時に成功メッセージを返します。

Copyright © 2002 – 2018 KEMP Technologies, Inc. All Rights Reserved.
Copyright © 2017 – 2018 FXC Inc. Rights for Japanese is reserved.

リリース 7.1.35.4

PD-9476	インストールされたカスタムルールのデータファイルを get/list するための RESTful API コマンドはありません。
PD-7156	一部の API コマンド「VSIndex」のパラメータに問題があります。
PD-9575	一部の API コマンド「aclcontrol」に問題があります。
PD-10160	CPU とネットワークのグラフをリセットする API コマンドが動作しません。

Copyright © 2002 – 2018 KEMP Technologies, Inc. All Rights Reserved.
Copyright © 2017 – 2018 FXC Inc. Rights for Japanese is reserved.

14 リリース 7.1.35.5

ファームウェアバージョン 7.1.35.5 に関する詳細は、以下のセクションを参照してください。これは 2018 年 3 月 22 日にリリースされました。

14.1 新機能

7.1.35.5 で以下の機能を追加しました。

- LoadMaster の新ハードウェアアプライアンス LM-X シリーズをサポートしました。

14.2 機能拡張

- Azure のマーケットプレイスで LTS 版のデプロイができるようになりました。
- LoadMaster コンソールと WUI のコピーライトの注意書きを修正しました。

14.3 解決した問題

PD-11023	LoadMaster オペレーティング システム（LMOS）のセッション管理における重大な脆弱性（CVE-2018-0901）により、権限を持たない遠隔地の攻撃者がセキュリティ保護を通過し、システムの実行権限を得て「ls」、「ps」、「cat」といったコマンドが実行できる可能性があります。この実行により、証明書の秘密鍵などの機密データが露出する危険性があります。現在この脆弱性はより厳しいチャックにより改善されました。詳細な情報は、Mitigation For Remote Access Execution Vulnerability を参照してください。

14.4 既知の問題

PD-10241	API を使って新しいバージョンの LoadMaster のパッチをアップグレイドできません。
PD-10138	「text/XML」と「application/JSON」のコンテンツタイプのみが[Inspect HTML POST Request Content] 機能をサポートします。
PD-10192	Azure クラッシク、Azure リソースマネージャで IPsec トンネリングを設定できません。
PD-10187	バーチャルサービスを削除すると、WAF の統計情報をリセットできません。
PD-10184	WAF の使用中に、一部のユーザが一部のバーチャルサービスにアクセスできない問題があります。
PD-10183	バーチャルサービスで[Process Responses]オプションが有効なときに、WAF はレスポンスをブロックしません。
PD-10182	バーチャルサービスで、ルールを定義しない WAF を有効にすると、特定の Web 機能でエラーが発生します。
PD-10181	HTTP/1.1 の 500「内部サーバーエラー」で、位置情報を含んでいる HTTP の応答では、クライアントへの応答を破棄し、クライアントには何も表示されません。
PD-10180	特定の WAF を使用状態で、CPU 使用率が高くなります。
PD-9976	SNORT ルールの処理中に初期化からの L7 を防御する問題が起こります。

Copyright © 2002 – 2018 KEMP Technologies, Inc. All Rights Reserved.
Copyright © 2017 – 2018 FXC Inc. Rights for Japanese is reserved.

リリース 7.1.35.5

PD-9953	Azure バーチャル LoadMaster のログにイニシャルの Boot パスワードが記録されるという問題があります。
PD-9777	LoadMaster のタイムゾーンを GMT-X に設定する際に、ライセンス API を使用したときに問題が発生します。
PD-9950	LoadMaster VNF HA は、Ver 7.1.35n と Ver 7.1.36n で動作しません。Ver 7.2.37 以降のバージョンが必要です。
PD-10155	GEO の一部が機能しないために設定に問題が発生します。
PD-9901	マルチテナント LoadMaster LTS VNF 7.1.35.4 で HA が動作しません。
PD-9770	ESP のログで、いくつかの情報が記録されないことがあります。
PD-9743	デフォルト ルールを割当てたテンプレートファイルのインポートに問題があります。
PD-9666	Apache 2.4 ではアンダースコアのあるヘッダを受け付けません。
PD-9660	LoadMaster は、一部のシナリオで RADIUS パスワードを変更します。
PD-9633	WUI を接続するポートで「check host」を設定できません（API か CLI で動作します）。
PD-9517	パスワードが期限切れで、許可されたグループが使用されている時、一部のユーザを認証できません。
PD-9508	ESP は、ルート証明書の使用時のみ SAML assertions を検証します。
PD-9504	マルチテナントの LoadMaster で HA フェールオーバーの問題を抱えるユーザがいます。
PD-10159	CPU とネットワーク利用率のグラフはファームウェアのアップグレイドで表示しなくなります。また、グラフデータのリセットができません。
PD-9470	LDAP のリアルサーバ ヘルスチェックが最適に動作しません。
PD-9453	一部の Azure ユーザでライセンスの問題が発生しています。原因はデフォルト ゲートウェイとの通信上の問題によるものです。
PD-9359	一部のユーザで ESP を使用した認証できないことがあります。
PD-9159	WAF が有効な時に、特定のシナリオでバックエンドにトラフィックが無いことがあります。
PD-8697	一部のユーザで、ハードウェア セキュリティ モジュール（HSM）を使用したときにパーティション検出の問題が発生しています。
PD-9768	ログオンのコード変換オプションに関連した SSO デバッグログでセキュリティの問題があります。
PD-9657	名称に - または + を使用した Cipher セットでいくつかの問題が発生しています。
PD-9643	LoadMaster Azure でバーチャル サービスの IP アドレスを変更できません。
PD-9604	一部のカスタムテンプレートをインポートで問題が発生します。
PD-9783	スレーブユニット上の「HA status tool tip」に不正な IP アドレスを表示します。
PD-9758	SAML か KCD の認証を使用している場合、一部のユーザで SharePoint から Office ファイルを編集またはアクセスできないことがあります。
PD-7157	WAF と KCD を使用すると、SharePoint のすべてのファイル添付で問題が発生します。
PD-7265	HA ペアでシェアード IP アドレスを変更すると、新しいシェアード IP アドレスにリダイレクトしません。
PD-8746	WAF ルールをライセンスされた LoadMaster で、ルールのダウンロード/インストールを行い、その後工場出荷状態にリセットした場合、WAF ルールをダウンロード/インストールすることができなくなります。
PD-8413	テンプレートからバーチャルサービスを作成すると、ワイルドカードのポートを指定できません。
PD-9129	バックアップを行う API コマンドに、PowerShell ラッパー接続を切断する問題があります。

Copyright © 2002 – 2018 KEMP Technologies, Inc. All Rights Reserved.
Copyright © 2017 – 2018 FXC Inc. Rights for Japanese is reserved.

リリース 7.1.35.5

PD-9779	WUI と RESTful API の「Client Authentication Mode」のパラメータが一致していません。
PD-9596	RESTful API コマンド「showiface」が、設定の無いインターフェイスの出力に間違ったインターフェイス値を表示します。
PD-9572	RESTful API コマンド「Location Latitude」と「Location Longitude」で一部の値に表示の食い違いがあります。
PD-9570	API コマンド「removecountry」の応答エラーメッセージに誤植があります。
PD-9553	セキュアな NTP モードを無効にする API コマンドはありません。
PD-9539	特定のシナリオで、PowerShell コマンド「New-GeoCluster」に問題があります。
PD-9525	API コマンド「failtime」のパラメータは、分単位の設定にも関わらず秒単位で値を返します。
PD-9523	特定のシナリオでは、RESTful API は存在しない GEO の FQDN を取得した時に成功メッセージを返します。
PD-9476	インストールされたカスタムルールのデータファイルを get/list するための RESTful API コマンドはありません。
PD-7156	一部の API コマンド「VSIndex」のパラメータに問題があります。
PD-9575	一部の API コマンド「aclcontrol」に問題があります。
PD-10160	CPU とネットワークのグラフをリセットする API コマンドが動作しません。

Copyright © 2002 – 2018 KEMP Technologies, Inc. All Rights Reserved.
Copyright © 2017 – 2018 FXC Inc. Rights for Japanese is reserved.

15 リリース 7.1.35.4

ファームウェアバージョン 7.1.35.4 に関する詳細は、以下のセクションを参照してください。これは 2017 年 8 月 2 日にリリースされました。

15.1 機能拡張

- OpenSSH のバージョンを 7.5p1 にアップデイトしました。
- 接続数をより大きな数字でサポートするように改善されました。

15.2 解決した問題

PD-9678	Web アプリケーション ファイアウォール（WAF）が有効なとき、バックエンド トラフィックが発生しないという問題を修正しました。
PD-9650	1MB を超えるファイルのアップロードを、WAF がブロックする問題を修正しました。
PD-9631	VLAN インターフェイス上で、シェアード IP の IP アドレスの変更が可能になりました。
PD-9438	「Drop Connections on RS failure」の設定でメモリの使用率が高くなる問題を修正しました。
PD-9353	UDP syslog を設定したバーチャル サービスのパーシステンス モードが変更で、LoadMaster が再起動する問題を修正しました。
PD-9352	ヘルスチェックの失敗が同時に発生したときの問題を修正しました。
PD-9333	廃止したオプションの SSO マネージャ ログを削除しました。
PD-9769	ログオンのコード変換オプションに関する SSO のデバッグ ログのセキュリティ問題を修正しました。
PD-9637	CVE-2017-8890 の脆弱性の対策を施しました。
PD-9756	HA ペアを設定しているときの証明書認証に関する問題を修正しました。
PD-9569	特殊なスペース文字とローカルエリア内の LoadMaster のユーザ認証に関する問題を修正しました。
PD-9806	一部の API コマンド「aclcontrol」の問題を修正しました。
PD-9790	「CheckPort」と「CheckPattern」の API パラメータで設定の解除ができます。
PD-9773	API でディセーブルに設定したバーチャルサービスのステータスが異なっている問題を修正しました。

15.3 既知の問題

PD-11023	LoadMaster オペレーティング システム（LMOS）のセッション管理における重大な脆弱性（CVE-2018-0901）により、権限を持たない遠隔地の攻撃者がセキュリティ保護を通過し、システムの実行権限を得て「ls」、「ps」、「cat」といったコマンドが実行できる可能性があります。この実行により、証明書の秘密鍵などの機密データが露出する危険性があります。詳細な情報は、Mitigation For Remote Access Execution Vulnerability を参照してください。
PD-8725	IPv6 の送信元アドレスでは「Proximity」と「Location Based」のスケジューリングは機能しません。

Copyright © 2002 – 2018 KEMP Technologies, Inc. All Rights Reserved.
Copyright © 2017 – 2018 FXC Inc. Rights for Japanese is reserved.

リリース 7.1.35.4

PD-9950	LoadMaster VNF HA は、Ver 7.1.35n と Ver 7.1.36n で動作しません。Ver 7.2.37 以降のバージョンが必要です。
PD-10159	CPU とネットワーク利用率のグラフはファームウェアのアップグレイドで表示しなくなります。また、グラフデータのリセットができません。
PD-9770	ESP のログで、いくつかの情報が記録されないことがあります。
PD-9743	デフォルト ルールを割当てたテンプレートファイルのインポートに問題があります。
PD-9666	Apache 2.4 ではアンダースコアのあるヘッダを受け付けません。
PD-9660	LoadMaster は、一部のシナリオで RADIUS パスワードを変更します。
PD-9633	WUI を接続するポートで「check host」を設定できません（API か CLI で動作します）。
PD-9517	パスワードが期限切れで、許可されたグループが使用されている時、一部のユーザを認証できません。
PD-9508	ESP は、ルート証明書の使用時のみ SAML assertions を検証します。
PD-9504	マルチテナントの LoadMaster で HA フェールオーバーの問題を抱えるユーザがいます。
PD-9489	ファームウェアのアップグレード後に CPU とネットワークの使用状況がグラフ表示されません。
PD-9470	LDAP のリアルサーバ ヘルスチェックが最適に動作しません。
PD-9453	一部の Azure ユーザでライセンスの問題が発生しています。原因はデフォルト ゲートウェイとの通信上の問題によるものです。
PD-9359	一部のユーザで ESP を使用した認証できないことがあります。
PD-9159	WAF が有効な時に、特定のシナリオでバックエンドにトラフィックが無いことがあります。
PD-8697	一部のユーザで、ハードウェア セキュリティ モジュール（HSM）を使用したときにパーティション検出の問題が発生しています。
PD-9768	ログオンのコード変換オプションに関連した SSO デバッグログでセキュリティの問題があります。
PD-9657	名称に - または + を使用した Cipher セットでいくつかの問題が発生しています。
PD-9643	LoadMaster Azure でバーチャル サービスの IP アドレスを変更できません。
PD-9604	一部のカスタムテンプレートをインポートで問題が発生します。
PD-9783	スレーブユニット上の「HA status tool tip」に不正な IP アドレスを表示します。
PD-9758	SAML か KCD の認証を使用している場合、一部のユーザで SharePoint から Office ファイルを編集またはアクセスできないことがあります。
PD-7157	WAF と KCD を使用すると、SharePoint のすべてのファイル添付で問題が発生します。
PD-7265	HA ペアでシェアード IP アドレスを変更すると、新しいシェアード IP アドレスにリダイレクトしません。
PD-8746	WAF ルールをライセンスされた LoadMaster で、ルールのダウンロード/インストールを行い、その後工場出荷状態にリセットした場合、WAF ルールをダウンロード/インストールすることができなくなります。
PD-8413	テンプレートからバーチャルサービスを作成すると、ワイルドカードのポートを指定できません。
PD-9129	バックアップを行う API コマンドに、PowerShell ラッパー接続を切断する問題があります。
PD-9779	WUI と RESTful API の「Client Authentication Mode」のパラメータが一致していません。WUI と RESTful API の「Client Authentication Mode」のパラメータが一致していません。
PD-9596	RESTful API コマンド「showiface」が、設定の無いインターフェイスの出力に間違ったインターフェイス値を表示します。

Copyright © 2002 – 2018 KEMP Technologies, Inc. All Rights Reserved.
Copyright © 2017 – 2018 FXC Inc. Rights for Japanese is reserved.

リリース 7.1.35.4

PD-9572	RESTful API コマンド「Location Latitude」と「Location Longitude」で一部の値に表示の食い違いがあります。
PD-9570	API コマンド「removecountry」の応答エラーメッセージに誤植があります。
PD-9553	セキュアな NTP モードを無効にする API コマンドはありません。
PD-9539	特定のシナリオで、PowerShell コマンド「New-GeoCluster」に問題があります。
PD-9525	API コマンド「failtime」のパラメータは、分単位の設定にも関わらず秒単位で値を返します。
PD-9523	特定のシナリオでは、RESTful API は存在しない GEO の FQDN を取得した時に成功メッセージを返します。
PD-9476	インストールされたカスタムルールのデータファイルを get/list するための RESTful API コマンドはありません。
PD-7156	一部の API コマンド「VSIndex」のパラメータに問題があります。
PD-9575	一部の API コマンド「aclcontrol」に問題があります。
PD-10160	CPU とネットワークのグラフをリセットする API コマンドが動作しません。

Copyright © 2002 – 2018 KEMP Technologies, Inc. All Rights Reserved.
Copyright © 2017 – 2018 FXC Inc. Rights for Japanese is reserved.

16 リリース 7.1.35.3

ファームウェアバージョン 7.1.35.3 に関する詳細は、以下のセクションを参照してください。これは 2017 年 4 月 5 日にリリースされました。

16.1 機能拡張

- OpenSSH のバージョンを 7.4p1 にアップデイトしました。
- 以下の脆弱性に対応するために OpenSSL のバージョンを 1.0.2k にアップデイトしました：
  - CVE-2017-3731
  - CVE-2017-3730
  - CVE-2017-3732
  - CVE-2016-7055
- 以下の脆弱性に対応するために、LoadMaster の BIND バージョンを 9.10.4-P5 にアップデイトしました。
  - CVE-2016-9131
  - CVE-2016-9147
  - CVE-2016-9444
  - CVE-2016-9778
- LoadMaster コンソールと Web ユーザ インターフェース（WUI）の著作権表示を更新しました。
- OWASP CRS 3.0 ルールをサポートしました。

16.2 解決した問題

PD-9042	IPv6 の X-Forwarded-For ヘッダから括弧を削除しました。
PD-8643	ローカルポートの消耗で接続レベルが増加させるようにしました。
PD-8982	バックアップで netstat を含めないオプションを追加しました。
PD-9075	一部のセッション管理の問題を修正しました。
PD-8996	誤って SSL オープン/オープン接続の制限に達してしまう問題を修正しました。
PD-8777	一定のシナリオで、Edge Security Pack（ESP）を使ってクライアントを認証できない問題を修正しました。
PD-8717	ESP の Blocked_users ファイルに関連すう問題を修正しました。
PD-8569	ログファイルを表示するときに不要なエラーメッセージを表示しなくなりました。ログ ファイルの表示で表れる不要なエラーメッセージを排除しました。
PD-9120	バーチャルサービスのステータスは、API コマンドでリストするようになりました。バーチャルサービスのステータスは、統計アプリケーションプログラム インターフェイス（API）でリストできます。

Copyright © 2002 – 2018 KEMP Technologies, Inc. All Rights Reserved.
Copyright © 2017 – 2018 FXC Inc. Rights for Japanese is reserved.

16.3 既知の問題

PD-11023	LoadMaster オペレーティング システム（LMOS）のセッション管理における重大な脆弱性（CVE-2018-0901）により、権限を持たない遠隔地の攻撃者がセキュリティ保護を通過し、システムの実行権限を得て「ls」、「ps」、「cat」といったコマンドが実行できる可能性があります。この実行により、証明書の秘密鍵などの機密データが露出する危険性があります。詳細な情報は、Mitigation For Remote Access Execution Vulnerability を参照してください。
PD-8725	IPv6 の送信元アドレスでは「Proximity」と「Location Based」のスケジューリングは機能しません。
PD-9950	LoadMaster VNF HA は、Ver 7.1.35n と Ver 7.1.36n で動作しません。Ver 7.2.37 以降のバージョンが必要です。
PD-10159	CPU とネットワーク利用率のグラフはファームウェアのアップグレイドで表示しなくなります。また、グラフデータのリセットができません。
PD-8009	API コマンド「listcluster」はステータスを戻しません。
PD-8298	IPv6 ルーティングに関して一部で問題があります。
PD-8097	Firefox と LoadMaster の組合せで WebSocket へアクセスしたときに一部で問題があります。
PD-8005	PowerShell API で、Microsoft Service Management Automation（SMA）のエラー原因となるいくつかの問題があります。
PD-8341	ボンディング インターフェイスのとき、MTU サイズを 1500 にリセットします。
PD-8305	API コマンド「aslactivate」で、アクティベーションが失敗ても常に成功メッセージを返します。
PD-8192	API コマンド「Get-NetworkDNSConfiguration」は、LoadMaster が HA モードでなくても、HA パラメータを返します。
PD-7778	一部の状況で、接続数が少ない状態にもかかわらず、SSL オープン/オープン接続の制限に達してしまいます。
PD-7559	API を使用すると、アクセスコントロール リスト（ACL）のブロックとホワイトリストのエントリにコメントを追加できません。
PD-8196	API を使用して WAF ログを有効にすると、リモート URI の検証は行いません。
PD-8174	名前の前にスラッシュ（/）が付いたクラスタは WUI では表示しません。
PD-8107	API を使用して強制的な NTP 更新を行うことはできません。
PD-8038	いくつかのシナリオでは、API はクラスタのステータスを正しい値で戻しません。
PD-8014	リモート LoadMaster のクラスタは、バーチャルサービスの設定がないと応答しません。
PD-8225	LoadMaster のライセンス処理で、不正な資格情報が使われると、正しくないエラーメッセージを表示します。
PD-8205	コンテンツルールの使用で、LoadMaster はポートマッチでは、リアルサーバの選択しません。
PD-7487	ローカルユーザーの名前を bal で追加したとき、正しく応答するが、レスポンス stat は無効になります。これは 200 で応答するのでなく、400/422 または異常を示す stat で応答する必要があります。
PD-10160	CPU とネットワークのグラフをリセットする API コマンドが動作しません。

Copyright © 2002 – 2018 KEMP Technologies, Inc. All Rights Reserved.
Copyright © 2017 – 2018 FXC Inc. Rights for Japanese is reserved.

17 リリース 7.1.35.2

ファームウェアバージョン 7.1.35.2 に関する詳細は、以下のセクションを参照してください。これは 2016 年 11 月 9 日にリリースされました。

17.1 解決した問題

PD-8290	ワーニング ログから JavaScript を実行するブラウザの問題を修正しました。
PD-8240	Azure 環境のマルチアームの LoadMasters での IP 割り当てに関する問題を修正しました。
PD-8193	統計情報の表示に関する問題を修正しました。
PD-8189	権限のない API コマンドを実行できてしまう問題を修正しました。
PD-8188	バーチャルサービスで WAF ルールが設定されていないときにエラーを表示する問題を解決しました。Web アプリケーション ファイアウォール（WAF）のルール割り当てがないと、バーチャルサービスにエラーが表示される問題を修正しました。
PD-8187	BIND をバージョン 9.10.4-P3 に更新しました。

17.2 7.1.35.2 –既知の問題

PD-11023	LoadMaster オペレーティング システム（LMOS）のセッション管理における重大な脆弱性（CVE-2018-0901）により、権限を持たない遠隔地の攻撃者がセキュリティ保護を通過し、システムの実行権限を得て「ls」、「ps」、「cat」といったコマンドが実行できる可能性があります。この実行により、証明書の秘密鍵などの機密データが露出する危険性があります。詳細な情報は、Mitigation For Remote Access Execution Vulnerability を参照してください。
PD-8725	IPv6 の送信元アドレスでは「Proximity」と「Location Based」のスケジューリングは機能しません。

Copyright © 2002 – 2018 KEMP Technologies, Inc. All Rights Reserved.
Copyright © 2017 – 2018 FXC Inc. Rights for Japanese is reserved.

18 リリース 7.1.35

ファームウェアバージョン 7.1.35 に関する詳細は、以下のセクションを参照してください。これは 2016 年 8 月 2 日にリリースされました。

LoadMaster for Microsoft Azure のファームウェアバージョンを 7.1.35 にアップグレードする場合、先に Azure のアドオンパックをアップグレードする必要があります。

18.1 新機能

The following features were added to the 7.1.35 release:

- 複数のログオフ文字列の指定が可能
- 完全修飾ドメイン名（FQDN）または IP アドレスでの実サーバの参照が可能
- LoadMaster において、IPv6 トラフィックのネットワークアドレス変換（NAT）が可能
- バーチャルサービスのアプリケーション設定に関する以下のテンプレートを公開
  - VMware vRealize Automation
  - Microsoft Dynamics AX
  - JBoss アプリケーションサーバー
  - リモートデスクトップサービス
  - AirWatch
  - Splunk
  - Syncplicity
- Microsoft Exchange、SharePoint、IIS アプリケーションの設定テンプレートを更新
- GEO によるブラックリストのサポート
- LoadMaster のオペレーティングシステム（OS）に Linux/Unix の標準ユーティリティの du を追加
- 高可用性（HA）向け Azure リソースマネージャー（ARM）の設定テンプレートを提供
- クローズドネットワークのライセンス設定
- パブリッククラウド向けの新しい WAF 製品
- IPv6 ping のサポートを強化
- GEO における FQDN ごとの設定
- クラスタごとにグループ化できるように、GEO のヘルスチェックを強化
- アプリケーションプログラムインターフェイス（API）から TCP ダンプの実行が可能

18.2 機能拡張

- クライアント証明書のコモンネーム（CN）の処理を改善しました。

Copyright © 2002 – 2018 KEMP Technologies, Inc. All Rights Reserved.
Copyright © 2017 – 2018 FXC Inc. Rights for Japanese is reserved.

- SecRequestBodyNoFilesLimit と SecRequestBodyInMemoryLimit のデフォルト値を 1048576 に変更しました。
- 複数のバーチャルサービス証明書に対するサブジェクト代替名（SAN）の処理を改善しました。
- シングルサインオン（SSO）のトークン認証タイムアウトを設定できるようになりました。
- OpenSSH のバージョンを 7.2p2 に更新しました。
- 各ルールセットで WAF ルールを個別に有効化/無効化できるようになりました。
- ウェブユーザーインターフェイス（WUI）ホームページの"View License"リンクの下に、製品とサービスのサポートの種類と日付が表示されるようになりました。
- WAF ルールの自動ダウンロード動作を改善しました。
- 新しい LoadMaster では、セッションマネージャーがデフォルトで有効になっています。
- ModSecurity をバージョンを 2.9 に更新しました。
- API コマンドの機能を拡張し、インストールされているテンプレートがすべて表示されるようになりました。
- Microsoft の命名規則に従って、PowerShell API コマンドレットの名前を変更しました。後方互換性を保つため、以前の命名規則も残されています。

18.3 修正した問題

PD-6879	複数のドメイン環境における SAM アカウント名/ユーザープリンシパル名（UPN）の処理を改善しました。
PD-7668	LoadMasterWUI に、SDNstats の HTTPlib タイムアウトを設定するオプションを追加しました。
PD-7564	パーシステンス方式として「UDP Session Initiation Protocol」を選択できない問題を修正
PD-7476	一部の統計情報が消えてしまう場合がある問題を修正
PD-7467	統計履歴を表示できない問題を修正
PD-7464	代替ドメイン使用時、LDAP バインド後に LoadMaster が期待通りに動作を続けるように修正
PD-7331	カナダフランス語のブランク SSO 画像セットにおけるスペルミスを修正
PD-7222	WAF のイベントログが syslog にエクスポートされるように修正
PD-7153	SPLA バーチャル LoadMaster に対するライセンス設定動作の不具合を修正
PD-7141	ESP パスワードでグラーブ文字（`）をサポート
PD-6889	1 つのノードが停止しているときの HA モード設定動作を強化

Copyright © 2002 – 2018 KEMP Technologies, Inc. All Rights Reserved.
Copyright © 2017 – 2018 FXC Inc. Rights for Japanese is reserved.

リリース 7.1.35

PD-7617	ブートログの更新と画面下部へのスクロールを行わないようにし、ブートログの読みやすさを改善
PD-7609	一部のネットワークインターフェイスコントローラー（NIC）のハードウェアに対応できるように、dhcpcd タイムアウト時間を延長
PD-7173	事前認証対象外ディレクトリおよび Kerberos Constrained Delegation（KCD）に関する問題を修正
PD-7127	Kerberos のキャッシュが完全に消去されるように修正
PD-7099	Log Insight バーチャルサービスで SubVS を作成できない場合がある問題を修正
PD-7047	ネームサーバ（DNS）プロトコルのヘルスチェックに関する問題を修正
PD-7226	テンプレートでより長いコメントを使用できるようにし、古いテンプレートのサポートを強化
PD-7121	複数の証明書を含む OCSP 応答が正しく処理されるように修正
PD-7056	バーチャルサービスのブラックリスト IP アドレスに関する問題を修正
PD-7128	あらゆる状況において、showvs API コマンドの出力に persist パラメータが表示されるように修正
PD-7119	パケットフィルターを有効にしたときに経路 MTU 探索（PMTUD）が無視されないように修正
PD-7080	高可用性（HA）のフェールオーバー発生後に IPv6 のデフォルトルートが失われる問題を修正
PD-7481	「Selection Criteria」（選択基準）として「Location Based」を使用した際に、間違ったサイトが選択されてフェールオーバーされる問題を修正
PD-7512	LoadMasterWUI から偽のエラーメッセージが表示されないように修正
PD-7475	WAF ルールのダウンロード後にユーザに表示されるメッセージを修正
PD-7339	Firefox ブラウザで発生していた"Disable Password Form"オプションに関する問題を修正
PD-7134	表示されなかったメニュー項目が表示されるように、GEOLoadMaster の WUI を修正
PD-7076	NAT 機能が期待通りに機能しない場合がある問題を修正
PD-7011	ユーザが自分自身を削除またはブロックしようとしたときに表示される警告メッセージを改善
PD-6548	サービス追加後に CPU 使用率が高くなる問題を修正

Copyright © 2002 – 2018 KEMP Technologies, Inc. All Rights Reserved.
Copyright © 2017 – 2018 FXC Inc. Rights for Japanese is reserved.

リリース 7.1.35

PD-7021	WUI と API で Add Header to Request フィールドの長さが同じになるように修正
PD-7014	PowerShell API による追加ポートの削除に関する問題を修正
PD-7582	API を有効/無効にできるように、PowerShell コマンドの機能を拡張
PD-7217	Java 修飾インターフェイスコマンドの機能を拡張
PD-7637	PowerShell Initialize-Loadbalancer コマンドの問題を修正
PD-7023	Get-Rule API リストコマンドのエラー処理を改善
PD-7016	PowerShell API を用いてコンテンツルールの"Include query"フラグをセットできない問題を修正
PD-7184	showrs RESTful API コマンドが VSIndex の値を正しく返すように修正
PD-7642	New-TlsintermediateCertificate PowerShell API コマンドの誤字を修正
PD-7541	showiface API コマンドがクラスタリングで機能しない問題を修正
PD-7509	API から共有 SubVS パーシステンスを設定できるように修正
PD-7465	DisablePasswordForm API パラメータに関する問題を修正
PD-7379	RESTful API から Require SNI hostname フラグを設定できない問題を修正
PD-7267	ModSSODomain Java API コマンドが 3 番目のパラメータとして Map<String, String>を受け付けるように修正
PD-7192	nameserver API パラメータの誤字を修正
PD-7420	checkheader API パラメータが、ヘッダ/フィールドの組の数（最大 4 つ）を正しく返すように修正
PD-6923	SubVS を有効/無効にする API コマンドを修正
PD-6866	必要に応じて InputAuthMode API パラメータに値を追加できるように修正
PD-6865	バーチャルサービス変更コマンドに CheckHeaders パラメータを追加

Copyright © 2002 – 2018 KEMP Technologies, Inc. All Rights Reserved.
Copyright © 2017 – 2018 FXC Inc. Rights for Japanese is reserved.

18.4 既知の問題

PD-11023	LoadMaster オペレーティング システム（LMOS）のセッション管理における重大な脆弱性（CVE-2018-0901）により、権限を持たない遠隔地の攻撃者がセキュリティ保護を通過し、システムの実行権限を得て「ls」、「ps」、「cat」といったコマンドが実行できる可能性があります。この実行により、証明書の秘密鍵などの機密データが露出する危険性があります。詳細な情報は、Mitigation For Remote Access Execution Vulnerability を参照してください。
PD-8725	IPv6 の送信元アドレスでは「Proximity」と「Location Based」のスケジューリングは機能しません。
PD-9950	LoadMaster VNF HA は、Ver 7.1.35n と Ver 7.1.36n で動作しません。Ver 7.2.37 以降のバージョンが必要です。
PD-10159	CPU とネットワーク利用率のグラフはファームウェアのアップグレイドで表示しなくなります。また、グラフデータのリセットができません。
PD-7218	WAF-FLE サーバが LoadMaster のリモートログインリクエストを受け付けない。これは、LoadMaster の問題ではなく、WAF-FLE の問題です。
PD-7770	GEO の近接スケジューリングの"Selection Criteria"（選択基準）に問題が存在する
PD-7713	ヘルスチェック検査が正しく機能しているにもかかわらず、Azure HA ユニットのヘルスチェックステータスが未チェックと表示される問題が存在する
PD-7678	HA およびセッション管理使用時、一部の LoadMaster ユーザが頻繁にロックアウトされる問題が存在する。これは、ブロックされたログインのリストが HA マシンの間で共有されるためです。ユーザのブロックが解除されたときに、両方のマシンから「ブロックされたログイン」ファイルが削除されない。そのため、スレーブユニットからファイルが復活してしまう。回避策として、そのユーザのブロックを両方のマシンで同時に解除してください。
PD-7578	ワイルドカード UDP バーチャルサービスが、戻りトラフィックを期待どおりに NAT 変換しない
PD-7265	HA ペアでシェアード IP アドレスを変更すると、新しいシェアード IP アドレスにリダイレクトしません。
PD-7764	Microsoft Edge および Internet Explorer のブラウザで暗号を選択できない問題が存在する
PD-7487	ローカルユーザーの名前を bal で追加したとき、正しく応答するが、レスポンス stat は無効になります。これは 200 で応答するのでなく、400/422 または異常を示す stat で応答する必要があります。
PD-7752	RADIUS のチャレンジにおいて、でたらめな文字が送信される
PD-7157	WAF と KCD を使用すると、SharePoint のすべてのファイル添付で問題が発生します。
PD-7559	API を使用すると、アクセスコントロール リスト（ACL）のブロックとホワイトリストのエントリにコメントを追加できません。
PD-7556	バーチャルサービスを設定する PowerShell コマンドが、パーシステンスモードを「なし」に設定する機能をサポートしていない
PD-7658	関連する PowerShell API コマンドを使用して syslog の値を削除できない
PD-7657	Set-LmDebugConfiguration コマンドを使用して netconsole パラメータの値を削除できない
PD-7656	Set-SecRemoteAccessPowerShell API コマンドを使用して特定の値を削除できない
PD-7655	ボンディングインターフェイスの API コマンドがエラーを返す
PD-7650	setwafautoupdate API コマンドに関する問題が存在する

Copyright © 2002 – 2018 KEMP Technologies, Inc. All Rights Reserved.
Copyright © 2017 – 2018 FXC Inc. Rights for Japanese is reserved.

リリース 7.1.35

PD-7648	RESTful API を使用してカスタムルールデータファイルを LoadMaster にアップロードできない
PD-7643	API を使用して手動で再起動したとき、リブートカウンターがリセットされない。そのため、LoadMaster が 5 分以上稼働しないまま 3 回再起動された場合、LoadMaster がパッシブモードになる
PD-7608	PowerShell および Java API のバーチャルサービス変更コマンドを使用して"Require SNI hostname"フラグを有効にできない
PD-7693	API から CheckPattern パラメータを設定する際、140 文字を超える入力が消えてしまい、入力文字列の一部が CheckHost パラメータにあふれ出してしまう
PD-7753	443 以外の管理ポートを使用して LoadMaster の PowerShell API を使用する場合、Enable-SecAPIAccess コマンドおよび Disable-SecAPIAccess コマンドを使用する際にポートを指定する必要がある
PD-7565	API からチェッカーのアドレスを設定できない
PD-7522	API 経由で GEO のマップが変更され、そのサイトの IP アドレスが指定されていない場合、何も返されない（エラーが表示されるはず）
PD-7516	API において、GEO ロケーションベースのオプションで"Everywhere"を選択できない
PD-7338	チェッカーが tcp に設定されていると、listclustersAPI コマンドが CheckerPort の値として 0 を返す。TCP ヘルスチェック使用時のデフォルト値は 80 で、その値が返されなければなりません。
PD-7742	DNS クエリのフィールドに対し、API と UI で異なる長さの文字列を指定できる
PD-7696	API からチェック済みポートを削除できない
PD-10160	CPU とネットワークのグラフをリセットする API コマンドが動作しません。

Copyright © 2002 – 2018 KEMP Technologies, Inc. All Rights Reserved.
Copyright © 2017 – 2018 FXC Inc. Rights for Japanese is reserved.

19 リリース 7.1.34.1

ファームウェアバージョン 7.1.34.1 に関する詳細は、以下のセクションを参照してください。これは 2016 年 5 月 18 日にリリースされました。

VMware による vCOPs v.5.8.1 のサポートは終了したため、リリース 7.1.34.1 現在、VMware vCenter Operations（vCOPs）v5LoadMaster プラグインのメンテナンスは行っていません。
既存の LoadMaster for Amazon Web サービス（AWS）のファームウェアを 7.1.34 より前のバージョンから 7.1.34 以降にアップグレードすると、正しく動作しません。この問題は、AWS が準仮想化（PV）のサポートを重視しなくなり、最終的にはそのサポートを廃止するために発生します。そのため、LoadMaster の新しいバージョンは、すべてハードウェア仮想マシン（HVM）の AMI のみサポートしています。アップグレードのサポートが必要な場合は、KEMP の技術サポートまでお問い合わせください。

19.1 新機能

LoadMasterWeb ユーザーインターフェイス（WUI）のホームページを改善

- テンプレート作成機能を追加
- ドメイン名システムセキュリティ拡張（DNSSEC）クライアントのサポートを追加
- Microsoft Azure リソースマネージャー（ARM）の展開をサポート
- LoadMaster for Amazon Web サービス（AWS）で BYOL をサポート
- RADIUS のチャレンジ/レスポンスのサポートを追加

19.2 機能拡張

- エッジセキュリティパック（ESP）の「許可グループ」機能が強化され、クライアント証明書を使用できるようになりました。
- RSA-SecurID と LDAP による 2 要素認証がサポートされました。
- バーチャルサービスのアプリケーション設定に関する 2 つのテンプレートを公開しました。
  - Dell Wyse vWorkspace
  - Adobe Connect
- 「非標準」の Web サーバ応答を正常とみなすよう設定できるようになりました。
- 共通アクセスカード（CAC）による WUI 認証を改善しました。
- WUI および API に、SSL 暗号セットの集中管理機能を追加しました。
- GEO のカスタムロケーションを削除できるようになりました。
- CCWAF の稼働状態がより的確に反映されるように、バーチャルサービスの WAF 統計情報を改善しました。
- SSOMGR デバッグトレースが有効なとき、SSOMGR ログファイルが空でない場合に、SSOMGR ログファイルを真夜中に圧縮するようにしました。

Copyright © 2002 – 2018 KEMP Technologies, Inc. All Rights Reserved.
Copyright © 2017 – 2018 FXC Inc. Rights for Japanese is reserved.

リリース 7.1.34.1

- インストール時、HTTP（S）プロキシを介して LoadMaster のライセンスを設定できるようになりました。
- KVMLoadMaster に virtIO ディスクのサポートを追加しました。
- LoadMasterin AWS のサポート地域を拡張しました。
- 新しい L7 設定オプションを追加し、空のヘッダを使用できるようになりました。
- SubVS を追加するための PowerShell API コマンドを追加しました。
- バーチャルサービスの API コマンドに、サブネット起源リクエストのパラメータを追加しました。
- ヘルスチェックの集約および設定可能なヘルスチェックしきい値に関する PowerShell API コマンドを追加しました。
- FQDN のカスタムロケーションを追加するための PowerShell API コマンドおよび Java API コマンドを追加しました。
- バーチャルサービスおよび SubVS に関する PowerShell API を改善しました。
- API パラメータの tcpfailover と cookieupdate を、それぞれ hal4update と hal7update に置き換えました。
- CVE-2016-2107 の脆弱性を軽減するため、OpenSSL のバージョンを 1.0.2h に更新しました。
- CVE-2015-5621 の脆弱性を軽減しました。

19.3 修正された問題

PD-7035	リダイレクト URL フィールドの長さを拡張
PD-6644	VLAN インターフェイス ID を実際の VLAN 番号に変更
PD-6921	LDAPS を FIPS モードで実行できるように変更
PD-6570	WAF の安定性が向上
PD-7083	RADIUS ヘルスチェックの安定性が向上
PD-7064	コンテンツルールの削除に関する問題を修正
PD-6950	再起動後に管理用の証明書が失われる問題を修正
PD-6936	アップグレードを行った後にライセンスのエラーが発生する場合がある問題を修正
PD-6931	クラスタ内のノードに関する統計履歴ページを修正
PD-6916	SSHv1 のサポートを完全に削除
PD-6870	ログイン試行回数のしきい値の適用を改善
PD-6653	ホームページの WAF カウンタを改善
PD-6656	LoadMaster から IP アドレスとホスト FQDN を入力してホストファイルを操作できるように変更
PD-6468	WAF の性能を改善
PD-6412	ESP 内のマルチドメインフォレストのサポートを強化
PD-4666	SSO 設定ログにおいてドメインの情報が失われる問題を修正
PD-7222	WAF syslog のサポートを強化
PD-6591	Kerberos Constrained Delegation（KCD）のサービスチケットの処理を改善

Copyright © 2002 – 2018 KEMP Technologies, Inc. All Rights Reserved.
Copyright © 2017 – 2018 FXC Inc. Rights for Japanese is reserved.

リリース 7.1.34.1

PD-6549	ハイアベイラビリティ（HA）モードで VLAN/VXLAN を削除したときに発生する問題を修正
PD-6731	拡張オプションを有効にしたときに実サーバの状態が正しく表示されない問題を修正
PD-6657	近接スケジューリング方式におけるプライベート/パブリックサイトのプリファレンスに関する問題を修正
PD-6641	内蔵の地理的位置情報データベースを使用するサイトに関する問題を修正
PD-6626	近接選択方式に切り替え時における既存サイトの地理的座標の分解能を修正
PD-6607	SharePoint および Exchange において KCD OWA および添付ファイルを使用したときに発生する問題を修正
PD-6760	POSTDATA の特殊文字を扱えるように、POST のヘルスチェックを強化
PD-6734	ESP のフォームベース認証および KCD 使用時の SharePoint One Drive との同期を改善
PD-6669	無償版バーチャル LoadMaster における古いバージョンのライセンス設定に関する問題を修正
PD-6548	サービス追加時に CPU 使用率が高くなる問題を修正
PD-6459	CPU の統計情報が正しく表示されない問題を修正
PD-6329	パケットルーティングフィルターに関して欠落していた Java および PowerShell の API コマンドを追加
PD-6215	パブリック IP アドレスを GEO 上でプライベートとして扱えるように API コマンドを追加
PD-6214	同時ログインセッションの数を制限する API コマンドを追加
PD-6617	インストールされている証明書のリストを表示する API コマンドを追加
PD-6864	API に Quality of Service のパラメータを追加
PD-6958	System Center プラグインが LoadMasterAPI にアクセスできるように変更
PD-6928	非ローカルの実サーバを有効にする API コマンドの問題を修正
PD-6365	Set-SSODomain コマンドに関して欠落していた"Username only"の PowerShell API パラメータ値を追加
PD-7067	基本認証を設定する API パラメータを追加
PD-7049	ErrorUrl RESTful API パラメータのエラー処理を改善
PD-7020	透過パラメータを Sorry サーバーパラメーターとともに使用しているときに発生する API の問題を修正
PD-6978	PowerShell および Java の API に RSIndex パラメータを追加
PD-6860	代替アドレスパラメーターに関する API におけるエラー処理を修正
PD-6841	API にバーチャルサービスの状態が正しく反映されるように修正
PD-6602	管理用証明書を取得するコマンドに対する API の応答を修正
PD-6600	実サーバ出力の MatchRules セクションに関する API の表示を改善
PD-6595	API 経由で ACLControl を無効にしたときのエラー処理を改善
PD-6481	バーチャルサービスの追加/編集時に LoadMaster for Azure で発生する API の問題を修正
PD-6213	Java API に暗号セットの管理を追加
PD-6195	ブラックリストとホワイトリストの管理に関する PowerShell および Java の API コマンドを追加
PD-6846	PowerShell API の Set-VirtualService コマンドに VSIndex パラメータを追加
PD-6843	Get-NetworkOptions PowerShell API コマンドの問題を修正
PD-6655	API リストコマンドのエラー処理を改善

Copyright © 2002 – 2018 KEMP Technologies, Inc. All Rights Reserved.
Copyright © 2017 – 2018 FXC Inc. Rights for Japanese is reserved.

リリース 7.1.34.1

PD-6601	ローカル証明書を設定する RESTful API における HTTP ステータスコードを改善
PD-6599	GetSDNController Java API コマンドを改善
PD-6598	AddSDNController/ModSDNController Java API コマンドを改善
PD-6587	New-RealServer PowerShell API コマンドの応答を修正
PD-6480	Set_AWSHAOption PowerShell API コマンドを改善
PD-7647	LoadMasters for Azure における WUI 接続の問題を修正。この問題を修正には、LoadMaster のファームウェアに加え、Azure アドオンの更新が必要

19.4 既知の問題

PD-11023	LoadMaster オペレーティング システム（LMOS）のセッション管理における重大な脆弱性（CVE-2018-0901）により、権限を持たない遠隔地の攻撃者がセキュリティ保護を通過し、システムの実行権限を得て「ls」、「ps」、「cat」といったコマンドが実行できる可能性があります。この実行により、証明書の秘密鍵などの機密データが露出する危険性があります。詳細な情報は、Mitigation For Remote Access Execution Vulnerability を参照してください。
PD-7173	事前認証から除外されたディレクトリの KCD が期待どおりに機能しない
PD-7127	SSOMGR により Kerberos のキャッシュが完全に消去されない
PD-7099	LoadMasterWUI において、Log Insight バーチャルサービスで SubVS を作成できない場合がある
PD-7157	WAF と KCD を使用すると、SharePoint のすべてのファイル添付で問題が発生します。
PD-7121	複数の証明書を含む OCSP 応答が正しく処理されない
PD-7056	バーチャルサービスのブラックリスト IP アドレスに関する問題が存在する
PD-7047	ネームサーバ（DNS）プロトコルのヘルスチェックに関する問題が存在する
PD-7226	長いコメントを含むテンプレートをアップロードすると問題が発生する場合がある
PD-7023	Get-Rule API コマンドの出力およびエラー処理が理想的でない
PD-7016	IncludeQueryAPI のパラメータを設定できない
PD-6930	API における IPv6 のサポートが完全ではない
PD-7225	listcustomlocationAPI コマンドにより、追加されていないカスタムロケーションが表示される
PD-7128	パーシステンスモードを Source IP Address に設定すると、showvs API コマンドに persist パラメータが表示されない
PD-7021	WUI と API で Add Header to Request フィールドの長さが異なる
PD-7014	PowerShell API 使用時、追加ポートを削除しようとすると問題が発生する

Copyright © 2002 – 2018 KEMP Technologies, Inc. All Rights Reserved.
Copyright © 2017 – 2018 FXC Inc. Rights for Japanese is reserved.

20 リリース 7.1-32a

ファームウェアバージョン 7.1-32a に関する詳細は、以下のセクションを参照してください。これは 2016 年 1 月 26 日にリリースされました。

20.1 新機能

- HTTP/2 バーチャルサービスタイプが追加されました。
- LoadMaster for Amazon Web Services（AWS）のハイアベイラビリティ（HA）
- LoadMaster のクラスタリング
- ヘルスチェックの集約としきい値の設定
- WAF のイベントログを追加
- WAF のリモートログ機能を追加
- 分かりやすくするため、一部の WAF WUI フィールドの名前を変更
- 分かりやすくするため、WAF ルールの更新ログを追加
- API から WAF 監査ログを利用できるようにし、サードパーティのコレクターに送信できるように変更

20.2 機能拡張

- CVE-2004-2761 の脆弱性を軽減するため、LoadMaster のルート証明書を更新
- PowerShell API ライブラリが、TLS 1.1 および TLS 1.2 のみサポートするようになりました。
- Java API が Java 7 および Java 8 をサポートしました。
- SSH およびウェブユーザーインターフェイス（WUI）の事前認証メッセージに対する API のサポートを追加しました。
- LoadMaster for Azure にて複数の NIC がサポートされました。
- LoadMaster for Azure にて複数のサブネットがサポートされました。
- バーチャルサービスの各種アプリケーション設定テンプレートを公開しました。
  a) AD FS v3
  b) DirectAccess
  c) Fujifilm Synapse
  d) Skype for Business
  e) Greenway PrimeSuite
  f) Epicor ERP
  g) Microsoft Exchange 2016

- Microsoft Exchange 2013 バーチャルサービスアプリケーションの設定テンプレートを更新しました。

Copyright © 2002 – 2018 KEMP Technologies, Inc. All Rights Reserved.
Copyright © 2017 – 2018 FXC Inc. Rights for Japanese is reserved.

- "Modify Virtual Service"（バーチャルサービスの編集）画面のセクションの表示を改善しました。
- LoadMaster を最初に設定する際のライセンスタイプ選択時に、より多くの情報が画面に表示されるようにしました。
- VXLAN/VLAN インターフェイスの使い勝手が向上しました。
- VXLAN または IPsec トンネリングが有効な場合に、クラスターモードが有効化されないように警告を追加しました。
- FIPS モードにおいて、強制的にセッション管理モードを使用するようにしました。
- 認証された NTPv4 がサポートされました。
- WUI のページに新たなセキュリティヘッダーを追加しました。
- 監査ログに管理アクションが記録されるようになりました。
- 事前認証クリックスルーバナーを有効化できるようになりました。
- セッション管理が有効な場合、LoadMasterWUI のホームページに最後に成功したログイン情報が表示されるようになりました。
- エッジセキュリティパック（ESP）使用時、アクティブディレクトリのメンバーシップに基づきトラフィックを操作できるようになりました。
- ESP 使用時、ネストされた権限グループを使用できるようになりました。
- Cavium ドライバがバージョン 6.0 に更新されました。

20.3 修正された問題

PD-6523	PowerShell API における SSL 再暗号化パラメータの設定方法を改善
PD-6482	ボンディングインターフェイスおよびアクティブ/バックアップオプションに関する問題を修正
PD-6476	GEO の近接スケジューリングの安定性が向上
PD-6435	HA および SSO の同期に関する問題を修正
PD-6413	ワイルドカードポートでポートフォローウィングを使用できるように変更
PD-6389	実サーバが存在しないときに、画像セットのリソースが読み込まれない問題を修正
PD-6385	WUI にて TLS のバージョンを選択できるように変更
PD-6364	RESTful API、PowerShell API、Java API の整合性を改善
PD-6348	RADIUS の安定性が向上
PD-6334	FIPS モードおよび TLS 1.2 使用時の WUI のアクセスに関する問題を修正
PD-6231	PowerShell API から抜けていたコマンドを追加
PD-6167	SNMP および IPv6 に関する問題を修正
PD-6165	Internet Explorer 11 との間の WUI の互換性に関する問題を修正
PD-6160	SSL 再暗号化を用いたバーチャルサービス作成時の API の使い勝手が向上
PD-6159	WAF およびバーチャルサービスの安定性が向上
PD-6096	Azure バーチャル LoadMaster（VLM）の安定性が向上

Copyright © 2002 – 2018 KEMP Technologies, Inc. All Rights Reserved.
Copyright © 2017 – 2018 FXC Inc. Rights for Japanese is reserved.

リリース 7.1-32a

PD-6077	VLM がハングすることがある問題を修正
PD-6013	API を使用して、バーチャルサービスごとにサブネットからの要求を設定できるように変更
PD-5961	Kerberos Constrained Delegation 使用時に 1MB を超えるファイルを添付できない問題を修正
PD-5932	セグメントフォールトが発生することがある問題を修正
PD-5915	ネームサーバを追加できない問題を修正
PD-5909	ブラックリストを表示する API コマンドの軽微な問題を修正
PD-5857	VMware vRealize Operations Manager にてコレクタースレッドエラーが発生する問題を修正
PD-5798	CVE-2015-5600 の脆弱性を軽減するため、ファームウェアを更新しました。
PD-5641	LM-2600 モデルにおいて、設定を変更すると再起動する問題を修正
PD-5222	ショートドメイン名に関する問題を修正
PD-4775	SNMP で問い合わせを行った際に、セキュリティダウン状態のバーチャルサービスが"InService"と表示される問題を修正
PD-3642	GEO の重み付けラウンドロビンの統計情報に関する問題を修正
PD-6102	実サーバ有効化ボタンに関する問題を修正
PD-6514	FQDN のサイト制限に関する問題を修正
PD-6095	国の追加/削除およびマップロケーション変更を行う GEO の API コマンドに関する問題を修正
PD-6078	API コマンドを使用して、FQDN の IP にカスタムロケーションを追加できるようになりました。
PD-6735	Kerberos Constrained Delegation（KCD）を SharePoint とともに使用したときに発生する問題を修正
PD-6703	SSO 設定ログにドメインの詳細が記録されない問題を修正
PD-6404	API リストコマンドのエラー処理を改善

20.4 既知の問題

PD-11023	LoadMaster オペレーティング システム（LMOS）のセッション管理における重大な脆弱性（CVE-2018-0901）により、権限を持たない遠隔地の攻撃者がセキュリティ保護を通過し、システムの実行権限を得て「ls」、「ps」、「cat」といったコマンドが実行できる可能性があります。この実行により、証明書の秘密鍵などの機密データが露出する危険性があります。詳細な情報は、Mitigation For Remote Access Execution Vulnerability を参照してください。
PD-6626	既存の FQDN を近接負荷分散が行われているサイトに変更すると、自動名前解決が失敗する
PD-6627	FQDN の座標に「不正データ」を入力すると、自動名前解決が失敗する
PD-6575	OpenStack Load Balancer as a Service（LBaaS）をインストールできない場合がある
PD-4666	SSO の設定情報が失われる場合がある。
PD-6607	WAF および KCD 使用時、SharePoint と Exchange でファイルを添付できない
PD-6591	LoadMaster が KCD サービスチケットを要求しない場合がある

Copyright © 2002 – 2018 KEMP Technologies, Inc. All Rights Reserved.
Copyright © 2017 – 2018 FXC Inc. Rights for Japanese is reserved.

Copyright © 2002 – 2018 KEMP Technologies, Inc. All Rights Reserved.
Copyright © 2017 – 2018 FXC Inc. Rights for Japanese is reserved.

21 リリース 7.1-30a

ファームウェアバージョン 7.1-30a に関する詳細は、以下のセクションを参照してください。これは 2015 年 11 月 2 日にリリースされました。

21.1 機能拡張

- SDN デバイスとパスの情報を取得する API コマンドを追加しました。
- CVE-2015-5600 の脆弱性を軽減するため、ファームウェアを更新しました。

21.2 修正された問題

PD-6335	FIPS モードおよび TLS1.1（または 1.2）の使用に関する問題を修正
PD-6223	一部の LM-2600 モデルにおいて、設定を変更すると再起動する問題を修正
PD-6222	一部のバーチャル LoadMaster がハングする問題を修正

21.3 既知の問題

PD-11023	LoadMaster オペレーティング システム（LMOS）のセッション管理における重大な脆弱性（CVE-2018-0901）により、権限を持たない遠隔地の攻撃者がセキュリティ保護を通過し、システムの実行権限を得て「ls」、「ps」、「cat」といったコマンドが実行できる可能性があります。この実行により、証明書の秘密鍵などの機密データが露出する危険性があります。詳細な情報は、Mitigation For Remote Access Execution Vulnerability を参照してください。

Copyright © 2002 – 2018 KEMP Technologies, Inc. All Rights Reserved.
Copyright © 2017 – 2018 FXC Inc. Rights for Japanese is reserved.

22 リリース 7.1-30

ファームウェアバージョン 7.1-30 に関する詳細は、以下のセクションを参照してください。これは 2015 年 11 月 3 日にリリースされました。

22.1 新機能

- IPsec トンネリングの機能拡張
- LoadMasterSDN アダプティブ
- VMware vRealize Orchestrator の統合
- 仮想拡張 LAN（VXLAN）ネットワークのサポート
- エッジセキュリティパック（ESP）によるマルチドメイン認証
- WUI にアクセスするための証明書認証
- TCP マルチプレクシング

22.2 機能拡張

- リクエストペイロードに基づくコンテンツスイッチがサポートされました。
- LoadMaster の WUI に同時接続可能な管理用ログオンセッションの数を設定できるようになりました。
- SDN アダプティブモードの設定を API からすべて行えるようになりました。
- PowerShell および Java の API に、SDN に関するコマンドを追加しました。
- LoadMaster のログにスクリプトのバージョン番号を追加しました。
- Web アプリケーションファイアウォール（WAF）のメモリ使用量が拡大されました。
- バーチャルサービスの名前に特殊文字を利用できるようになりました。
- ベアメタルインストールに、手動ブートオプションおよびハードウェア互換性チェックを追加しました。
- SSL 証明書の管理において、暗号セットをきめ細かく制御できるようになりました。
- OpenSSL のバージョンが 1.0.1p にアップグレードされました。
- ESP 使用時にショートドメイン名を使用できるようになりました。
- ウェブユーザーインターフェイス（WUI）が更新され、新しいカラースキームと改善された操作性を備えたインターフェイスになりました。
- Oracle EBS バーチャルサービスのアプリケーション設定テンプレートを公開しました。
- SAP バーチャルサービスのアプリケーション設定テンプレートを公開しました。
- Oracle JD Edwards バーチャルサービスのアプリケーション設定テンプレートを公開しました。
- すべての LoadMaster で FIPS 140-2 レベル 1 動作が可能になりました。
- LoadMaster がプロキシを使用してインターネットにアクセスできるようになりました。
- ディフィー・ヘルマン鍵交換（DHE）のキーサイズを指定できるようになりました。
- Azure ベースの LoadMaster および GEO のハイアベイラビリティ状態を示す WUI のインジケータを改善しました。

Copyright © 2002 – 2018 KEMP Technologies, Inc. All Rights Reserved.
Copyright © 2017 – 2018 FXC Inc. Rights for Japanese is reserved.

リリース 7.1-30

- LoadMaster の手動バックアップのファイル名に、LoadMaster のホスト名が追加されました。
- "Not Available Redirection Handling"（利用不可時のリダイレクション処理）に、応答コード 200 が追加されました。
- SNMP プロトコルのバージョンと認証設定を変更できるようになりました。
- リクエスト元に応じてパブリックサイトとプライベートサイトのどちらで応答するかの設定が、より細かく行えるようになりました。
- API を介して SSO のキャッシュを消去できるようになりました。
- "Real Server Check"（実サーバーチェック）パラメータの"Custom Headers"（カスタムヘッダ）フィールドに、特殊文字を入力できるようになりました。

22.3 修正された問題

PD-5841	SNMP v3 設定時のユーザ名に関する問題を修正
PD-5643	自動バックアップの問題を修正
PD-5500	許可グループおよび ESP 認証に関する問題を修正
PD-5420	"Not Available Redirection Handling"（利用不可時のリダイレクション処理）のエラーファイルを更新できない問題を修正
PD-5416	RSA 認証プロンプトに関する問題を修正
PD-4964	RSA 同時アクセスに関する問題を修正
PD-4596	フロントエンドハンドシェイクにおいて、LoadMaster が完全な証明書データを送信していなかった問題を修正
PD-3726	KCD ログイン時に LoadMaster が再起動する問題を修正
PD-4865	一部の SSO ドメインでロックされたユーザのロック解除の関する問題を修正
PD-5920	実サーバのヘルスチェックにおいて、実サーバが利用できないにもかかわらずステータスが"up"（動作中）と表示される問題を修正
PD-5870	Internet Explorer でログを表示できない問題を修正
PD-5867	2 要素（RADIUS および LDAP）ESP 認証に関する問題を修正
PD-5853	GEO のヘルスチェックに関する問題を修正
PD-5586	スケジューリング方式を切り替えると LoadMaster がクラッシュする問題を修正
PD-5282	GEO の近接スケジューリング方式に関する問題を修正
PD-4863	GEO のカスタムロケーションを編集できない問題を修正
PD-5478	GEO の IPv6 用ラウンドロビンスケジュール方式に関する問題を修正
PD-4662	LDAP のヘルスチェックが断続的に失敗する問題を修正
PD-3567	IPv6 および追加アドレスを使用しているときに発生する、IPv4 上の無償 ARP（Gratuitous ARP）に関する問題を修正
PD-5863	8-NICLoadMaster ユニットにおけるネットワークインターフェイスカード（NIC）のポートマッピングを修正

Copyright © 2002 – 2018 KEMP Technologies, Inc. All Rights Reserved.
Copyright © 2017 – 2018 FXC Inc. Rights for Japanese is reserved.

22.4 既知の問題

PD-11023	LoadMaster オペレーティング システム（LMOS）のセッション管理における重大な脆弱性（CVE-2018-0901）により、権限を持たない遠隔地の攻撃者がセキュリティ保護を通過し、システムの実行権限を得て「ls」、「ps」、「cat」といったコマンドが実行できる可能性があります。この実行により、証明書の秘密鍵などの機密データが露出する危険性があります。詳細な情報は、Mitigation For Remote Access Execution Vulnerability を参照してください。
PD-5582	リソースチェックパラメーターおよびクラスターヘルスチェックに関する問題が GEO に存在する
PD-4666	SSO の設定情報が失われる場合がある。
PD-5915	GEO において、WUI から複数のネームサーバを追加できない。この問題は API で回避できる。
PD-5909	ブラックリスト IP アドレスが 325 件以上になると、RESTful API がブラックリスト IP アドレスの表示を停止する。
PD-5641	LoadMasterLM-2600 において、設定を変更すると LoadMaster が再起動する場合がある。
PD-5857	LoadMaster に対する VMware vRealize Operations コレクターに問題がある。
PD-5961	認証モードが Kerberos Constrained Delegation（KCD）に設定されているとき、1MB を超える添付ファイルが機能しません。
PD-6102	[Enable Real Server] ボタンが正しく機能しません。

Copyright © 2002 – 2018 KEMP Technologies, Inc. All Rights Reserved.
Copyright © 2017 – 2018 FXC Inc. Rights for Japanese is reserved.

23 リリース 7.1-28b

ファームウェアバージョン 7.1-28b に関する詳細は、以下のセクションを参照してください。これは 2015 年 8 月 28 日にリリースされました。

23.1 機能拡張

- "Not Available Redirection Handling Error Code"（利用不可時のリダイレクション処理のエラーコード）ドロップダウンリストに、新しい応答コード"200 OK"が追加されました。
- CVE-2015-5477 の脆弱性を軽減するため、ファームウェアを更新しました。

23.2 修正された問題

PD-5596	[Not Available Redirection Handling] のエラーファイルを更新できない問題を修正しました。
PD-5581	GEO のウェブユーザーインターフェイス（WUI）において、複数のローケーションが割り当てられてしまう問題を修正しました。
PD-5513	LoadMaster の安定性が向上しました。

23.3 既知の問題

PD-11023	LoadMaster オペレーティング システム（LMOS）のセッション管理における重大な脆弱性（CVE-2018-0901）により、権限を持たない遠隔地の攻撃者がセキュリティ保護を通過し、システムの実行権限を得て「ls」、「ps」、「cat」といったコマンドが実行できる可能性があります。この実行により、証明書の秘密鍵などの機密データが露出する危険性があります。詳細な情報は、Mitigation For Remote Access Execution Vulnerability を参照してください。
PD-3567	IPV6 および追加アドレスを使用しているときに、IPv4 上で無償 ARP（Gratuitous ARP）が送信されません。
PD-3642	GEO および重み付けラウンドロビンスケジューリングを使用しているとき、統計情報が正しく更新されない
PD-4662	ある設定において、LDAP のヘルスチェックが断続的に問題を起こす
PD-4863	LoadMasterGEO のカスタムロケーションを無効にできない
PD-4865	一部のドメインにおいて、ロックされたユーザのロックを解除できない
PD-4964	RST テストユーザーが設定されていると、RSA 認証が失敗する
PD-5020	"Real Server Check"（実サーバーチェック）パラメータの"Custom Headers"（カスタムヘッダ）フィールドに特殊文字を入力できない
PD-5416	ユーザが既存のセッションを持つ場合、新しい接続に対して ESA RSA が RSA パスフレーズを要求しない場合がある
PD-5420	"Not Available Redirection Handling"（利用不可時のリダイレクション処理）のエラーファイルを更新できない

Copyright © 2002 – 2018 KEMP Technologies, Inc. All Rights Reserved.
Copyright © 2017 – 2018 FXC Inc. Rights for Japanese is reserved.

24 リリース 7.1-28a

ファームウェアバージョン 7.1-28a に関する詳細は、以下のセクションを参照してください。これは 2015 年 7 月 29 日にリリースされました。

24.1 新機能

- Microsoft SharePoint のテンプレートを作成しました。
- MobileIron のテンプレートを作成しました。

24.2 機能拡張

- RESTful API に、SDN に関するコマンドを追加しました。
- 実サーバの規定の上限が、ロードサーバーごとに計算されるようになりました。
- SSL の最大同時接続数が、メモリに応じてより柔軟に拡張されるようになりました。
- SSL の再暗号化が有効のとき、代替ソースアドレスを設定できるようになりました。

24.3 修正された問題

PD-5413	サービスプロバイダーライセンス契約（SPLA）のライセンス設定画面において、オンライン/オフラインのオプションが表示されない場合がある問題を修正
PD-4924	エッジセキュリティパック（ESP）の"Delegate to Server"（サーバに委任）オプション使用時の安定性が向上
PD-4597	ネストされたバーチャルサービスに関するメモリの問題を修正
PD-5251	GEO のその他パラメータが一部設定できない問題を修正
PD-4350	管理用インターフェイスと管理用ゲートウェイを一緒に設定しているときに発生する問題を修正

24.4 既知の問題

PD-11023	LoadMaster オペレーティング システム（LMOS）のセッション管理における重大な脆弱性（CVE-2018-0901）により、権限を持たない遠隔地の攻撃者がセキュリティ保護を通過し、システムの実行権限を得て「ls」、「ps」、「cat」といったコマンドが実行できる可能性があります。この実行により、証明書の秘密鍵などの機密データが露出する危険性があります。詳細な情報は、Mitigation For Remote Access Execution Vulnerability を参照してください。
PD-3567	IPV6 および追加アドレスを使用しているときに、IPv4 上で無償 ARP（Gratuitous ARP）が送信されない
PD-3642	GEO および重み付けラウンドロビンスケジューリングを使用しているとき、統計情報が正しく更新されない
PD-4662	ある設定において、LDAP のヘルスチェックが断続的に問題を起こす
PD-4863	LoadMasterGEO のカスタムロケーションを無効にできない

Copyright © 2002 – 2018 KEMP Technologies, Inc. All Rights Reserved.
Copyright © 2017 – 2018 FXC Inc. Rights for Japanese is reserved.

リリース 7.1-28a

PD-4865	一部のドメインにおいて、ロックされたユーザのロックを解除できない
PD-4964	RST テストユーザーが設定されていると、RSA 認証が失敗する
PD-5020	"Real Server Check"（実サーバーチェック）パラメータの"Custom Headers"（カスタムヘッダ）フィールドに特殊文字を入力できない
PD-5416	ユーザが既存のセッションを持つ場合、新しい接続に対して ESA RSA が RSA パスフレーズを要求しない場合がある
PD-5420	"Not Available Redirection Handling"（利用不可時のリダイレクション処理）のエラーファイルを更新できない

Copyright © 2002 – 2018 KEMP Technologies, Inc. All Rights Reserved.
Copyright © 2017 – 2018 FXC Inc. Rights for Japanese is reserved.

25 リリース 7.1-28

ファームウェアバージョン 7.1-28 に関する詳細は、以下のセクションを参照してください。これは 2015 年 6 月 24 日にリリースされました。

25.1 新機能

- ESP の機能拡張 - 2 要素認証
- LoadMaster のクラスタリング - ベータ
- ESP の機能拡張 - NTLM のサポート - ベータ
- SNMP v3

25.2 機能拡張

- ベアメタルインストールプロセスを更新しました。
- SDN アドオンパックが更新され、モード 2 がサポートされました。
- ESP において、SSO フォームに関する設定可能なタイムアウトオプションが追加されました。
- WUI のセキュリティがさらに強化されました。
- セッションマネージャー機能の使い勝手が向上しました。
- RESTful API に、コンテンツスイッチに関するコマンドを追加しました。
- RESTful API に、管理用ゲートウェイ/インターフェイスの変更に関するコマンドを追加しました。
- RESTful API に、クライアント IP のサポートに関するコマンドを追加しました。
- RESTful API に、SDN アダプティブに関するコマンドを追加しました。
- PowerShell および Java の API に、ログイントランスコードオプションに関するコマンドを追加しました。
- 複数の宛先を持つ syslog を改善しました。
- WUI におけるアドオンパックのステータス表示を改善しました。
- バーチャルサービスの接続数上限に達したときの通知を追加しました。
- ESP のログが改善され、ユーザによりどの URL がアクセスされているかが分かるようになりました。
- コンテンツルールのマッチフィールドのサイズを増やしました。
- バックアップ機能を改善し、SSO の画像を含めることができるようになりました。
- AWS の初期設定プロセスを改善しました。
- VMware Log Insight 2.5 がサポートされました。
- 仮ライセンスの設定に関するトラブルシューティングを改善しました。
- 2 要素認証のログインフォーマットを改善しました。
- RADIUS 共有シークレットの最大長を増やしました。
- RADIUS 共有シークレットに関するセキュリティを強化しました。
- 新しいソフトウェアが利用できるようになったことを示すアラート機能を改善しました。
- 新しい診断機能を追加しました。

Copyright © 2002 – 2018 KEMP Technologies, Inc. All Rights Reserved.
Copyright © 2017 – 2018 FXC Inc. Rights for Japanese is reserved.

リリース 7.1-28

- Java API のエラー処理を改善しました。
- RESTful API の Showvs コマンドの出力に、SubVS のステータスを追加しました。
- AWS の SAN 認証処理を改善しました。

25.3 修正された問題

PD-4195	脆弱性 - XSS 貢献者 – Francesco Perna （CVE に提出済み）
PD-4196	脆弱性 - XSRF 貢献者 – Francesco Perna （CVE に提出済み）
PD-4198	脆弱性 - OS コマンドインジェクション 貢献者 – Francesco Perna （CVE に提出済み）
PD-4199	脆弱性 - クロスサイトスクリプティングインジェクション 貢献者 – Roberto Suggi Liverani および Paul Heneghan （CVE に提出済み）
PD-1677	RSA の設定に必要なノード秘密鍵と設定ファイルをアップロードするための RESTful API コマンドが使用可能になりました。
PD-3697	ESP SMTP に関する問題を修正
PD-4212	X-Forwarded_For のヘッダーインジェクションに関する問題を修正
PD-4305	RESTful API の listvs コマンドに対するリターンコードを改善
PD-4383	サブネットからの要求および再暗号化に関する問題を修正
PD-4385	SSO マネージャの安定性が向上
PD-4519	WUI におけるアダプティブエージェント更新の問題を修正
PD-4528	IPSec 設定に関する入力エラー処理の問題を修正
PD-4529	Java API の SetParameter()メソッドの問題を修正
PD-4531	仮想サーバの IP 変更後に LoadMaster のデフォルトゲートウェイで発生する問題を修正
PD-4534	IPv6 のヘルスチェックに関する問題を修正
PD-4535	中間証明書の表示に関する問題を修正
PD-4542	FIPS 再暗号化 SSL を修正
PD-4543	FIPS 逆引き SSL を修正
PD-4559	PowerShell API における SNMP オプションの問題を修正
PD-4604	ユーザが診断シェルにアクセスできなくなる問題を修正
PD-4608	グローバルデフォルトゲートウェイを変更すると管理用 WUI にアクセスできなく問題を修正
PD-4629	SDN ビューのログ選択の問題を修正
PD-4648	カスタム画像セットのロングファイルネームに関する問題を修正

Copyright © 2002 – 2018 KEMP Technologies, Inc. All Rights Reserved.
Copyright © 2017 – 2018 FXC Inc. Rights for Japanese is reserved.

リリース 7.1-28

PD-4663	SDN コントローラ入力のエラー処理を改善
PD-4693	SDN アダプティブスケジューリングの問題を修正
PD-4704	IPSec 設定の PSK における特殊文字の問題を修正
PD-4710	IPv6 に関する RESTful API の modrs コマンドを修正
PD-4712	他の仮想サーバに関する証明書の削除の問題を修正
PD-4802	WUI における SDN の表示を修正
PD-4828	バックアップのセキュリティを強化
PD-4855	SDN のセキュリティを強化
PD-4884	GEO パートナーおよび HA の問題を修正
PD-4917	32 ビットシステムにおけるホームページのグラフを修正
PD-4954	実サーバのアダプティブ値を示す統計情報に関する問題を修正
PD-4969	アダプティブエージェントのテンプレート作成の問題を修正
PD-5022	WAF ルールのインストール効率が向上
PD-5062	SSO マネージャーログのセキュリティを強化
PD-5119	SSO マネージャの安定性が向上
PD-3703	SSO ドメインにおいて Logon Format（ログイン形式）が Username（ユーザー名）に設定されているとき、ドメイン¥ユーザ名の形式が機能しない問題を修正
PD-4632	SDN ログの日付ピッカーに関する問題を修正
PD-5124	パーシステンスおよび SubVS に関する問題を修正

25.4 既知の問題

PD-11023	LoadMaster オペレーティング システム（LMOS）のセッション管理における重大な脆弱性（CVE-2018-0901）により、権限を持たない遠隔地の攻撃者がセキュリティ保護を通過し、システムの実行権限を得て「ls」、「ps」、「cat」といったコマンドが実行できる可能性があります。この実行により、証明書の秘密鍵などの機密データが露出する危険性があります。詳細な情報は、Mitigation For Remote Access Execution Vulnerability を参照してください。
PD-3324	R320 が正しくフェールオーバーしない場合がある
PD-3567	IPV6 および追加アドレスを使用しているときに、IPv4 上で無償 ARP（Gratuitous ARP）が送信されない
PD-3642	GEO および重み付けラウンドロビンスケジューリングを使用しているとき、統計情報が正しく更新されない
PD-5251	GEO の"Miscellaneous Params"（その他パラメータ）画面における一部のパラメータを WUI から設定できない。これらのフィールドのほとんどは、API で設定することで問題を回避できる。
PD-4350	WUI の一部の RADIUS フィールドを設定する際に問題が発生する場合がある。

Copyright © 2002 – 2018 KEMP Technologies, Inc. All Rights Reserved.
Copyright © 2017 – 2018 FXC Inc. Rights for Japanese is reserved.

26 リリース 7.1-26c

ファームウェアバージョン 7.1-26c に関する詳細は、以下のセクションを参照してください。これは 2016 年 5 月 20 日にリリースされました。

26.1 修正された問題

PD-4666	シングルサインオン（SSO）ドメインの設定に関する問題を修正
PD-4916	LoadMaster 機器の IRQ 負荷分散を強化する修正を実施

26.2 既知の問題

PD-11023	LoadMaster オペレーティング システム（LMOS）のセッション管理における重大な脆弱性（CVE-2018-0901）により、権限を持たない遠隔地の攻撃者がセキュリティ保護を通過し、システムの実行権限を得て「ls」、「ps」、「cat」といったコマンドが実行できる可能性があります。この実行により、証明書の秘密鍵などの機密データが露出する危険性があります。詳細な情報は、Mitigation For Remote Access Execution Vulnerability を参照してください。

Copyright © 2002 – 2018 KEMP Technologies, Inc. All Rights Reserved.
Copyright © 2017 – 2018 FXC Inc. Rights for Japanese is reserved.

27 リリース 7.1-26

ファームウェアバージョン 7.1-26 に関する詳細は、以下のセクションを参照してください。これは 2015 年 5 月 1 日にリリースされました。

27.1 新機能

- Moodle のテンプレートをリリースしました。
- VMware View 6 のテンプレートをリリースしました。
- Microsoft SharePoint 対応の IPsec トンネリング
- ソフトウェア定義ネットワーク（SDN）のアダプティブアドオンパックの機能が拡張されました。

27.2 機能拡張

- Web アプリケーションファイアウォール（WAF）とともに動作する Kerberos Constrained Delegation（KCD）に関して修正された問題
- LoadMaster のコンソールおよび WUI 画面の著作権表示を更新しました。
- エッジセキュリティパック（ESP）許可グループの障害に関するログを追加しました。
- HA モードにあるときに共有 IP アドレスから SNMP トラップを送信するオプションを追加しました。
- Java および PowerShell の API に、アドオンに関するコマンドを追加しました。
- RESTful、PowerShell、および Java の API に、アドオンに関するコマンドを追加しました。
- アプリケーションプログラムインターフェイス（API）に、IPsec トンネリングのサポートを追加しました。
- API にユーザ管理のサポートを追加しました。
- API に追加の統計情報のサポートを追加しました。
- RESTful API の権限の拡張
- ping デバッグオプションを改善しました。
- POST によるヘルスチェック文字数の上限を引き上げました。
- セッション管理のセキュリティを強化しました。
- Web ユーザーインターフェイス（WUI）のセキュリティを強化しました。
- クロスサイトリクエストフォージェリに関するセキュリティを強化しました。
- CVE-2015-0204、CVE-2015-0286、CVE-2015-0287、CVE-2015-0289、CVE-2015-0293、CVE-2015-0209、CVE-2015-0288 の脆弱性を軽減するため、ファームウェアを更新しました。

27.3 修正された問題

PD-4285	SubVS 画面から、無効なオプション（ポートフォローウィング）を削除
PD-4188	バーチャルサービスの統計レポートを改善

Copyright © 2002 – 2018 KEMP Technologies, Inc. All Rights Reserved.
Copyright © 2017 – 2018 FXC Inc. Rights for Japanese is reserved.

リリース 7.1-26c

PD-4071	接続がタイムアウトする場合がある問題を修正
PD-3985	ActiveSync のログインに関するセキュリティを強化
PD-3910	一時ライセンスが LoadMaster のハードウェアに適用されない問題を修正
PD-3774	DNS ヘルスチェックに関する問題を修正
PD-3681	HTTP 転送エンコーディングが最大文字数に達する問題を修正
PD-3567	IPV6 の高可用性（HA）フェールオーバーを改善
PD-4118	個別の鍵ファイルとともに証明書をインポートできるように修正
PD-4212	X-Forwarded-For のヘッダーインジェクションに関する問題を修正
PD-4169	実サーバのパーシステンスに関する問題を修正
PD-4117	LoadMaster がロックアップする場合がある問題を修正
PD-4061	アクティブクッキーのパーシステンスに関する問題を修正
PD-3610	LoadMaster が突然再起動する場合がある問題を修正
PD-4481	LoadMaster の HA ユニットが応答しなくなる場合がある問題を修正
PD-3780	脆弱性 - サービス拒否攻撃（DoS）の条件 貢献者 – Roberto Suggi Liverani および Paul Heneghan （CVE に提出済み）
PD-3781	脆弱性 - クロスサイトリクエストフォージェリ 貢献者 – Roberto Suggi Liverani および Paul Heneghan （CVE に提出済み）
PD-4484	富士通ベアメタルプラットフォームに LoadMaster をインストールできない問題を修正。

27.4 既知の問題

PD-11023	LoadMaster オペレーティング システム（LMOS）のセッション管理における重大な脆弱性（CVE-2018-0901）により、権限を持たない遠隔地の攻撃者がセキュリティ保護を通過し、システムの実行権限を得て「ls」、「ps」、「cat」といったコマンドが実行できる可能性があります。この実行により、証明書の秘密鍵などの機密データが露出する危険性があります。詳細な情報は、Mitigation For Remote Access Execution Vulnerability を参照してください。
PD-3324	R320 が正しくフェールオーバーしない場合がある
PD-3567	IPV6 および追加アドレスを使用しているときに、IPv4 上で無償 ARP（Gratuitous ARP）が送信されない
PD-3682	バーチャルサービスの統計情報詳細が正しくない場合がある
PD-3642	GEO および重み付けラウンドロビンスケジューリングを使用しているとき、統計情報が正しく更新されない
PD-3703	SSO ドメインにおいて Logon Format（ログイン形式）が Username（ユーザー名）に設定されているとき、ドメイン¥ユーザ名の形式が機能しない場合がある
PD-4383	再暗号化を使用しているとき、SubVS ごとのサブネット起源リクエスト（Per-SubVS Subnet Originating Requests）が機能しない

Copyright © 2002 – 2018 KEMP Technologies, Inc. All Rights Reserved.
Copyright © 2017 – 2018 FXC Inc. Rights for Japanese is reserved.

リリース 7.1-26c

PD-4516	Centaur プロセッサがサポートされていない
PD-4531	仮想 IP アドレス変更後、稼働前のデフォルトゲートウェイが LoadMaster により無視される
PD-4648	SSO のカスタム画像の設定において、長いファイル名を持つ画像が機能しない
PD-4608	グローバルデフォルトゲートウェイを変更すると WUI にアクセスできなく場合がある
PD-4604	LoadMaster のコンソールにて診断シェルオプションにアクセスできない

Copyright © 2002 – 2018 KEMP Technologies, Inc. All Rights Reserved.
Copyright © 2017 – 2018 FXC Inc. Rights for Japanese is reserved.

28 リリース 7.1-24b

ファームウェアバージョン 7.1-24b に関する詳細は、以下のセクションを参照してください。これは 2015 年 3 月 3 日にリリースされました。

28.1 新機能

- フリー版 LoadMaster 製品

28.2 機能拡張

- CVE-2014-8500 の脆弱性を軽減するため、LoadMaster の BIND のバージョンを 9.9.6-P1 に更新しました。

28.3 修正された問題

PD-4042	ある状況において FIPSLoadMaster から Web ユーザーインターフェイス（WUI）へのアクセスが失われる問題を修正
PD-3911	Audit Only モードに設定したときに Web アプリケーションファイアウォール（WAF）がコンテンツをブロックする問題を修正
PD-3330	Form Based 認証を使用したときに URL が間違ってエンコードされる問題を修正
PD-3843	Web アプリケーションファイアウォール（WAF）のルールを更新すると LoadMaster のバックアップサイズが増加する問題を修正

28.4 既知の問題

PD-11023	LoadMaster オペレーティング システム（LMOS）のセッション管理における重大な脆弱性（CVE-2018-0901）により、権限を持たない遠隔地の攻撃者がセキュリティ保護を通過し、システムの実行権限を得て「ls」、「ps」、「cat」といったコマンドが実行できる可能性があります。この実行により、証明書の秘密鍵などの機密データが露出する危険性があります。詳細な情報は、Mitigation For Remote Access Execution Vulnerability を参照してください。
PD-3156	Kerberos のチケットサイズによっては接続がドロップされる
PD-2586	仮想 IP の統計詳細情報が間違っている
PD-1677	現在、RESTful API を使用して RSA の設定とノード秘密ファイルを LoadMaster にアップロードできない
PD-3681	一部の有効な正規表現が構文エラーになる
PD-3333	ライセンス設定要求に時間がかかってタイムアウトする場合がある
PD-4118	鍵ファイルを別に持つ.pem 証明書をインポートすると、鍵ファイルが見つからないというエラーが発生する。回避策として、証明書と鍵を 1 つのファイルに結合し（cat コマンドを使用）、結合したファイルをアップロードする

Copyright © 2002 – 2018 KEMP Technologies, Inc. All Rights Reserved.
Copyright © 2017 – 2018 FXC Inc. Rights for Japanese is reserved.

29 リリース 7.1-24a

ファームウェアバージョン 7.1-24a に関する詳細は、以下のセクションを参照してください。これは 2015 年 2 月 11 日にリリースされました。

29.1 新機能

- VPN のトンネリングをサポート
- Log Insight アドオンパックを LoadMaster にデフォルトでインストール
- LoadMaster が SafeNet ハードウェアセキュリティモジュール（HSM）に対応
- LoadMaster の FIPS ソフトウェアが、現行の FIPS カードにおいて OpenSSL v1.0.1e をサポート
- OpenStack のサポートを追加

29.2 機能拡張

- SSL 再ネゴシエーションの無効化後に再起動する必要がなくなりました。
- LoadMaster の OpenSSL のバージョンが OpenSSL 1.0.1k に更新されました。
- SSL バーチャルサービスのスレッド上限に達したとき、すべてのバーチャルサービスにおける現在の接続数がログに表示されるようになりました。
- Netstat のログに、リッスンポート、iptables、NAT 情報が追加されました。
- セットアップ完了後、LoadMaster for Azure のコンソールに外部 IP アドレスが表示されるようになりました。
- バーチャルサービス追加用の RESTful API コマンドが改善されました。

29.3 修正された問題

PD-3843	最新の Web アプリケーションファイアウォール（WAF）の安定性を向上
PD-3617	SubVS が停止していてもその SubVS がパーシステンスを維持してしまう問題を修正
PD-3530	LoadMaster への EC 証明書のダウンロードをサポート
PD-3037	LoadMaster for Azure に関し、障害発生後または再起動後に HA マスターユニットが復帰しない問題を修正
PD-2859	一部の HA バックアップが復元できない問題を修正
PD-3773	WAF が有効のときに推奨ホスト HA オプションを使用すると問題が発生していたのを修正
PD-3570	LoadMaster のバックアップファイルにホスト名情報を追加
PD-3467	パスワードのセキュリティ強度に関するメッセージを改善
PD-3404	LoadMaster のコンソールから顧客がサービスプロバイダーライセンス契約（SPLA）にアクセスできない問題を修正

Copyright © 2002 – 2018 KEMP Technologies, Inc. All Rights Reserved.
Copyright © 2017 – 2018 FXC Inc. Rights for Japanese is reserved.

リリース 7.1-24a

PD-3393	ピリオド（.）で始まる完全修飾ドメイン名（FQDN）を削除できない問題を修正
PD-3306	静的経路に関するルーティングの問題を修正
PD-3299	カンマ（,）を含むユーザ名をユーザが変更/削除できない問題を修正
PD-3260	ホームページの統計グラフの保存に関する問題を修正
PD-3221	UTF8 文字を含むエッジセキュリティパック（ESP）パスワードに関する問題を修正
PD-3220	7.1-16 から 7.1-24 以降へのアップグレード時にポルトガルまたはフランス語圏カナダのイメージセットが割り当てられた場合でも、LoadMaster がデフォルトの Exchange イメージセットを使用してトラフィックを処理し続けるように変更
PD-3187	「リダイレクター」SubVS を持つバーチャルサービスのステータス表示に関する問題を修正
PD-2992	CPU 温度統計値の表示に関する問題を修正
PD-3161	逆引き SSL に関する問題を修正
PD-3176	TLStype RESTful API パラメータが保存されない問題を修正
PD-3160	modmap RESTful API コマンドに関する問題を修正
PD-3106	実サーバが無効のときに、RESTful API においてバーチャルサービスのステータスが正しく更新されるように修正
PD-3104	addmap RESTful API コマンドがすべての場合で機能するように修正
PD-3075	ModifyFQDN コマンドで isolateips パラメータを設定しようとすると大量のエラーメッセージが表示される問題を修正

Copyright © 2002 – 2018 KEMP Technologies, Inc. All Rights Reserved.
Copyright © 2017 – 2018 FXC Inc. Rights for Japanese is reserved.

29.4 既知の問題

PD-11023	LoadMaster オペレーティング システム（LMOS）のセッション管理における重大な脆弱性（CVE-2018-0901）により、権限を持たない遠隔地の攻撃者がセキュリティ保護を通過し、システムの実行権限を得て「ls」、「ps」、「cat」といったコマンドが実行できる可能性があります。この実行により、証明書の秘密鍵などの機密データが露出する危険性があります。詳細な情報は、Mitigation For Remote Access Execution Vulnerability を参照してください。
PD-4042	FIPSLoadMaster をバージョン 7.0-10 から 7.1-24a に更新すると、WUI にアクセスできなくなる場合がある。ISO イメージから 7.1-24a をインストールする場合はこの問題は発生しない
PD-3156	Kerberos のチケットサイズによっては接続がドロップされる
PD-2586	仮想 IP の統計詳細情報が間違っている
PD-1677	現在、RESTful API を使用して RSA の設定とノード秘密ファイルを LoadMaster にアップロードできない。ただし、WUI ではアップロードできる
PD-3681	一部の有効な正規表現が構文エラーになる
PD-3333	ライセンス設定要求に時間がかかってタイムアウトする場合がある
PD-3330	ESP および URL の特殊文字に関する問題が存在する

Copyright © 2002 – 2018 KEMP Technologies, Inc. All Rights Reserved.
Copyright © 2017 – 2018 FXC Inc. Rights for Japanese is reserved.

30 リリース 7.1-22b

ファームウェアバージョン 7.1-22b に関する詳細は、以下のセクションを参照してください。これは 2015 年 12 月 3 日にリリースされました。

30.1 機能拡張

- SSL スレッドの上限に関するログを改善

30.2 修正された問題

PD-3287	ドレイン時間を待たずに接続がドレインされてしまう問題を修正
PD-3338	ユニフォームリソースアイデンティファイアー（URI）攻撃に対するセキュリティを強化
PD-3051	パケットフィルター有効時のルーティングおよびサーバ NAT に関する問題を修正
PD-2751	ActiveSync を Exchange 2013 と連動させたときに発生する問題を解決
PD-3349	4K の SSL 鍵により一部の HTTPS バーチャルサービスがオフラインになる問題を修正

30.3 既知の問題

PD-11023	LoadMaster オペレーティング システム（LMOS）のセッション管理における重大な脆弱性（CVE-2018-0901）により、権限を持たない遠隔地の攻撃者がセキュリティ保護を通過し、システムの実行権限を得て「ls」、「ps」、「cat」といったコマンドが実行できる可能性があります。この実行により、証明書の秘密鍵などの機密データが露出する危険性があります。詳細な情報は、Mitigation For Remote Access Execution Vulnerability を参照してください。
PD-2182	ESP に対して Permitted Groups が設定されている場合、ユーザ認証のために LoadMaster が子ドメインにコンタクトしたときに、間違った認証プロンプトがユーザに送信される
PD-2586	仮想 IP の統計詳細情報が間違っている
PD-221	iPhone から LoadMaster の WUI へのアクセスがサポートされていない
PD-3161	リバース SSL が正しく機能しない
PD-3160	RESTful API の modmap コマンドにバグが存在する
PD-3106	実サーバが無効のとき、RESTful API において仮想サーバの状態が更新されない
PD-3104	Selection Criteria を Real Server Load に設定すると、RESTful API の addmap コマンドが機能しない
PD-3075	PowerShell の ModifyFQDN コマンドで isolateips パラメータを設定しようとすると、大量のエラーメッセージが表示される

Copyright © 2002 – 2018 KEMP Technologies, Inc. All Rights Reserved.
Copyright © 2017 – 2018 FXC Inc. Rights for Japanese is reserved.

リリース 7.1-22b

PD-2992	Statistics 画面の温度情報に、1 つの CPU の情報しか表示されない
PD-2893	LoadMaster WUI に同じテンプレートを再度アップロードできてしまう
PD-1677	現在、RESTful API を使用して RSA の設定とノード秘密ファイルを LoadMaster にアップロードできない。ただし、WUI ではアップロードできる

Copyright © 2002 – 2018 KEMP Technologies, Inc. All Rights Reserved.
Copyright © 2017 – 2018 FXC Inc. Rights for Japanese is reserved.

31 リリース 7.1-22

ファームウェアバージョン 7.1-22 に関する詳細は、以下のセクションを参照してください。これは 2014 年 11 月 25 日にリリースされました。

31.1 新機能

- ウェブアプリケーションファイアウォール（WAF）
- 新規テンプレート
- ウェブアプリケーションファイアウォール（WAF）の API コマンド
- API を用いたテンプレートのインポート
- 新規ヘルスチェック
- Azure の新しい課金オプション
- Akamai アドオンパック

31.2 機能拡張

- SSO ドメイン管理画面のレイアウトを改善しました。
- API コマンドを使用してバーチャルサービスと実サーバの状態を取得できるようになりました。
- ロシアのタイムゾーンデータを更新しました。
- アドオン名が、それを作成した LoadMaster のバージョンに基づく名前になりました。
- クラウドベースのバーチャル LoadMaster が、与えられた FQDN に一致するウェブユーザーインターフェイス（WUI）証明書を持つようになりました。
- ユーザをブロックする際、ログオン形式が異なってもユーザ名が同じであれば同じユーザとして扱うようになりました。
- Java API を使用して WUI の任意のポートを設定できるようになりました。
- GEO のセキュリティを強化しました。
- 同じ IP アドレスを持つ複数のバーチャルサービスを、GEO 実サーバ負荷クラスターチェックに追加できるようになりました。
- CVE-1999-0662 の問題を解決するため、BIND のバージョンを 9.9.6-ESV に更新しました。

31.3 修正された問題

PD-2930	“Always check persist”オプションに関する問題を修正
PD-2786	ESP のログをクリアできない問題を修正
PD-2750	レイヤー4 バーチャルサービスを作成/編集すると接続がドロップされる問題を修正

Copyright © 2002 – 2018 KEMP Technologies, Inc. All Rights Reserved.
Copyright © 2017 – 2018 FXC Inc. Rights for Japanese is reserved.

リリース 7.1-22

PD-2719	ボンディングインターフェイスを持つユニットにおけるメモリの問題を修正
PD-2707	チェックサムが 0 の UDP パケットが LoadMaster により破壊されないように修正
PD-3086	“Use Address for Server NAT”および SubVS に関する問題を修正
PD-2767	許可されたグループが、ログイン時にプリンシパル名を使用できるよう修正
PD-2557	Microsoft（および他のベンダー）の RADIUS サーバと連動して RADIUS 認証を行うよう修正
PD-3023	パーシステンスとクッキーに関する問題を修正
PD-2656	RESTful API の aclcontrol コマンドが正しいユーザーパーミッションを使用するよう修正
PD-2574	非 ASCII 文字を含むパスワードにより引き起こされる問題（ESP および ActiveSync に関する問題）を解決
PD-2756	GEO に関するいくつかのバグを修正。例えば、インターフェイスにて Use for GEO オプションが有効のとき、指定した追加アドレスにて GEO がリッスンできるよう修正
PD-3199	以下のセキュリティリスクを軽減する対策を追加 – CVE-2014-3566 (“POODLE”).

31.4 既知の問題

PD-11023	LoadMaster オペレーティング システム（LMOS）のセッション管理における重大な脆弱性（CVE-2018-0901）により、権限を持たない遠隔地の攻撃者がセキュリティ保護を通過し、システムの実行権限を得て「ls」、「ps」、「cat」といったコマンドが実行できる可能性があります。この実行により、証明書の秘密鍵などの機密データが露出する危険性があります。詳細な情報は、Mitigation For Remote Access Execution Vulnerability を参照してください。
PD-2182	ESP に対して Permitted Groups が設定されている場合、ユーザ認証のために LoadMaster が子ドメインにコンタクトしたときに、間違った認証プロンプトがユーザに送信される
PD-2586	仮想 IP の統計詳細情報が間違っている
PD-221	iPhone から LoadMaster の WUI へのアクセスがサポートされていない
PD-2751	フォームベースの認証で ActiveSync を使用すると、SSO ドメインの接続が時々ドロップされる
PD-3161	リバース SSL が正しく機能しない
PD-3160	RESTful API の modmap コマンドにバグが存在する
PD-3106	実サーバが無効のとき、RESTful API において仮想サーバの状態が更新されない
PD-3104	Selection Criteria を Real Server Load に設定すると、RESTful API の addmap コマンドが機能しない
PD-3075	PowerShell の ModifyFQDN コマンドで isolateips パラメータを設定しようとすると、大量のエラーメッセージが表示される

Copyright © 2002 – 2018 KEMP Technologies, Inc. All Rights Reserved.
Copyright © 2017 – 2018 FXC Inc. Rights for Japanese is reserved.

リリース 7.1-22

PD-2992	Statistics 画面の温度情報に、1 つの CPU の情報しか表示されない
PD-2893	LoadMaster WUI に同じテンプレートを再度アップロードできてしまう
PD-1677	現在、RESTful API を使用して RSA の設定とノード秘密ファイルを LoadMaster にアップロードできない。ただし、WUI ではアップロードできる

Copyright © 2002 – 2018 KEMP Technologies, Inc. All Rights Reserved.
Copyright © 2017 – 2018 FXC Inc. Rights for Japanese is reserved.

32 リリース 7.1-20d

32.1 機能拡張

- バーチャル LoadMaster for Azure を Microsoft Gallery に含めることができるよう変更しました。
- シェルショックの脆弱性を軽減するため、ファームウェアを更新しました。

32.2 既知の問題

PD-11023	LoadMaster オペレーティング システム（LMOS）のセッション管理における重大な脆弱性（CVE-2018-0901）により、権限を持たない遠隔地の攻撃者がセキュリティ保護を通過し、システムの実行権限を得て「ls」、「ps」、「cat」といったコマンドが実行できる可能性があります。この実行により、証明書の秘密鍵などの機密データが露出する危険性があります。詳細な情報は、Mitigation For Remote Access Execution Vulnerability を参照してください。
PD-2182	ESP に対して Permitted Groups が設定されている場合、ユーザ認証のために LoadMaster が子ドメインにコンタクトしたときに、間違った認証プロンプトがユーザに送信される
PD-2586	仮想 IP の統計詳細情報が間違っている
PD-2656	RESTful API の aclcontrol コマンドが適切なユーザーパーミッションを持っていない
PD-221	iPhone から LoadMaster の WUI へのアクセスがサポートされていない
PD-2574	パスワードに一部の非 ASCII 文字が含まれていると、ESP や ActiveSync に問題が発生する
PD-2751	フォームベースの認証で ActiveSync を使用すると、SSO ドメインの接続が時々ドロップされる
PD-2750	他のレイヤ 4 バーチャルサービスを作成/変更すると、一部のアクティブなレイヤ 4 バーチャルサービスの接続が時々ドロップされる

Copyright © 2002 – 2018 KEMP Technologies, Inc. All Rights Reserved.
Copyright © 2017 – 2018 FXC Inc. Rights for Japanese is reserved.

33 リリース 7.1-20a

33.1 新機能

- LoadMaster に VMware vCenter Log Insight を組み込むための新規アドオンパック
- 新しい Log Insight アドオンを活用するための新規テンプレート
- 新しいベアメタルプラットフォームのサポート:富士通 Primergy
- Kerberos Constrained Delegation（KCD）のサポート
- GEO リッスンインターフェイス指定機能
- 複数のインターフェイスによる GEO 要求リッスン機能
- GEO API コマンドを追加
- ウェブアプリケーションファイアウォール（WAF） – ベータリリース

33.2 機能拡張

- OpenSSL のバージョンが 1.01i にアップグレードされました。
- SSL/TLS の DHE 交換鍵の強度が強化されました。
- Manage SSO 画面に、新たに Domain/Realm フィールドが追加されました。
- WUI で使用される証明書に、Azure/AWS で使用される公開名を使用できるようになりました。
- Azure の新しい要件を実装

33.3 修正された問題

PD-2267	状況によって LoadMaster のログ作成プロセスがソリッドステートドライブ（SSD）を著しく消耗させる問題を修正
PD-2648	SSO マネージャに関するメモリの問題を修正
PD-2380	バックアップ成功通知のログレベルを変更
PD-2598	パーマネント ESP クッキーと SubVS に関する問題を修正
PD-2559	SSL バーチャルサービスがクラッシュすることがある問題を修正
PD-2485	Web ユーザーインターフェイス（WUI）における 100-Continue オプションを明確化
PD-1728	端末サービスのパーシステンシーが正しく設定されない問題を修正
PD-1717	インターフェイスのアドレスを変更すると、LoadMaster をリブートするまで追加のアドレスが機能しなくなる問題を修正
PD-2349	HTTPS 情報を送信するためのヘッダ経由の再暗号化を作り直し
PD-2252	チェックされないインターフェイスが Gratuitous ARP を送信しない問題を修正
PD-2341	SNMP が SubVS の正しい状態を通知しない問題を修正
PD-2466	HA の一部の静的設定が前の値に戻ってしまう問題を修正
PD-2310	ESP for SMTP が拡張 SMTP（ESMTP）のチャンキングを処理できるように修正

Copyright © 2002 – 2018 KEMP Technologies, Inc. All Rights Reserved.
Copyright © 2017 – 2018 FXC Inc. Rights for Japanese is reserved.

PD-2481	ワイルドカードバーチャルサービスに関するメモリの問題を修正
PD-2508	ESP グループが同じドメインの他のバーチャルサービスにアクセスできる問題を修正
PD-2560	より厳密に RFC に準拠するため、IMAP のヘルスチェックを強化
PD-2641	WUI SSL の暗号強度を強化
PD-2645	統計情報が適切な間隔で更新されない問題を修正
PD-2544	GEO のワイルドカード FQDN を編集できるように修正
PD-2536	Allow Administrative WUI Access オプションが、追加インターフェイスの HA 共有 IP アドレス上で正しく動作するように修正
PD-2253	HA アクティブユニットに関するメモリの問題を修正
PD-2101	AzureLoadMaster がリブート後に起動しない問題を修正
PD-2707	クライアントから送信されたチェックサムが 0 の UDP パケットがブロックされる問題を修正
PD-2887	証明書内のサブジェクト代替名（SAN）が認証で使用されるように修正
PD-2897	ボンディングインターフェイスに関するメモリの問題を修正

33.4 既知の問題

- LoadMaster オペレーティング システム（LMOS）のセッション管理における重大な脆弱性（CVE-2018-0901）により、権限を持たない遠隔地の攻撃者がセキュリティ保護を通過し、システムの実行権限を得て「ls」、「ps」、「cat」といったコマンドが実行できる可能性があります。この実行により、証明書の秘密鍵などの機密データが露出する危険性があります。詳細な情報は、Mitigation For Remote Access Execution Vulnerability を参照してください。
- ESP に対して Permitted Groups が設定されている場合、ユーザ認証のために LoadMaster が子ドメインにコンタクトしたときに、間違った認証プロンプトがユーザに送信される
- 仮想 IP の統計詳細情報が間違っている
- RESTful API の aclcontrol コマンドが適切なユーザーパーミッションを持っていない
- iPhone から LoadMaster の WUI へのアクセスがサポートされていない
- パスワードに一部の非 ASCII 文字が含まれていると、ESP や ActiveSync に問題が発生する
- フォームベースの認証で ActiveSync を使用すると、SSO ドメインの接続が時々ドロップされる
- 他のレイヤ 4 バーチャルサービスを作成/変更すると、一部のアクティブなレイヤ 4 バーチャルサービスの接続が時々ドロップされる

Copyright © 2002 – 2018 KEMP Technologies, Inc. All Rights Reserved.
Copyright © 2017 – 2018 FXC Inc. Rights for Japanese is reserved.

34 リリース 7.1-18b

34.1 新機能

- VMware vCenter Operations Management Pack をリリース
- Azure ハイアベイラビリティ（HA）の機能拡張
  a) Azure HA モードのヘルスチェック
  b) Azure HA モードのリモート同期
  c) Azure HA モードの WUI の変更

- GEO の機能拡張：フェールオーバーやパブリック/プライベートサイトの隔離を実現する GEO の新機能を追加しました。また、GEO の 2 つの選択基準オプションの名前を、その機能をより的確に表すものに変更しました（"Location Based"を"Proximity"に、"Regional"を"Location Based"に変更）。
- Hyper-V ツールのサポートを追加
- SNI ホスト名の新しい再暗号化オプション

34.2 機能拡張

- Exchange 2013 のテンプレートに Exchange 2013 SP1 を反映
- HTTPS 1.1 ヘルスチェックのホストヘッダーがサーバーネームインジケーション（SNI）のサーバ名として渡されるように変更
- 複数のインターフェイスにてウェブユーザーインターフェイス（WUI）にアクセスできるように変更
- CVE-2014-5287 および CVE-2014-5288 の脆弱性を軽減するため、ファームウェアを更新しました。貢献者 – Roberto Suggi Liverani

34.3 修正された問題

PD-2270	AWS においてライセンス設定後に再起動が必要な問題を修正
PD-2292	VMware システムの L7 トランスペアレンシー/レイテンシーに関する問題を修正
PD-2407	ウェブユーザーインターフェイス（WUI）において、一部のパーシステンスモードを選択できない問題を修正
PD-2421	VMware ワークステーション上で LoadMaster の OS がパニックになるのを防止
PD-2445	同じ IP とポートの組み合わせを使用する TCP バーチャルサービスが存在すると UDP バーチャルサービスが機能しなくなる問題を修正
PD-2365	LoadMaster for AWS に対し、Amazon のポリシーに関する改善を実施
PD-2183	セキュリティに関する問題を解決するため、WUI の入力をサニタイズする機能を追加 – CVE-2014-5287 と CVE-2014-5288 に関するセキュリティの修正

Copyright © 2002 – 2018 KEMP Technologies, Inc. All Rights Reserved.
Copyright © 2017 – 2018 FXC Inc. Rights for Japanese is reserved.

リリース 7.1-18b

PD-2205	Windows 8.1 のリモートデスクトップサービスを有効にするため、許可された新規 HTTP メソッドを追加
PD-2131	LoadMaster の再起動を引き起こす可能性のあったレイヤー7 UDP サービスの問題を修正
PD-2120	レイヤー4 FTP に関する問題を修正
PD-2082	設定の自動バックアップで SSO の設定がバックアップされるように修正
PD-1939	設定の手動バックアップで SSO の設定がバックアップされるように修正
PD-2065	"Use Session or Permanent Cookies"という新しい ESP オプションを追加。SharePoint で ESP を正しく動作させるには、パーマネントクッキーを使用するようこのオプションを設定する必要がある
PD-2043	RESTful API の"ciphers"パラメータの最大文字数を 1023 に拡張
PD-1989	ESP オプションの"Logoff String"フィールドでアンダースコアを使用できるように修正
PD-1984	ロックされたユーザに関する偽のログメッセージを削除
PD-1972	SSL 再暗号化を有効にしたときに、各バーチャルサービスのサブネットを送信元とするアドレッシングが機能しない問題を修正
PD-1958	"Additional Headers"フィールドを表示すべきところで表示されていなかったシナリオで"Additional Headers"フィールドを追加
PD-1952	SSO ドメインの"Test User Password"フィールドにスペースを追加すると他のフィールドで問題が発生していたのを修正
PD-1936	HTTP POST のヘルスチェックですべての情報が実サーバに送信されるように修正
PD-1935	削除した仮想サーバにより WUI に偽のメッセージが表示される問題を修正
PD-1932	ESP により有効なリクエストが拒否されることがある問題を修正
PD-1857	Exchange テンプレートを再構築
PD-1849	LDAP SSO ドメインの"Test User"フィールドでバックスラッシュを入力できるように修正
PD-1941	GEO クラスタ同期に関する不要なオプションを削除
PD-2309	キャッシュと圧縮を有効にしたときに、LoadMaster の内側にある Web サイトの応答が遅くなる問題を修正
PD-2275	スレッドカウントを増やしてスループットを改善
PD-2474	SubVS が親のバーチャルサービス設定に基づき HTTP/HTTPS を決定するように変更

34.4 既知の問題

- LoadMaster オペレーティング システム（LMOS）のセッション管理における重大な脆弱性（CVE-2018-0901）により、権限を持たない遠隔地の攻撃者がセキュリティ保護を通過し、システムの実行権限を得て「ls」、「ps」、「cat」といったコマンドが実行できる可能性があります。この実行により、証明書の秘密鍵などの機密データが露出する危険性があります。詳細な情報は、Mitigation For Remote Access Execution Vulnerability を参照してください。
- GEO のヘルスチェック間隔が設定と異なる
- SNMP クライアントを設定するための RESTful API コマンドが、IP アドレスのみサポートしてホスト名をサポートしてない（WUI のオプションは両方をサポート）

Copyright © 2002 – 2018 KEMP Technologies, Inc. All Rights Reserved.
Copyright © 2017 – 2018 FXC Inc. Rights for Japanese is reserved.

リリース 7.1-18b

- IPv4 のアドレスを編集すると、再起動するまで IPv6 のアドレスが応答しなくなる
- RSA の設定ファイルおよびノードシークレットファイルをアップロードするためのオプションが RESTful API インターフェイスに用意されていない（WUI からは実行可能）
- NTP ホストを設定するための RESTful API コマンドにおいて、設定すべき URL を指定できない

Copyright © 2002 – 2018 KEMP Technologies, Inc. All Rights Reserved.
Copyright © 2017 – 2018 FXC Inc. Rights for Japanese is reserved.

35 リリース 7.1-16b

35.1 新機能

- Amazon Web サービス（AWS）のサポートを追加

35.2 修正された問題

PD-2123	SSL/TLS MITM の脆弱性（CVE-2014-0224）の修正。OpenSSL のバージョンを 1.0.1h に更新

35.3 既知の問題

- LoadMaster オペレーティング システム（LMOS）のセッション管理における重大な脆弱性（CVE-2018-0901）により、権限を持たない遠隔地の攻撃者がセキュリティ保護を通過し、システムの実行権限を得て「ls」、「ps」、「cat」といったコマンドが実行できる可能性があります。この実行により、証明書の秘密鍵などの機密データが露出する危険性があります。詳細な情報は、Mitigation For Remote Access Execution Vulnerability を参照してください。
- IPv4 のアドレスを変更すると、IPv6 で問題が発生する
- デフォルトゲートウェイが他のインターフェイス上にあるとき、SNMP にて LoadMaster をポーリングすると問題が発生する
- iPhone から LoadMaster の WUI へのアクセスがサポートとされていない
- "Real Servers are Local"オプションが期待どおりに動作しない

Copyright © 2002 – 2018 KEMP Technologies, Inc. All Rights Reserved.
Copyright © 2017 – 2018 FXC Inc. Rights for Japanese is reserved.

36 リリース 7.1-16

36.1 新機能

- サブスクリプションベースの LoadMaster の新しいオンラインライセンスモデルを実装
- レイヤー7 の UDP を完全サポート
- UDP レイヤー7 のパーシステンス
- LoadMaster OS が Linux kernel 3.10.28 上で動作
- SubVS を持つバーチャルサービスのコピーをサポート

36.2 機能拡張

- "SNMP Location"テキストボックスにてセミコロンが使えるようになりました。
- ある SSO ドメインのいずれかのバーチャルサービスにて ESP が無効になっているとき、その SSO ドメインを削除できるようになりました。
- HTTP の"report"メソッドがサポートされました。
- SSO のイメージセットを更新したとき、その変更が自動的に反映されるようになりました。
- RESTful API のエラーコードを更新しました。REST オブジェクトが存在しない場合は 404 エラーを返し、その他の場合は 200 とエラーコードを返します。
- RESTful API の GET レスポンスと該当する SET コマンドとの整合性が確保されました。
- Websocket 接続をサポート
- "Always Check Persist"フィールドに新しいオプションが追加されました。これにより、接続の途中でもパーシステンスの変更を保存できるようになりました。
- テンプレートにおいて、コンテンツ規則を持つサービスを再利用できるようになりました。
- ユーザが LDAP サーバの代替ポートを指定できるようになりました。

36.3 修正された問題

PD-1746	圧縮に関する統計情報が負の値になることがある問題を修正
PD-1704	ウェブユーザーインターフェイス（WUI）において、バーチャルサービスに対して 510 個を超えるポートを設定できてしまう問題を修正
PD-1678	セキュリティの脆弱性に関する問題を修正
PD-1676	ドメイン名を持つ実サーバの無効化に関する問題を修正
PD-1430	SSL 再暗号化が有効になっているバーチャルサービスを使用して、ユーザが Sorry サーバを利用できるように修正

Copyright © 2002 – 2018 KEMP Technologies, Inc. All Rights Reserved.
Copyright © 2017 – 2018 FXC Inc. Rights for Japanese is reserved.

36.4 既知の問題

- LoadMaster オペレーティング システム（LMOS）のセッション管理における重大な脆弱性（CVE-2018-0901）により、権限を持たない遠隔地の攻撃者がセキュリティ保護を通過し、システムの実行権限を得て「ls」、「ps」、「cat」といったコマンドが実行できる可能性があります。この実行により、証明書の秘密鍵などの機密データが露出する危険性があります。詳細な情報は、Mitigation For Remote Access Execution Vulnerability を参照してください。
- IPv4 のアドレスを変更すると、IPv6 で問題が発生する
- デフォルトゲートウェイが他のインターフェイス上にあるとき、SNMP にて LoadMaster をポーリングすると問題が発生する
- iPhone から LoadMaster の WUI へのアクセスがサポートとされていない
- "Real Servers are Local"オプションが期待どおりに動作しない

Copyright © 2002 – 2018 KEMP Technologies, Inc. All Rights Reserved.
Copyright © 2017 – 2018 FXC Inc. Rights for Japanese is reserved.

37 リリース 7.0-14c

37.1 修正された問題

PD-1754	OpenSSL 版のバージョンを 1.0.1g にアップグレードし HeartBleed のバグによる脆弱性を解決
PD-1702	グループパーミッションを使用し、同じ SSO ドメインを使用している複数のバーチャルサービスに関する問題を修正
PD-1705	ハイアベイラビリティ（HA）のボンディングに関する問題を修正
PD-1706	SMTP サービスにて ESP を有効にしたときに誤ったエラーメッセージが表示されないように修正
PD-1709	LDAPS/LDAP StartTLS の認証プロトコルおよび SSO サーバに関する問題を修正
PD-1714	ESP が有効な SMTP サービスがトラフィックを正しく渡せるように修正

37.2 既知の問題

- LoadMaster オペレーティング システム（LMOS）のセッション管理における重大な脆弱性（CVE-2018-0901）により、権限を持たない遠隔地の攻撃者がセキュリティ保護を通過し、システムの実行権限を得て「ls」、「ps」、「cat」といったコマンドが実行できる可能性があります。この実行により、証明書の秘密鍵などの機密データが露出する危険性があります。詳細な情報は、Mitigation For Remote Access Execution Vulnerability を参照してください。
- Hyper-V バーチャル LoadMaster（VLM）において、マシンを再起動するまで代替 NIC IP アドレスが正しく設定されない
- シングルユニットから HA モードに切り替える際、HA 設定時にローカル IP を変更すると WUI との通信が切断される
- ブロックされたユーザのリストにおいて、同じユーザが複数表示される場合がある
- iPhone から LoadMaster の WUI へのアクセスがサポートとされていない
- 既存のバーチャルサービスがテンプレートを使用して作成されたものである場合、テンプレートから Exchange Virtual Service をインストールできない

Copyright © 2002 – 2018 KEMP Technologies, Inc. All Rights Reserved.
Copyright © 2017 – 2018 FXC Inc. Rights for Japanese is reserved.

38 リリース 7.0-14a

38.1 新機能

- RSA の複数要素認証をサポートしました。

38.2 既知の問題

- LoadMaster オペレーティング システム（LMOS）のセッション管理における重大な脆弱性（CVE-2018-0901）により、権限を持たない遠隔地の攻撃者がセキュリティ保護を通過し、システムの実行権限を得て「ls」、「ps」、「cat」といったコマンドが実行できる可能性があります。この実行により、証明書の秘密鍵などの機密データが露出する危険性があります。詳細な情報は、Mitigation For Remote Access Execution Vulnerability を参照してください。
- Hyper-V バーチャル LoadMaster（VLM）において、マシンを再起動するまで代替 NIC IP アドレスが正しく設定されない
- シングルユニットから HA モードに切り替える際、HA 設定時にローカル IP を変更すると WUI との通信が切断される
- ブロックされたユーザのリストにおいて、同じユーザが複数表示される場合がある
- iPhone から LoadMaster の WUI へのアクセスがサポートとされていない
- 既存のバーチャルサービスがテンプレートを使用して作成されたものである場合、テンプレートから Exchange Virtual Service をインストールできない

Copyright © 2002 – 2018 KEMP Technologies, Inc. All Rights Reserved.
Copyright © 2017 – 2018 FXC Inc. Rights for Japanese is reserved.

39 リリース 7.0-14

39.1 新機能

- ソフトウエアアップデートのオンラインチェック
- アドオンパッケージのサポート
- VMware ツールのサポート
- 第 2 フェーズのエッジセキュリティパック（ESP）のサポート
  - カスタマイズ可能なログインフォーム
  - ESP ログインフォームのパブリック/プライベートオプション
  - ユーザのソフトロックのサポート
  - ESP の許容負荷の増大
  - 認証サーバに対して RADIUS を選択可能
- Amazon Web サービス（AWS）用 LoadMaster
- VMware Horizon Workspace 用テンプレートのサポート

39.2 機能拡張

- ローカルコンソールにてパスワードをリセットする際の情報を追加
- Web ユーザーインターフェイス（WUI）におけるレガシーハートビートオプションの表示を非表示に変更
- SNI の設定においてワイルドカード認証の照合を追加

39.3 修正された問題

PD-890	自動バックアップのパスワードで非英数字を使用したときに発生する問題を修正
PD-1200	メモリが大きい LoadMaster にて高いキャッシュ使用率を設定したときに発生する問題を修正
PD-1284	実サーバを無効にしたときの統計情報に関する問題を修正
PD-1498	HA の推奨ホストを使用すると両方のユニットがスタンバイになることがある問題を修正
PD-1404	SubVS が"Use of SNAT"（SNAT を使用）設定を受け付けるように修正
PD-1452	間違った機器にバックアップが復元される（例えば、HA のバックアップがシングルシステムに復元される）のを防ぐように修正
PD-1539	HA に関するいくつかの小規模な問題を修正
PD-1206	SNMP および SubVS に関する問題を修正

Copyright © 2002 – 2018 KEMP Technologies, Inc. All Rights Reserved.
Copyright © 2017 – 2018 FXC Inc. Rights for Japanese is reserved.

39.4 既知の問題

- LoadMaster オペレーティング システム（LMOS）のセッション管理における重大な脆弱性（CVE-2018-0901）により、権限を持たない遠隔地の攻撃者がセキュリティ保護を通過し、システムの実行権限を得て「ls」、「ps」、「cat」といったコマンドが実行できる可能性があります。この実行により、証明書の秘密鍵などの機密データが露出する危険性があります。詳細な情報は、Mitigation For Remote Access Execution Vulnerability を参照してください。
- Hyper-V バーチャル LoadMaster（VLM）において、マシンを再起動するまで代替 NIC IP アドレスが正しく設定されない
- シングルユニットから HA モードに切り替える際、HA 設定時にローカル IP を変更すると WUI との通信が切断される
- ロックされたユーザのロックを解除する機能が動作しないブラウザがある（Chrome と Internet Explorer で問題が発生する）
- ブロックされたユーザのリストにおいて、同じユーザが複数表示される場合がある
- iPhone から LoadMaster の WUI へのアクセスがサポートとされていない
- 既存のバーチャルサービスがテンプレートを使用して作成されたものである場合、テンプレートから Exchange Virtual Service をインストールできない

Copyright © 2002 – 2018 KEMP Technologies, Inc. All Rights Reserved.
Copyright © 2017 – 2018 FXC Inc. Rights for Japanese is reserved.

40 リリース 7.0-12a

バージョン 7.0-12a 以降の LoadMaster では、LM-2500 および LM-3500 をサポートしていません。これらのモデル、および FIPS モデルは、バージョン 7.0-10 以前でサポートしています。

40.1 新機能

- SSL のパフォーマンス最適化
- Oracle Sun x86 サーバのサポート
- HP ProLiant サーバのサポート
- VMWare vSphere 5.5 のサポート
- ライセンスに関する情報を LoadMaster の WUI ホーム画面に表示可能になるなど、自動ライセンス設定/サポートインフラストラクチャーに対してさまざまな機能が追加され、LoadMaster のライセンス機能が強化されました。
- Windows 2012 R2 Hyper-V バーチャル LoadMaster（VLM）
- アイドルタイムアウトとセッションタイムアウトが設定可能となり、アイドルタイムアウトとセッションタイムアウトを切り替えられるようになりました。

40.2 機能拡張

- RESTful API にコマンドと機能を追加
- バックアップファイルにライセンス情報を追加

40.3 修正された問題

PD-797	ライセンス更新後に発生するパケットルーティングフィルターに関する問題を修正
PD-839	SNMP トラップ生成を拡張するための設定変更を行う改善されたレイヤー4 処理を追加
PD-934	SubVS 間におけるパーシステンシーの共有に関する問題を修正
PD-1023	大量のインターフェイスを追加したときに発生する HA フェールオーバーに関する問題を修正
PD-1043	アクセスコントロールリストおよび IPv6 に関する問題を修正
PD-1070	HA の'Forced Switchover'機能を削除
PD-1089	新規サーバにおける Use Address for Server NAT（サーバ NAT のアドレスを使用する）オプションに関する問題を修正
PD-1094	RESTful API を使用して適応スケジューリングを用いたバーチャルサービスを作成する際に発生する問題を修正
PD-452	Hyper-V VLM における VLAN トランクに関する問題を修正

Copyright © 2002 – 2018 KEMP Technologies, Inc. All Rights Reserved.
Copyright © 2017 – 2018 FXC Inc. Rights for Japanese is reserved.

PD-1174	セキュリティの脆弱性（CVE-2004-0230）を修正。セキュリティテストを実行するとこの脆弱性がレポートされるが、これは、セキュリティテストがカーネルのバージョンをチェックするためである。この修正は LoadMaster にバックポートされているが、カーネルのバージョンは更新されていない。そのため、この問題は既に存在していないにもかかわらず、この脆弱性がレポートされる
PD-1144	Exchange 2013 にてカレンダーを公開する際に発生する ESP に関する問題を修正

40.4 既知の問題

- LoadMaster オペレーティング システム（LMOS）のセッション管理における重大な脆弱性（CVE-2018-0901）により、権限を持たない遠隔地の攻撃者がセキュリティ保護を通過し、システムの実行権限を得て「ls」、「ps」、「cat」といったコマンドが実行できる可能性があります。この実行により、証明書の秘密鍵などの機密データが露出する危険性があります。詳細な情報は、Mitigation For Remote Access Execution Vulnerability を参照してください。
- iPhone から LoadMaster の WUI へのアクセスがサポートとされていない
- HA ペアのいずれのユニットにもネットコンソール IP が直ちに適用されない
- 自動 FTP バックアップで特殊文字を使用できない
- IP アドレスを DHCP のみから取得した場合、HA の共有/パートナーIP アドレスを直ちに設定できない。この問題を回避するには、IP アドレスを再度設定する
- 代替アドレスとして IPv6 を追加し、IPv6 バーチャルサービスを作成し、アクセスコントロールリストを作成したときに、再起動をする必要がある。アクセスコントロールリストにエントリを追加する前に再起動する必要がある
- GEO LM において、DNS リクエストを受信するためのインターフェイスの代替アドレスを指定できない
- バーチャル LoadMaster において、マシンを再起動するまで代替 NIC IP アドレスの設定が反映されない

Copyright © 2002 – 2018 KEMP Technologies, Inc. All Rights Reserved.
Copyright © 2017 – 2018 FXC Inc. Rights for Japanese is reserved.

41 リリース 7.0-10i

41.1 修正された問題

PD-3643	POODLE の脆弱性を軽減するため、暗号リストを RC4-SHA に制限

41.2 既知の問題

- LoadMaster オペレーティング システム（LMOS）のセッション管理における重大な脆弱性（CVE-2018-0901）により、権限を持たない遠隔地の攻撃者がセキュリティ保護を通過し、システムの実行権限を得て「ls」、「ps」、「cat」といったコマンドが実行できる可能性があります。この実行により、証明書の秘密鍵などの機密データが露出する危険性があります。詳細な情報は、Mitigation For Remote Access Execution Vulnerability を参照してください。
- Hyper-V VLM において、トランクされた VLAN が許可されない
- 自動 FTP バックアップで特殊文字を使用できない
- iPhone から LoadMaster の WUI へのアクセスがサポートされていない
- 特殊な条件において、暗号化用 ASIC ドライバで一時的な問題が発生する

Copyright © 2002 – 2018 KEMP Technologies, Inc. All Rights Reserved.
Copyright © 2017 – 2018 FXC Inc. Rights for Japanese is reserved.

42 リリース 7.0-10h

42.1 修正された問題

PD-3146	以下のセキュリティリスクを軽減する対策を追加（CVE-2014-3566 [POODLE]）
PD-3201	SSL の弱い暗号化方式を無効にできるオプションを追加

42.2 既知の問題

- LoadMaster オペレーティング システム（LMOS）のセッション管理における重大な脆弱性（CVE-2018-0901）により、権限を持たない遠隔地の攻撃者がセキュリティ保護を通過し、システムの実行権限を得て「ls」、「ps」、「cat」といったコマンドが実行できる可能性があります。この実行により、証明書の秘密鍵などの機密データが露出する危険性があります。詳細な情報は、Mitigation For Remote Access Execution Vulnerability を参照してください。
- Hyper-V VLM において、トランクされた VLAN が許可されない
- 自動 FTP バックアップで特殊文字を使用できない
- iPhone から LoadMaster の WUI へのアクセスがサポートとされていない
- iPhone から LoadMaster の WUI へのアクセスがサポートされていない
- HA の'Force Switchover'ボタンが正しく機能しない

Copyright © 2002 – 2018 KEMP Technologies, Inc. All Rights Reserved.
Copyright © 2017 – 2018 FXC Inc. Rights for Japanese is reserved.

43 リリース 7.0-10g

43.1 修正された問題

PD-2976	以下のセキュリティリスクを軽減する対策を追加 – CVE-2014-6271 および CVE-2014-7169

43.2 既知の問題

- LoadMaster オペレーティング システム（LMOS）のセッション管理における重大な脆弱性（CVE-2018-0901）により、権限を持たない遠隔地の攻撃者がセキュリティ保護を通過し、システムの実行権限を得て「ls」、「ps」、「cat」といったコマンドが実行できる可能性があります。この実行により、証明書の秘密鍵などの機密データが露出する危険性があります。詳細な情報は、Mitigation For Remote Access Execution Vulnerability を参照してください。
- Hyper-V VLM において、トランクされた VLAN が許可されない
- 自動 FTP バックアップで特殊文字を使用できない
- iPhone から LoadMaster の WUI へのアクセスがサポートとされていない
- iPhone から LoadMaster の WUI へのアクセスがサポートされていない
- HA の'Force Switchover'ボタンが正しく機能しない

Copyright © 2002 – 2018 KEMP Technologies, Inc. All Rights Reserved.
Copyright © 2017 – 2018 FXC Inc. Rights for Japanese is reserved.

44 リリース 7.0-10f

44.1 修正された問題

PD-2274	状況によって LoadMaster のログ作成プロセスがソリッドステートドライブ（SSD）を著しく消耗させる問題を修正
PD-2376	セキュリティを強化するために、Web ユーザーインターフェイス（WUI）における入力をサニタイズする機能を追加 – CVE-2014-5287 および CVE-2014-5288 に対する修正

44.2 既知の問題

- LoadMaster オペレーティング システム（LMOS）のセッション管理における重大な脆弱性（CVE-2018-0901）により、権限を持たない遠隔地の攻撃者がセキュリティ保護を通過し、システムの実行権限を得て「ls」、「ps」、「cat」といったコマンドが実行できる可能性があります。この実行により、証明書の秘密鍵などの機密データが露出する危険性があります。詳細な情報は、Mitigation For Remote Access Execution Vulnerability を参照してください。
- Hyper-V VLM において、トランクされた VLAN が許可されない
- 自動 FTP バックアップで特殊文字を使用できない
- iPhone から LoadMaster の WUI へのアクセスがサポートとされていない
- iPhone から LoadMaster の WUI へのアクセスがサポートされていない
- HA の'Force Switchover'ボタンが正しく機能しない

Copyright © 2002 – 2018 KEMP Technologies, Inc. All Rights Reserved.
Copyright © 2017 – 2018 FXC Inc. Rights for Japanese is reserved.

45 リリース 7.0-10e

45.1 修正された問題

PD-2123	CVE-2014-0224 に関するセキュリティの修正

45.2 既知の問題

- LoadMaster オペレーティング システム（LMOS）のセッション管理における重大な脆弱性（CVE-2018-0901）により、権限を持たない遠隔地の攻撃者がセキュリティ保護を通過し、システムの実行権限を得て「ls」、「ps」、「cat」といったコマンドが実行できる可能性があります。この実行により、証明書の秘密鍵などの機密データが露出する危険性があります。詳細な情報は、Mitigation For Remote Access Execution Vulnerability を参照してください。
- Hyper-V VLM において、トランクされた VLAN が許可されない
- 自動 FTP バックアップで特殊文字を使用できない
- iPhone から LoadMaster の WUI へのアクセスがサポートとされていない
- iPhone から LoadMaster の WUI へのアクセスがサポートされていない
- HA の'Force Switchover'ボタンが正しく機能しない

Copyright © 2002 – 2018 KEMP Technologies, Inc. All Rights Reserved.
Copyright © 2017 – 2018 FXC Inc. Rights for Japanese is reserved.

46 リリース 7.0-10d

46.1 修正された問題

PD-1413	CVE-2004-0230 に関するセキュリティの修正
PD-1487	ESP に対する XSS 攻撃に関するセキュリティの修正
PD-1617	ドライバ更新:ixgbe ドライバを 3.18.7 に更新
PD-1925	HA スタンバイユニットを設定するとサービスが停止する場合がある問題を修正
PD-1931	偽のメッセージが表示される問題を修正
PD-1965	ESP バーチャルサービスへのログインがブロックされる可能性がある問題を修正

46.2 既知の問題

- LoadMaster オペレーティング システム（LMOS）のセッション管理における重大な脆弱性（CVE-2018-0901）により、権限を持たない遠隔地の攻撃者がセキュリティ保護を通過し、システムの実行権限を得て「ls」、「ps」、「cat」といったコマンドが実行できる可能性があります。この実行により、証明書の秘密鍵などの機密データが露出する危険性があります。詳細な情報は、Mitigation For Remote Access Execution Vulnerability を参照してください。
- Hyper-V VLM において、トランクされた VLAN が許可されない
- 自動 FTP バックアップで特殊文字を使用できない
- iPhone から LoadMaster の WUI へのアクセスがサポートとされていない
- iPhone から LoadMaster の WUI へのアクセスがサポートされていない
- HA の'Force Switchover'ボタンが正しく機能しない

Copyright © 2002 – 2018 KEMP Technologies, Inc. All Rights Reserved.
Copyright © 2017 – 2018 FXC Inc. Rights for Japanese is reserved.

47 リリース 7.0-10

47.1 新機能

- Lync 2013 テンプレート
- Windows 2012 Hyper-V バーチャル LoadMaster（VLM）
- Windows 8 Hyper-V バーチャル LoadMaster（VLM）

47.2 機能拡張

- RESTful API にコマンドを追加
- WUI 内のハイパーリンクから、HA ペアの他のユニットへの WUI 接続をオープン可能
- ALSI への拡張機能を実装
- 統計情報の収集機能を設定可能
- UDP サービスの'Sorry サーバ'が利用可能

47.3 修正された問題

PD-536	実サーバの無効化に関する問題を修正
PD-537	セッションモードでないときの RADIUS 認証に関する問題を修正
PD-544	実サーバの統計情報の表示における軽微な不一致を修正
PD-557	L7 ドレイン時間に関する問題を修正
PD-570	圧縮可能なファイルサイズの上限を設定
PD-643	HTTP 1.1 の PATCH メソッドをサポート
PD-645	'SuperHTTP またはソース IP アドレス'パーシステンスメソッドの処理に関する問題を修正
PD-769	Add HTTP Headers フィールドの表示/非表示に関する不一致を修正
PD-774	UDP の'Sorry サーバ'に関する問題を修正
PD-785	SSO の挨拶メッセージにおける特殊文字の使用に関する問題を修正
PD-787	フラグに応じて動作する機能に関する問題を修正
PD-790	LoadMaster により開始された接続における TLS 1.0 のサポートに関する問題を修正
PD-791	返信された SNMP 値のポート番号に関する問題を修正

47.4 既知の問題

- LoadMaster オペレーティング システム（LMOS）のセッション管理における重大な脆弱性（CVE-2018-0901）により、権限を持たない遠隔地の攻撃者がセキュリティ保護を通過し、システムの実行権限を得て「ls」、「ps」、「cat」といったコマンドが実行できる可能性があります。この

Copyright © 2002 – 2018 KEMP Technologies, Inc. All Rights Reserved.
Copyright © 2017 – 2018 FXC Inc. Rights for Japanese is reserved.

実行により、証明書の秘密鍵などの機密データが露出する危険性があります。詳細な情報は、Mitigation For Remote Access Execution Vulnerability を参照してください。

- Hyper-V VLM において、トランクされた VLAN が許可されない
- 自動 FTP バックアップで特殊文字を使用できない
- iPhone から LoadMaster の WUI へのアクセスがサポートとされていない
- iPhone から LoadMaster の WUI へのアクセスがサポートされていない
- HA の'Force Switchover'ボタンが正しく機能しない

Copyright © 2002 – 2018 KEMP Technologies, Inc. All Rights Reserved.
Copyright © 2017 – 2018 FXC Inc. Rights for Japanese is reserved.

48 リリース 7.0-8e

48.1 機能拡張

- 自動ライセンス設定/サポートインフラストラクチャー（ALSI）の機能拡張

48.2 修正された問題

PD-675	LM-5305-FIPS で利用可能な TLS 暗号スイートを修正
PD-708	LM-5305-FIPS における SSL 再暗号化の動作を修正
PD-700	サービスの種類を変更したときのリブートの問題を修正
PD-739	SSO パスワードにて追加の特殊文字が利用できるように修正
PD-758	SSO の初回ログイン時にクエリ文字列がサーバに正しく渡されなかった問題を修正
PD-581	SSO の挨拶メッセージにて " の文字を使用できるように修正

48.3 既知の問題

- LoadMaster オペレーティング システム（LMOS）のセッション管理における重大な脆弱性（CVE-2018-0901）により、権限を持たない遠隔地の攻撃者がセキュリティ保護を通過し、システムの実行権限を得て「ls」、「ps」、「cat」といったコマンドが実行できる可能性があります。この実行により、証明書の秘密鍵などの機密データが露出する危険性があります。詳細な情報は、Mitigation For Remote Access Execution Vulnerability を参照してください。
- iPhone から LoadMaster の WUI へのアクセスがサポートとされていない
- .ovf ファイルを展開する際に警告が表示される（この警告は無視可能）
- 特殊な条件において、暗号化用 ASIC ドライバで一時的な問題が発生する
- 実サーバの統計情報を正しく更新できない
- 実サーバを無効化する際に一時的な問題が発生する
- HA の'Force Switchover'ボタンが正しく機能しない

Copyright © 2002 – 2018 KEMP Technologies, Inc. All Rights Reserved.
Copyright © 2017 – 2018 FXC Inc. Rights for Japanese is reserved.

49 リリース 7.0-8a

49.1 機能拡張

- 自動ライセンス設定/サポートインフラストラクチャーの機能拡張

49.2 修正された問題

PD-415	SSOMGR に関する問題を修正

49.3 既知の問題

- LoadMaster オペレーティング システム（LMOS）のセッション管理における重大な脆弱性（CVE-2018-0901）により、権限を持たない遠隔地の攻撃者がセキュリティ保護を通過し、システムの実行権限を得て「ls」、「ps」、「cat」といったコマンドが実行できる可能性があります。この実行により、証明書の秘密鍵などの機密データが露出する危険性があります。詳細な情報は、Mitigation For Remote Access Execution Vulnerability を参照してください。
- iPhone から LoadMaster の WUI へのアクセスがサポートとされていない
- .ovf ファイルを展開する際に警告が表示される（この警告は無視可能）
- 特殊な条件において、暗号化用 ASIC ドライバで一時的な問題が発生する
- 実サーバの統計情報を正しく更新できない
- 実サーバを無効化する際に一時的な問題が発生する
- SSO の挨拶メッセージに " の文字を入力できない
- HA の'Force Switchover'ボタンが正しく機能しない

Copyright © 2002 – 2018 KEMP Technologies, Inc. All Rights Reserved.
Copyright © 2017 – 2018 FXC Inc. Rights for Japanese is reserved.

50 リリース 7.0-8

50.1 新機能

- 自動ライセンス設定/サポートインフラストラクチャー
- Cisco UCS C シリーズのサポート
- Geo サーバの負荷分散機能パック
- 新しいバーチャル LoadMaster 製品

50.2 機能拡張

- ESP 用の設定可能なログインフォーマット

50.3 修正された問題

PD-154	SNMP コミュニティ文字列で使用可能な文字を追加
PD-188	CLI におけるクイックセットアップヘルプの自動ポップアップに関する問題を修正
PD-327	サイズが小さいコンテンツの圧縮に関する問題を修正
PD-335	SNMP と'失敗時にドロップ'を同時に使用したときに発生する問題を修正
PD-336	LoadMaster 設定ビューアーに関する問題を修正
PD-341	ソフトウェア FIPS を使用中に WUI へアクセスしたときに発生する問題を修正
PD-386	接続ドレイン時間中に、パーシステンスを有効にした状態でバーチャルサービスに接続できるように修正
PD-389	Exchange Wizard に関する軽微な問題を修正
PD-393	負荷が与えられている状態で VLAN を作成したときに発生する HA の問題を修正
PD-401	ESP のログに関する問題を修正
PD-414	SubVS の重み付けに関する問題を修正
PD-437	ライセンス設定用ブロブを含む E メールを転送する際に発生する問題を修正
PD-446	LoadMaster2200 に高い負荷が与えられたときに発生する問題を修正
PD-449	大量のバーチャルサービスを含む構成にて認証マネージャで発生する問題を修正
PD-550	ソースファイルに mail_util.php を追加

50.4 既知の問題

- LoadMaster オペレーティング システム（LMOS）のセッション管理における重大な脆弱性（CVE-2018-0901）により、権限を持たない遠隔地の攻撃者がセキュリティ保護を通過し、システムの実行権限を得て「ls」、「ps」、「cat」といったコマンドが実行できる可能性があります。この

Copyright © 2002 – 2018 KEMP Technologies, Inc. All Rights Reserved.
Copyright © 2017 – 2018 FXC Inc. Rights for Japanese is reserved.

実行により、証明書の秘密鍵などの機密データが露出する危険性があります。詳細な情報は、Mitigation For Remote Access Execution Vulnerability を参照してください。

- iPhone から LoadMaster の WUI へのアクセスがサポートとされていない
- .ovf ファイルを展開する際に警告が表示される（この警告は無視可能）
- 特殊な条件において、暗号化用 ASIC ドライバで一時的な問題が発生する
- 実サーバの統計情報を正しく更新できない
- 実サーバを無効化する際に一時的な問題が発生する
- SSO の挨拶メッセージに " の文字を入力できない
- HA の'Force Switchover'ボタンが正しく機能しない
- 特殊な条件において、SSOMGR のセグメンテーション違反がまれに発生する

Copyright © 2002 – 2018 KEMP Technologies, Inc. All Rights Reserved.
Copyright © 2017 – 2018 FXC Inc. Rights for Japanese is reserved.

51 リリース 7.0-6

51.1 新機能

- Quickstart Wizard – Exchange 2010
- RESTful API v.2.0
- Cisco UCS B Series Support
- Call Home - Phase 1

51.2 機能拡張

- 証明書をインストールまたは置き換えた後に、Virtual Service のページに戻れるようになりました。
- バーチャルサービスにてサービス品質（QoS）を設定できるようになりました。
- ESP のログイン画面における画像セットに関して、各種言語がサポートされました。
- 本日のメッセージにおける文字数の上限が拡大されました。
- 一時ライセンスを適用しようとしたとき、そのライセンスが既に適用されている場合はフィードバックが表示されるようになりました。
- デバッグオプションで traceroute および netstat のユーティリティを利用できるようになりました。
- 実サーバを一括で無効化できるようになりました。
- 親バーチャルサービスが、再暗号化を用いた SSL アクセラレーションを使用している場合、SubVS にて L7 トランスペアレンシーを選択できるようになりました。

51.3 修正された問題

PD-371, PD370	64 ビット版の LoadMaster にて eth0 を設定する際に発生する問題を修正
PD-293	ID 1 を持つ VLAN の作成に関する制限を解除
PD-270	セキュリティダウンの状態で VS を削除する際に発生する問題を修正
PD-263	HA のタイムアウト値に関する問題を修正
PD-257	ESP が有効なバーチャルサービスに対するヘルスチェックに関する問題を修正
PD-247	CPU を節約するために、Collect All WUI オプションで指定されない限り、Home ページに表示される項目のみ統計情報を収集するように修正
PD-246	ポートフォローイングに関する問題を修正
PD-231	追加ポートにバーチャルサービスを設定したときに、ACL が期待通りに動くように修正
PD-230	LoadMaster for UCS の最大キャッシュサイズの初期値が有効範囲内になるように修正
PD-188	LoadMaster のコンソールにおけるクイックヘルプの不適切な呼び出しを修正
PD-157	リブート前の HA 設定プロセスにて共有インターフェイスを設定できるように修正
PD-140	適応ヘルスチェックに失敗したときに実サーバを無効にするよう修正

Copyright © 2002 – 2018 KEMP Technologies, Inc. All Rights Reserved.
Copyright © 2017 – 2018 FXC Inc. Rights for Japanese is reserved.

PD-205	SNORT 2.9 の規則が正しくインポートされるように修正

51.4 既知の問題

- LoadMaster オペレーティング システム（LMOS）のセッション管理における重大な脆弱性（CVE-2018-0901）により、権限を持たない遠隔地の攻撃者がセキュリティ保護を通過し、システムの実行権限を得て「ls」、「ps」、「cat」といったコマンドが実行できる可能性があります。この実行により、証明書の秘密鍵などの機密データが露出する危険性があります。詳細な情報は、Mitigation For Remote Access Execution Vulnerability を参照してください。
- 圧縮を使用しており、なおかつ HTTP コンテンツの長さが 0 バイトのとき、ページが表示されない。
- Drop at Drain Time End オプションを有効にすると、SNMP トラフィックで問題が発生する場合がある

Copyright © 2002 – 2018 KEMP Technologies, Inc. All Rights Reserved.
Copyright © 2017 – 2018 FXC Inc. Rights for Japanese is reserved.

52 リリース 7.0-4

52.1 新機能

- エッジセキュリティパック
- SubVS のサポート
- Graphical Metrics 3. グラフィカルメトリックス
- 新しいライセンスフォーマット
- Oracle VirtualBox VLM

52.2 機能拡張

- MIB ファイルを更新
- IPS のログに SIP とリビジョンの情報を追加
- インターフェイスごとに VLAN を分割
- 大きな TCP ウィンドウサイズをサポート
- 全ての LoadMaster で'Kill スイッチ'をサポート
- LM-R320 のシリアル番号を WUI に表示
- ネットコンソールホストインターフェイスが WUI から設定可能

52.3 修正された問題

1850	クライアントが EHLO を送信したときに SMTP STARTTLS で発生する問題を修正
2325	ACL ホワイトリストが他の IP を許可していた問題を修正
2584	負荷が与えられている状態で VS の種類を切り替えたときに発生する問題を修正
2669, 2556	リブートに関する問題を修正
2657	Firefox におけるキャッシュの問題を修正
2788	DNS 検索ドメインにて"-"の文字が使用できなかった問題を修正
2598	MIBS に関する問題を修正
2675	循環ルーティングに関する問題を修正
2278	SNMP トラップのソース IP を、リリース 5.1-48 以前の動作に変更
2328	SSL 再ネゴシエーションのオン/オフを切り替えられるように変更
2528	LoadMaster により開始された SSL 接続にて SSLv2 を使用しないように変更
2578	Not Available Redirection XSS に関する問題を修正
2599	DHCP の処理に失敗したときに、デフォルトの IP を WUI に表示するように変更

Copyright © 2002 – 2018 KEMP Technologies, Inc. All Rights Reserved.
Copyright © 2017 – 2018 FXC Inc. Rights for Japanese is reserved.

2390	VS 用に挿入された X クライアントサイドのヘッダがシステムのデフォルト値に書き換えられてしまう問題を修正
2475	User Login フィールドにて“-“の文字が使用できなかった問題を修正
2529	Fail on Match 機能に関する問題を修正
2671	最大キャッシュサイズに関する問題を修正

52.4 既知の問題

- LoadMaster オペレーティング システム（LMOS）のセッション管理における重大な脆弱性（CVE-2018-0901）により、権限を持たない遠隔地の攻撃者がセキュリティ保護を通過し、システムの実行権限を得て「ls」、「ps」、「cat」といったコマンドが実行できる可能性があります。この実行により、証明書の秘密鍵などの機密データが露出する危険性があります。詳細な情報は、Mitigation For Remote Access Execution Vulnerability を参照してください。
- LM にて IP アドレスが設定されておらず、eth0 にて VLAN が設定されており、その下にあるインターフェイス（eth0）に IP アドレスが割り当てられていない場合、クイックセットアップヘルプが自動的に表示される

Copyright © 2002 – 2018 KEMP Technologies, Inc. All Rights Reserved.
Copyright © 2017 – 2018 FXC Inc. Rights for Japanese is reserved.

53 最終更新日付

このドキュメント（英語版の原文）は、2018 年 4 月 5 日に更新しました。

Copyright © 2002 – 2018 KEMP Technologies, Inc. All Rights Reserved.
Copyright © 2017 – 2018 FXC Inc. Rights for Japanese is reserved.